ライオン誌8月号 2004年（平成16年）7月20日発行
昭和33年12月19日付第3種郵便物認可毎月1回20日発行第47巻第2号

IN JAPAN
Official publication
of Lions Clubs
International

August 2004

THEME デトロイト／ウィンザー国際大会

ROAR 335複合地区

ヘッドライン：京都／ふるさと探訪：兵庫県氷上

「頭脳搭載」あなたの体型に合わせて最適マッサージ。

サイバー・リラックスは、背筋のカーブを3次元で検知し、あなたの体型に合わせた最適なマッサージを実現。立体的なもみ心地「3次元マッサージ」の多彩なバリエーションで、より一層充実したマッサージをお楽しみいただけます。価格も開梱・設置サービスと送料込みで、お買い得の144,900円(税込)でご提供です。

立体的なもみ心地「3次元マッサージ」

●3Dポイントナビセンサー

あなたの体型を3次元で感知し、あなたに合った最適なマッサージを実現。

マッサージを行う前に、ポイントナビが背中のライン、腰のくびれまで、体型や姿勢を3次元で測定。ひとりひとりの体型に合わせることでより効果のあるマッサージを実現。(自動コース選択時)

●Sカーブライン

S字カーブのフレームで体のラインにフィットします。

●3Dモードマッサージ

新感覚! もむ・たたく・押すに「強弱」「スピード」をプラス。

首・肩・腰は深く、背は浅くと、「深もみ～さすり」までコリに合わせたもみができ、従来の「上下」と「もみ」の動きに「前後」の動きを組み合わせた3次元マッサージで、プロの技に学んだ立体的なもみ心地を実現。

多彩なマッサージバリエーション

もみ上げ：下から上へと、筋肉のコリをじっくりもみほぐします。

もみ下げ：上から下へともみおろし、筋肉の疲労を和らげます。

たたき：もみ玉のリズミカルな連打が筋肉の疲れをとります。

さざなみ：たたきながらもんで、疲労を和らげ血行を促進します。

深もみ・さすり：深もみはしっかりと深く、さすりはソフトにもみます。

ストレッチ：押し上げて引き下げる手押し感覚で、コリをほぐします。

指圧：押して引く、圧迫と弛緩のくり返しで、血行を促進します。

ローリング(全体・部分)：背すじを伸ばすようにローリングします。(全体・部分を選択)

「エアーマッサージ」

むくんだ脚の血行促進に、新方式「ホールド2段もみ」。

お尻・太ももは、筋肉全体を押し上げるような「面ほぐし」。ふくらはぎは、2つのエアーバッグが両側から挟み込む「ホールド2段もみ」。エアーのほどよい圧力が血行促進、疲れをほぐします。

開梱・設置サービス付 送料無料 で

144,900円(税込)

当社旧価格155,400円(税込)のところ
10,500円引き!
(信販会社による分割払いもご利用いただけます。詳しくは、お問い合わせください。)

●電動リクライニング

リモコン操作で約170度までお好みの姿勢が選べます。また、手動レバーで脚部のみの操作も可能。

安心と信頼の FUJIIRYOKI 株式会社フジ医療器

日本製

効能・効果

あんま、マッサージの代用(疲労回復、血行促進、筋肉の疲れをとる、筋肉のコリをほぐす、神経痛・筋肉痛の痛みの緩和)

●LCDリモコン採用

ポイントナビで感知した、背筋カーブ・マッサージ動作内容などもリアルタイムで表示。バックライト付で見やすい画面です。

使いやすさにこだわった 多彩な機能

5つの自動コース(約15分)

①全身疲労回復コース
②首・肩こり改善コース
③腰部疲労回復コース
④背筋こり改善コース
⑤指圧血行促進コース

やさしさモード
自動コース選択時に、もみ心地をやさしくすることができます。

個別調整機能

●肩位置微調整
肩位置検出時に、微調整が可能。
●マッサージ強さ調整(7段階)
●マッサージ速さ調整(3段階)
●もみ玉の幅調整(3段階)

もみ玉・エアー同時動作

その日の疲労具合に合わせて、もみ玉とエアーマッサージをお好みで組み合わせて、上半身と下半身を同時にマッサージできます。

背パッドと枕は取り外しでき、ドライクリーニングも可能です。

背もたれが折りたためるので収納に便利です。

キャスター付で、チェアを後ろに傾けるだけで、一人でもラクに移動できます。

マッサージチェア AS-001
サイバー・リラックス

商品番号 00118-108677-01
税込価格 144,900円
(本体価格 138,000円)
送料無料・開梱設置サービス付
※設置後のお客様の都合によるご返品は実費送料をご負担いただきます。

(サイズ)幅70×奥行111～163×高さ60～108cm、折り畳み時:幅70×奥行105×高さ72cm、コードの長さ:3m(仕様)電源・消費電力:AC100V(50/60Hz)・81W、定格時間:30分、タイマー:約15分(色)ライトベージュ ※医療用具製造許可番号27BZ0878 ※日本製

ご注文は通話料無料のフリーダイヤルで。
0120-22-2500
年中無休 9時から21時まで受付 ※お電話はおまちがいなく。

ご注文は、ファックスおよび官製ハガキにても承ります。
記入事項●商品番号●商品名●支払い方法(カード・一括・信販会社の分割)●氏名(フリガナ)●住所●生年月日●年齢●電話番号●勤務先名●勤務先電話番号●ご覧の雑誌名
FAX/0120-25-7750(24時間受付)
ハガキ/〒270-8625 千葉県松戸北局私書箱29号 二光(株)118係宛
●ご注文以外のお問い合わせは、お客様サービス係へ(日・祝日除く、朝9時～夕5時30分)
0120-25-9902(携帯電話・IP電話・PHSからの場合04-7172-9900)

●商品のお届けは、お申込み受付後7～10日前後。●お支払いは、①クレジットカード払い(お申し込み時にカード名、番号、名義人、有効期限、お支払い方法をお知らせください。)②商品お届け後の現金一括振込(コンビニ・郵便局)※コンビニエンスストアは手数料無料です。〔信用情報機関への登録と利用の同意について〕申込者は後払いに係る取引上の判断にあたり、当社が加盟する信用情報機関(株式会社シー・アイ・シー)に照会・登録することに同意するものとします。※当社規定により、お支払い方法を変更させて頂く場合もございます。※一括後払いの場合は、生年月日をお伺いさせて頂きますので、ご了承ください。③信販会社((株)セントラルファイナンス)の分割払いもご利用いただけます。詳しくは、お問い合わせください。●万一、商品が異なったり、破損等があった場合は交換いたします。●お客様のご都合で返品される場合は到着後8日以内(返送料お客様ご負担)●印刷の為、商品の色調は現品と多少の違いがある場合もございます。

広告有効期限/2004年10月末日 社団法人日本通信販売協会会員 JADMA

二光株式会社
〒270-8625 千葉県柏市青葉台2-26-63-0118

We Serve CONTENTS

表紙メモ

2004-05年度
ライオンズクラブ国際協会
国際会長

クレメント・クジアク夫妻

デザイン：内田誠治

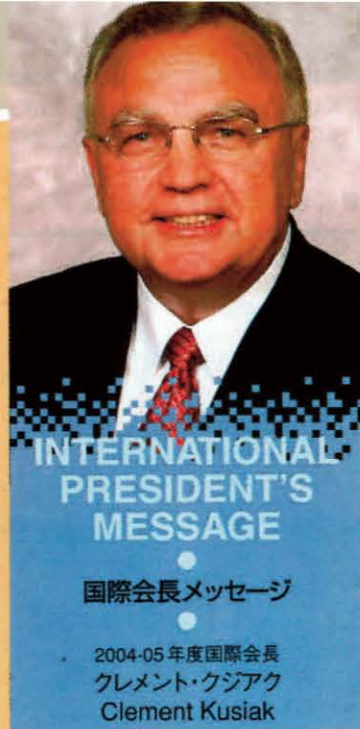
国際会長メッセージ

2004-05年度国際会長
クレメント・クジアク
Clement Kusiak

Share Success
THROUGH SERVICE

奉仕を通して成功を分かち合おう

会員増強を通して成功を分かち合おう

Share Success Through Membership Development

高まりゆく社会と人々の要請にこたえるため、ライオンズは自らの能力をますます強化しなければなりません。そのためには、常に社会の変化に応じて、一定の割合で会員を増強し続ける必要があります。その責任を会員の一人ひとりが分かち合うことにより、ライオンズはボランティア奉仕の指導者として、世界中のあらゆる社会で歩みを進めることが出来るでしょう。私たちの目的の達成に力を貸してくれる男女を、一人でも多くクラブに招き入れようではありませんか。その必要性を認識した時、「奉仕を通して成功を分かち合おう」という二〇〇四‐〇五年度のテーマは、私たちにとってより有意義なものとなるはずです。

私は会員増強の必要性を強調するため、年間五パーセントの会員純増を達成するという目標を掲げています。この目標には、新会員と新クラブを増やすことのみならず、会員維持率を高めることも含まれています。会員増強の実現は、ライオンズの将来を決定付けるほどの意味を持ちます。新たな会員数を増加させ、伝統的なクラブ、学内、新世紀ライオンズクラブ、クラブ支部の別を問わず、より多くのクラブを結成し、自らの組織を強化することが出来るでしょう。また、会員を維持することの重要性も忘れてはなりません。それぞれの地域社会には、現在の会員数を上回るほどの退会した元会員が存在すると言われています。会員が退会してしまわないよう、各クラブでは効果的な戦略の策定に真剣に取り組む必要があります。新会員の確保と会員維持は、確実に会員数の純増をもたらすことになるでしょう。

私は国際協会の全体において会員増強が可能であると確信し、その成果を表彰したいと考えています。二〇〇四年七月一日から〇五年六月三十日までの間に、二十人以上の会員純増を達成したクラブ会長には、それぞれ特別な賞が授与されます。更に会員増強及びエクステンションの功績に対しても、ダイヤモンド・ピン賞と会長賞が用意されています。会員を増強することの決定的な重要性に鑑み、私は国際役員、複合地区、地区、クラブの各役員、MERLチームのメンバーなど、あらゆる階層の指導者に協力を求めてきました。

彼らは本年度の、また今後の会員純増を実現させるため、力を合わせて取り組まなければなりません。会員増強上のこのような協力関係は、二〇〇四・〇五年度「国際役員会員増強イニシアチブ」と呼ばれます。執行役員と経験豊かな二人のアポインティーで構成される六人のグループが、この重要な取り組みを指導することになっています。

会員の皆さん、地域社会に奉仕したいという意欲に満ちた人々を、一人でも多くクラブに招き入れてください。「ウィ・サーブ」の理念と友情を彼らと分かち合うことにより、ライオンズには無限の成功が約束されることになるはずです。新たな会員を確保することで私たちの立場も高まり、地域社会の他の指導者とより効果的に協力しながら、奉仕プログラムを開発・実施することが可能となります。会員が増えれば、視覚障害者、危機に瀕する若者たち、その他の人々に対して、より幅広い支援を提供することも出来るでしょう。彼らは、

デトロイト／ウィンザー国際大会のパレードで、日本ライオンズの行進を見送るクジアク新国際会長夫妻

自分のことを本当に気に掛けてくれるだれかの手助けを必要としています。世界最大の奉仕組織に加わってほしいという招請を歓迎してくれる男女は、世界の至る所にいるはずです。彼らを見つけ出し、地域社会に対するボランティア奉仕に参加する機会を提供してください。ライオンズクラブに入会することで、彼らは無類の充実感を味わうことになるでしょう。

会員とクラブを着実に増強し続けることは、決して容易な仕事ではありません。しかし、これ以上に有意義な仕事も存在しないのです。会員候補が先方から訪ねてくるはずもなく、私たちは自分の足で積極的に彼らを探し出し、直接入会を求めなければなりません。クラブの指導者は地区ガバナーと協力して、新クラブを結成すべき地域の特定に努めてください。また、新たな会員と古くからの会員を問わず、会員にはそれぞれに有意義な仕事を割り当てる必要があります。そうすれば、彼らは会員としての熱意を失わず、退会という不幸な結論を選択することもないはずです。

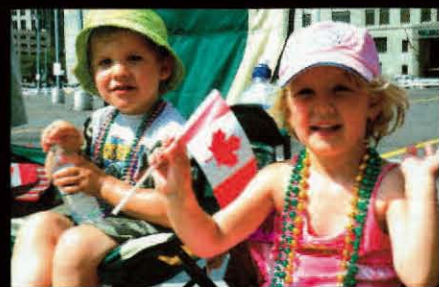
会員増強はすべての会員の義務であり、このことを常に忘れてはなりません。五パーセントの会員純増という目標を確実に達成するためには、私たち一人ひとりが責任を負い、熱心に取り組むことが大切です。奉仕を通して成功を分かち合う機会をますます拡大出来るよう、皆さんの協力を心から期待しています。

87th Lions Clubs International Convention in Detroit/Windsor

第87回ライオンズクラブ国際大会 inデトロイト／ウィンザー

2004年7月5日～7月9日 アメリカ・ミシガン州デトロイト／カナダ・オンタリオ州ウィンザー

モーター・シティーを彩った世界のライオンズ

デトロイト川を挟んで向かい合うアメリカ・ミシガン州デトロイトとカナダ・オンタリオ州ウィンザー。
国境をまたいで大会が開催されるのは史上初のことだ。
両都市は、ライオンズクラブ国際協会の長い歴史の上に記念すべき足跡を記している。
1920年、デトロイト・ライオンズクラブのスポンサーで、アメリカ国外初のウィンザー・ライオンズクラブが結成された。
ライオンズクラブが名実共に「国際協会」となったこの地で、第87回国際大会は開かれた。

左から大久保、亀井両国際理事夫妻と秦アポインティー夫妻

石橋国際理事候補者夫妻

日本はバンド部門（カテゴリーII）第1位

七月六日午前九時三十分、インターナショナル・パレードがスタート。当初予定された大通りは大規模な工事中で、パレード・コースは前日に急きょ変更が発表された。自動車の街らしく、リー国際会長を先頭に国際役員はクラシック・カーに乗って登場。日本（330～337複合地区）のレジーナ・ライオンズ・バンドはバンド部門（カテゴリーII）第一位を受賞した。賞金三百五十ドルは、八日の日本ライオンズ国際大会記念夕食会で出席者の賛成を受け、LCIF献金として大久保国際理事からリー国際会長に手渡された

ユニフォーム部門第1位のナイジェリア（404地区）

フロート部門第1位のアメリカ・ウィスコンシン州（27複合地区）

7日／開会式のフラッグ・セレモニー

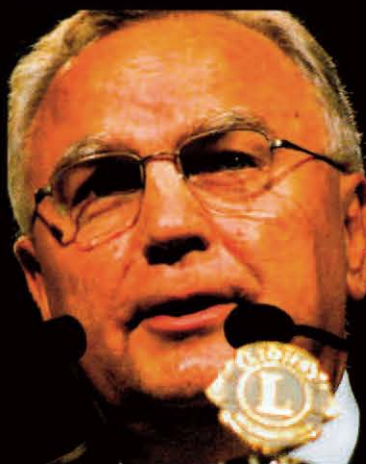
7日／開会式でリー国際会長の退任スピーチ

8日／第2回本会議の基調講演は故キング牧師夫人

8日／第2回本会議で選挙のデモンストレーションに臨んだロス第2副会長候補とファミリー

今大会の日本ライオンズの参加者は約千人で、代議員登録者数は三百十二人（うち補欠七人）。八日夜には日本ライオンズ国際大会代議員会と記念夕食会が開かれ、約五百人が集まった。夕食会の冒頭には、リー国際会長夫妻とメータ第二副会長、ロブレスキー、ハバナナンダ両元国際会長があいさつに訪れた。リー国際会長は日本ライオンズの強力なサポートに感謝の意を表した

二十世紀前半、自動車産業の隆盛と共にアメリカ有数の都市として栄えたデトロイト。現在も自動車大手の本拠地だが、近年の自動車不況のあおりなどで街が荒れ、ダウンタウンには廃墟となったビルが目立つ。デトロイトは今、復興プロジェクトの真っ最中。大会本部ホテルが入る複合ビル、ルネッサンス・センターはその象徴だという。今大会の主要プログラムはデトロイトで行われたが、治安があまりよくないこともあり、コンベンション・シティーとしてやや魅力に欠けたことは否めない。それでも、百カ国約九千人が参加したインターナショナル・パレードの当日は、華やかな雰囲気で包まれた。七月六日午前のパレードはテーサップ・リー国際会長を先頭にスタートし、日本は二十六番目に登場。大阪国際大会でおなじみになったマスコット・ライオンを背中にあしらった法被姿で約九百人が行進した。鮮やかな赤と青の法被は大人気で、パレード終了後は喜々として法被を羽織る子どもや海外のライオンたちをよく見かけた。七日の第一回本会議（開会式）では、リー国際会長が退任スピーチで「未来の扉を開く改革」を掲げた〇三年度を総括。LC

9日／閉会式のクジアク新国際会長就任式。リー前国際会長から会長の指輪と槌が手渡された

9日／閉会式で観衆の祝福にこたえるクジアク新国際会長ファミリー

大会本部ホテルのマリオット・ルネッサンス・センター、展示やセミナー会場のあるCOBOホール、三回の本会議会場のジョー・ルイス・アリーナはいずれも徒歩圏内で、大会行事の参加者にはたいへん便利。展示場では国際本部のブースで各部職員が会員の質問に答えていた。また、本部にあるメルビン・ジョーンズの部屋が再現された

9日／閉会式でビリー・ジャン・ホワン・キム氏に人道主義大賞を授与

IFの成果や、新たに五万人の女性会員が入会したこと、IT技術を駆使する改革を図ったことなどが報告された。その後、ケイ・K・フクシマLCIF理事長から334・A地区の特別表彰が行われた（詳細は27ページ）。

八日、第二回本会議は基調講演と国際理事、第二副会長の選挙演説。講演に立った故マーティン・ルーサー・キング牧師夫人のスコット・コレッタ・キング氏が穏やかな語り口で、「世界をよりよい場所とするには愛こそが近道である」と訴えた。

今大会の大会登録者数は約一万千人で、代議員登録者数は四千五百九十四人（うち補欠四百七十五人）。国際会則改正と国際役員選挙の代議員投票は九日朝行われ、ライオン石橋幹雄を含む国際理事十六人と、第二副会長にアメリカ・テキサス州のライオンジミー・ロスがそれぞれ当選。また、国際理事会の定例会議を会長の決める日時、場所で開催出来るとする国際会則改正案は、賛成多数で可決された。第三回本会議（閉会式）ではリー前国際会長からクレメント・クジアク新国際会長への引き継ぎのセレモニーが執り行われ、「奉仕を通じて成功を分かち合おう」のテーマを掲げる新国際会長が就任した。

2004-05年度国際プログラム

奉仕を通して成功を分かち合おう

国際会長
クレメント・クジアク

奉仕を通して

成功を測った場合、ライオンズクラブ国際協会が、大きな成功を収めている、現代の偉大な組織の一つであることは明白です。一人の男、メルビン・ジョーンズの夢から生まれたライオンズクラブは、その展望を広げ、あらゆる地域の人々の希望、そして機会の光となりました。

国際協会と、協会に属するクラブは、百九十三カ国に展開する奉仕の精神に富んだ会員たちの活動によって、世界一流の奉仕クラブ組織としての名声を博しています。毎年、四万六千のクラブで活躍する百三十五万人以上の会員が努力を結集し、何億ドルもの資金をアクティビティに投じ、それに負けないほど多くの時間を労力奉仕に捧げ、地域社会及び人類の援助に尽くしています。

何と立派な業績ではありませんか！　何と素晴らしい話ではありませんか！

ライオンズの奉仕の成果を見れば、私たちが成功を収めていること

は一目瞭然です。こうした成功が得られているのは、ライオンズの代表的な奉仕プログラムと、プログラムを実現させている皆さん、つまり世界中のライオンズ、ライオネス、レオのおかげなのです。

「一事成れば万事成る」という有名な諺があります。成功をほかの人に知らせると、それが波紋となって、更に多くの成果が生じますが、この諺に付け加えたいことがあります。それは、「分かち合わなければ、成功ほど遠のいていくものはない」ということです。

認識されない成功では意味がありません。それではせっかくの成功も、だれにも知られることなく、ほどなく忘れられてしまいます。私は頻繁に、ライオンズの世界的な認知度が、いかに低いかということを聞かされます。私たちの業績を、世間に隠したままではいけません。ましてや、私たちの仲間に隠しておくべきではないのです。

私たちは、自分たちの業績を地域社会の人々、そして仲間のクラブ会員に伝える必要があります。自分たちの成功を分かち合うことで、ライオンズクラブの会員であることの誇りを高めることが出来るだけでなく、ライオンズの活動に加わるよう、奉仕の心を持つ他の人々をも説得出来るのです。

今年度、国際会長を務めるに当たり、私は全会員が目指す目標として、「奉仕を通して成功を分かち合おう」をテーマに選びました。広報活動や適切な表彰などを通して、ライオンズの数々の業績を分かち合うことで、私たちは過去八十七年間にわたってライオンズが収めてきた成功を、増幅させるに違いありません。

恵まれない青少年及び子どもへの奉仕を通して成功を分かち合おう

貧困、ホームレス、虐待、病気、心身の障害などが、今日、何百万人もの子どもや思春期の青少年を苦しめています。ライオンズクラブ国際協会がすべての問題に対応出来るわけではありませんが、地域社会に基盤を持つ世界的組織として、ライオンズクラブ国際協会は地元での自発的な活動や国際協力を通して、子どもたちの生活を改善する理想的な立場にあります。

子どもたちへの奉仕を通して

今年度は、新しく設けられたライオンズ児童奉仕プログラムが、逆境にある子どもたちに保健や教育奉仕を提供する素晴らしい機会をライオンズに与えることになるでしょう。

また、新しいレオクラブをスポンサーして、若い世代にライオンズの成功を伝えて頂くよう、私はライオンズクラブにお願いします。レオとして若者が得る経験は、彼らに地域社会奉仕に対する理解を深めさせ、後年になって重要な指導者となる準備を整えさせてくれるのです。そこで私は、二〇〇四・〇五年度中に全世界のレオクラブの総数を三割増やすという目標を設定しました。レオクラブを結成し維持するために参考となる優れた情報や資料は、国際本部の青少年プログラム課から簡単に取り寄せることが出来ますし、国際協会公式ウェブサイト（www.lionsclubs.org）にも掲載されています。

児童及び青少年支援への新たな努力または特別な努力を称えるため、今年度中に青少年または児童奉仕プログラムを開始したか、もしくは拡張したライオンズクラブに、私は特別なバナー・パッチを贈呈します。青少年プログラム課に請求すればこの賞の申請用紙を取り寄せることが出来ますし、公式ウェブサイトから

青少年を通して

ダウンロードすることも出来ます。

世界の将来は子どもたちにかかっています。私たちライオンズは、その数多くの奉仕を通して、より明るい未来を子どもたちに保証する手助けが出来るのです。

平和を通して 成功を分かち合おう

ライオニズムの第一の目的「世界の人びとの間に相互理解の精神をつちかい発展させる」は、政治的な境界線と文化の違いによって作り上げられた人為的な障壁を乗り越え、平和を築くために努力するよう、全世界のライオンズを激励しています。政治や宗教とは無関係のライオンズクラブ国際協会は、国籍、政治、信条に関係なく人々に奉仕をするという不朽の理念を具現化しています。

この使命を守って各ライオンズクラブは、地元での奉仕活動のほかに、国際関係の事業を毎年少なくとも一つ行うべきです。以下にこの責務を果たす方法をいくつか提案します。

- 国連ライオンズ・デーの行事に参加する
- 文化遺産に関する活動を行う
- LCIFに献金をする
- 国際的な奉仕使節団に加わる
- 国際協調月間（十月）を祝って行事を行う
- 世界平和デー（一月二十四日）の行事に参加する
- 国際大会に代議員を派遣する
- 国際青少年交換（YE）をスポンサーまたはホストする
- ライオンズ国際平和ポスター・コンテストへの参加を支援する
- 外国のライオンズクラブと姉妹提携を結ぶ

平和を通して

ライオンズは平和を通して、より充実した暮らしや住みやすい地域社会、そして善意に満ちた世界を実現出来ます。ですから、私たちは力を合わせ、奉仕を通して世界に平和をもたらす手助けをしようではありませんか。

指導力を通して 成功を分かち合おう

ライオンとしての四十年近くの経歴を通して、私は国際協会のあらゆるレベル、特にクラブ・レベルで、優れた指導力が、奉仕を成功させるために、いかに大きな影響を及ぼすか、何度も目の当たりにしてきました。クラブが指導力において成功する秘訣とは何なのでしょう。

国際協会では、現在そして将来のライオンズ指導者のために種々の指導力育成の機会を設けています。芽生えるライオンズ・リーダーシップ研究会は、クラブに入会して八年以下で、委員会委員長を務めた経験のあるライオンズを対象にしており、クラブ会長となるための指導力を身に付ける絶好の機会を提供します。更に、複合地区MERL委員長セミナーは、会員委員長、会員維持委員長、エクステンション委員長、指導力育成委員長の能力を高めてくれます。対話形式をとる、これらの研修プログラムを通して、参加者はアイデア、チャレンジ、成功例を仲間のライオンズと分かち合い、指導力を磨くことが出来ます。

指導力を通して

協会は今後も、地方ライオンズ・リーダーシップ研究会及び複合地区指導力育成訓練への補助金プログラ

ムを続けます。文化に適合させた訓練とアイデア交換を、複合地区のレベルで直接支援するこれら独特のプログラムに、ますます多くの複合地区が参加しています。

　今やライオンズ会員は、どこにいようとも国際協会公式ウェブサイトのライオンズ学習センターを通して、自己研鑽のための優れた手段を利用出来ます。ライオンズ学習センターは今年度も引き続き改良を重ね、ライオンズクラブ国際協会に関する知識を増やし、指導力を磨く機会を、すべてのライオンズに提供します。

　二〇〇四年度地区ガバナー・エレクト・セミナーで、新地区ガバナー及び配偶者は、協会の数多くのプログラムに関する情報のほかに、管理技能に焦点を当てた訓練を受けました。今年の研修課程には、時間管理、青少年プログラム、奉仕プログラム、表彰に関するものが新しく加えられました。

称賛及び表彰を通して

The Art of Recognition

LIONS CLUBS INTERNATIONAL

成功を称える

「批評は謙虚に、称賛は惜しみなく、建設を旨として破壊をさけること」
―ライオンズ道徳綱領

表彰や称賛が及ぼし得る好ましい効果について考えてみてください。称賛が正しく、そして適切に行われた場合、それは会員の活動意欲を高める、強力なエネルギー源となり得ます。クラブ会長であろうと、地区ガバナーであろうと、また国際役員であろうと、適切な表彰や称賛が、効果的な動機付けとなることを理解する必要があります。ライオンズクラブの会員にとって、自分の関与が役に立った、と認められることほど、大きな動機付けになるものはありません。

　どんな技能もそうですが、表彰についても練習を重ね完璧なものにする必要があります。そのために『表彰の仕方』と題する新しい手引を作成しました。この手引には既に試験済みの称賛方法が載っており、クラブ及び地区の指導者は、これら革新的な手法を利用出来ます。この手引の姉妹編として新しく作成された資料には、称賛に値する会員がライオンズクラブ国際協会を通して獲得出来る百八十種以上のアワード受賞規定の概要が説明されています。

　また、一〇〇パーセント地区ガバナー賞の規定が、地区ガバナーの任期中の特別な働きを称えるために改訂されました。これにより、地区ガバナーは全員、それぞれの地区にとって到達可能な高い基準を設けることが出来るはずです。

　表彰は、私たち一人ひとりにとって、成功を分かち合うための理想的な方法です。表彰を受けた時、それは自分のいちばん良いところを引き出してくれ、また他の人を表彰した時、それはその人のいちばん良いところを引き出すのです。ですから、称賛や表彰を、個人の生活及び職業の上だけでなく、ライオンズ文化の不可欠な要素としようではありませんか。

PRを通して成功を分かち合おう

この一年間の目標のうち、特に重要なものの一つは、ライオンズの成功をマスコミと分かち合うことで、世間に対する私たちのイメージを広げることです。優れた情報源である協会のウェブサイト、更には数多くの個々のクラブや地区のウェブサイトを通じて、ライオンズが何をする団体であるかを伝えることに、私たちは確実に大きな進歩を遂げています。しかし、効果的な広報活動を通してライオンズの成功を分かち合うためには、地域そして世界でやらねばならないことがもっとたくさんあります。

　デトロイト／ウィンザー国際大会で、広報関係のセミナーが二つ行われました。一つは報道記事作成など、

広報活動の基本的な技能を提供するもので、もう一つは報道関係者とライオンズのパネル・ディスカッションで、一般の人にライオンズの奉仕のメッセージを伝える方法を探求するものでした。

マスコミ利用の機会を増やすと共に、マスコミを通してライオンズのメッセージを大量に伝えるための作戦を立てる上で、この二つのセミナーが役立ちました。

更に、非常に大きな成功を収めているPR補助金交付プログラムは、二〇〇四・〇五年度にも続けられます。このプログラムは、地元の広報活動や宣伝活動を支援するため、地区ガバナーが最高千ドルまでの補助金を申請出来るというものです。

「成功を分かち合う」という精神の下、ライオンズクラブ国際協会公式ウェブサイトに「Lions in Action（活躍するライオンズ）」という新しいページを設けました。毎月、三つか四つのクラブ活動に関する記事がこのページに掲載されます。クラブは、地域社会のニーズと取り組むプログラムを採用するのみならず、クラブ独自の優れたプログラムについて協会に情報を送り、自分たちの働きをウェブサイトや『ライオン誌』で認めてもらうと良いでしょう。

会員増強を通して 成功を分かち合おう

クラブへの入会を誘うことは、紛れもなく私たちの成功を分かち合い、それを確実にする極めて重要な方法の一つです。大事なのは、ライオンズの奉仕プログラムを行うことであって、クラブや地区の大きさではないという意見を、私はこれまでに何度も耳にしてきました。この意見には一理あると思います。とにもかくにも、苦しんでいる子どものニーズと取り組むことの方が、クラブや地区に何人会員がいるかということよりも、確かに重要であるには違いありません。

ですが、会員増強を行うがために、奉仕の能力が損なわれるということは決してありません。実際にはその正反対なのです。協会の会員数が多ければ多いほど、地域社会や世界の、増え続けるニーズに対処する私たちの力は増大するのです。生活がますます複雑になるにつれ、私たちも会員の数を増やし、周囲で起こっている変化に後れをとらないようにする必要があります。

二〇〇四・〇五年度の私の会員増強目標は、会員招請、エクステンション、会員維持を通して、二〇〇四年七月一日の会員総数に対して五パーセントの会員純増を達成することです。私たちが、最善の努力をしてこれらの課題の一つひとつに取り組めば、成功することに疑いの余地はありません。二〇〇四年七月一日から二〇〇五年六月三十日の間に、二十人またはそれ以上の会員純増を果たしたライオンズクラブの会長には、その努力を称えるために、私は特別な表彰を行う予定です。また、ダイヤモンド・ピン賞及び会長賞を贈呈して、会員増強及びエクステンションにおける功績を称えることを考えています。

LCIFを通して 成功を分かち合おう

ライオンズクラブ国際財団（LCIF）の援助を受けて行われている極めて重要な人道的プログラムは、ライオンズの素晴らしい成功例の一つを象徴しています。主なものをいくつか説明させて頂きます。

●合計二千三百万ドルの四大交付金を受けて行われたLCIF児童光学眼科検査プログラムを通して、ライオンズは二十万人以上の子どもたちの弱視検査をすることが出来ました。その結果、一万二千人以上の子どもたちが治療を受けることになりました。

●一九八二年以来、LCIFは糖尿病性網膜症リサーチのために五百万ドル近くの援助資金を交付し、世界で最も多額の援助をしている非政府組織となっています。

●LCIFは、世界で最も性能が良く、しかも値段の安い補聴器の開発、製造、配布に力を貸すため、六十万ドルの援助金を承認しました。これにより全世界のライオンズは、何百万人といる聴覚障害者の暮らしの改善に、主導的役割を担うことが出来るのです。

●ライオンズ・クエスト・プログラムの利用範囲を広げると共に、地域の学校や社会と協力するライオンズにより大きな支援を提供し、認知度を高めるために、LCIFは二〇〇二年にライオンズ・クエスト・プログラムを購入しました。今日までに六百万人を超える青少年がライオンズ・クエストの授業を受けています。

●三百七十五万ドルの視力ファースト交付金のおかげで、小児期の失明を予防するために三十カ国に小児視力センター及び訓練プログラムが、世界保健機関との協力で設けられつつあります。

●二〇〇二年に完了したLCIF視力ファースト中国行動計画第一段階を通して、中国で二百十万件の白内障手術が行われ、更には、地方の百四の郡に眼科手術施設が設けられました。中国行動計画第二段階については、千五百五十万ドルの視力ファースト交付金に対して、中国政府から約二億ドルの資金が提供されることになりました。第二段階の目標は、少なくとも二百五十万件の白内障手術を行い、発達が遅れている二百の郡及び省、更にはチベットに二次的な眼科施設を設けることです。

●スペシャルオリンピックスとのパートナーシップを通して、四万二千人近くのスペシャルオリンピックス選手が、無料で眼科検診を受け、その結果、慢性的にサービスが行き届かない人たちの視力が改善され、病気の早期発見により失明が予防されています。

　これらは、今後も世界中のライオンたちからの寛大なる協力を受けるに値する立派な業績です。国際会則及び付則で定められているように、LCIFを推進するという特別な責任を持つ地区ガバナーには、地区内各クラブのLCIFへの貢献を促進する上で重要な役割があります。今年度、LCIFの使命達成を進めることに、更に多くの地区及びクラブが顕著な働きをしてくださるものと期待を寄せています。

「奉仕する」というライオンズの誇り高き使命を果たすことに、私たちは、これまでに成功を収めてきました。そして今後も収めていくことは確かです。私たちは大小さまざまな形で毎日奉仕をし、成功しています。ライオン、ライオネス、レオの人生は、情熱と目的、力と平和で特徴付けられます。このような特性が私たちの奉仕に意味を与えるのです。

　ライオン、ライオネス、レオであることは、献身的で熱心で、決意の固いことを意味します。私たちの仕事は目的がはっきりしており、少しでも世の中の役に立つことを目指して、粘り強く努力を続けることです。

　もしかすると私たちは、自分たちが考えている以上に、世界的規模で偉大なことを実現する力を持った、力強く影響力のある組織なのかもしれません。それでいて根底では、惜しみなく喜んで与えること、不朽の友情の絆を通して目標を追求すること、そして、私たちがどこへ行こうとも、調和の精神と正真正銘の親善を培うことへの穏やかな信念が共鳴するのです。

　他者のために手を差し伸べるという揺るぎない決意は、私たちに与えられた素晴らしい贈り物です。この決意をすべての人々と分かち合おうではありませんか。

2004-05年度国際会長プロフィール

クレメント・F・クジアク

世界的な成功を分かち合おう

日本の大阪で開かれた国際理事会で、ブライアン・スティーブンソン元国際会長(左)、オースティン・ジェニングス元国際会長と語り合うクジアク会長

「国際協会の未来はどこにあるのだろう、という問いを、私は繰り返し受けてきました」。新たに就任したクレメント・F・クジアク国際会長は言う。「この質問には常に、国際協会の未来は会員の手に委ねられている、と答えることにしています。会員が地域社会のニーズを認識し、これにこたえようと常に先頭に立って取り組む限り、ボランティア活動のリーダーとしての立場が揺らぐことはないはずです」。クジアク会長はまた、会員による活動資金やLCIFの献金については、次のように断言する。「世界的な成功をもたらすために、個々の会員の協力は必要不可欠です。そしてそれによって得られる達成感は、負担した金額よりはるかに大きなものなのです」。

このような達成感は、「奉仕を通して成功を分かち合おう」というクジアク会長のテーマと密接に結びついている。「ライオンズクラブ国際協会の指導者たちは、これまでに数々の偉業を成し遂げてきました。その成果を世界や地域社会のあらゆる指導者と分かち合うことにより、私たちは今日の力強さを維持し続けることが出来るでしょう」と彼は語る。「彼らが費やした時間、捧げた資金、事業を普及させた方法にも思いを巡らせなければなりません。そのすべてが、私たちの現在及び将来の成功に大きく貢献しているのです」。

乗馬を楽しむ幼いクレム。第2次世界大戦から帰還した叔父は、クジアク家の子どもたちを楽しませようとこの馬を借りた

クラクフからボルチモアへ

クジアク会長自身も、自らの展望と熱意を家族と分かち合うことで成功を収めてきた。それは職業においても、また地域社会のリーダーとして、あるいはライオンズの会員としても同様である。

未来の国際会長が生まれたのは、アメリカ・ペンシルベニア州東部にあるポッツビルの炭鉱街であった。彼の祖父母と両親は、一九二〇年代の初めにポーランドのクラクフからアメリカに移住した。第二次世界大戦の開戦から間もなく、家族はメリーランド州ボルチモアに移る。未来の国際会長はこの地で成長し、学校に通った。彼の父親は機械建設業を営み、息子もこの職業に就こうと考えていた。会長はボルチモアのメリーランド州立大学、更にロヨラ大学で機械工学を専攻し、FMC社に設計工学の専門知識を認められて入社した。現在は、ボルチモアの製造会社の経営者として定年を迎えている。

正装した会長（右）と兄のジョセフは、妹パトリシアの初聖体式に参列

クジアク会長と未来の妻ジーンの「出会い」は、ボルチモアにあるリマの聖ローズ小学校に二人が共に入学した時だった。「妻と私は別々の高校に進学するまで、この小学校でずっと同じ修道女たちに育てられました」と彼は言う。「私たちの子どもも孫も、皆同じカトリック小学校に通いました。この伝統は、次の世代でも変わることはないでしょう」。彼は誇らしげに付け加えた。会長とジーン夫人は、現在も学校や教会の

活動に熱心に参加し、教区ではミサの司祭も務めている。
　夫妻には、ジョンとマークという二人の息子と、二人の孫がいる。ジョンは一九八八年に亡くなったが、マークはゼネラル・ダイナミクスの技術部長を務めている。ジョンの息子ジョン・マイケルは十七歳で、ボルチモアの私立教区学校に通っている。彼は優等生で、野球などのスポーツにも打ち込んでいる。マークとリタ夫人の間には、十四歳になる娘のシャロンがいる。彼女は学業に優れているばかりか馬術にも熟達し、狩猟や障害馬の競技会でも好成績を収めている。

幼少時から地元ライオンズの活動に親しむ

　クジアク会長は子どものころから、ライオンズの地域社会奉仕に親しんでいた。彼とライオンズの最初の出会いは、後に入会するボルチモア・ブルックリン・ライオンズ（クラブ）が地元の映画館でクリスマス会を催し、人々をもてなした時のことであった。また会長とジーン夫人が交際していた高校時代にも、ライオンズ会員であった彼女の父親から、週末の資金調達活動でキッチンを手伝ってほしいと頼まれたことがある。更にもう一つ例を挙げれば、地元のカトリック青年会（CYO）の仲間と老人ホームを手伝っていたころには、ライオンズが同じ施設で奉仕活動を行っていた。
「したがって、ボルチモア・ブルックリン・ライオンズ（クラブ）に入会するよう招請された時、私はライオンズの活動や献身について熟知していました」と彼は語る。
「お分かりのように、私はライオンズがどのような活動を行い、なぜ地域社会のリーダーと目されているのかを、ごく幼少のころから正確に理解する機会に恵まれていたのです」。

ボルチモア・オリオールズならぬボルチモア・ライオンズ

　会長は一九六七年、ボルチモア・ブルックリン・ライオンズ（クラブ）に入会するよう、義父の親しい友人（ライオン）ハーマン・レスナーの招請を受けた。仲間との友情の絆を大切にしていたクジアク会長はこの時、三人の友人と一緒にライオンズに入会することにした。彼らは同じ学校に通い、共に成長した幼なじみで、奉仕活動を通じて更に友情を育むようになる。
　入会後間もなく、（ライオン）クジアクは視力検査プログラムの委員長に任命され、初めてクラブの活動に取り組んだ。地区では衛生車を用意して、さまざまな地域を訪問していた。彼はこの活動を通して、視力保護におけるライオンズの重要な役割を認識するようになる。彼のクラブでは青少年活動も重視しており、生徒に皆勤賞を授与していた。授与式は多くの場合校内で行われ、地域社会のリーダーたちが自分の努力を認めてくれたという事実に、子どもたちは心から感謝していた。彼はそう確信し、次のように語る。
「これは子どもたちのみならず、私たちにとっても意義深い活動でした。なぜなら、将来地域社会の指導者となるべき子どもたちと、成功を分かち合うことが出来たからです」

クラブ、そして地区の役員へ

　会長は再び同じ役職に就くことを望まず、実際にクラブのあらゆる職務を経験した。自分の後継者が選ばれると、その会員と協力して可能な限り円滑に職務の引き継ぎを行い、細かい点にまで気を配ることを忘れなかった。例えば、クラブ幹事を務めていた時。月二回の例会が行われた次の日曜日には、議事録、各委員会の報告、クラブ活動に関する文書

ボルチモア、リマの聖ローズ小学校の1年生クラス写真。未来の国際会長は第1列右から2人目、ジーン夫人は第2列左から2人目

をタイプする彼の姿が見かけられたものである。

地区の役員としては、まず網膜色素変性基金との協力を担当する委員長を務めた。地元のフォーティ・ウエスト・ライオンズクラブを訪ねた時にはこんなエピソードもあった。彼は同基金について、また基金とライオンズの関係について、必要と思われるあらゆる情報を収集し、このクラブに詳しく報告すると共に、ライオンズクラブの支援がいかに必要であるかを強調した。「説明を終えて何か質問がないか尋ねましたが、返ってきたのは全くの沈黙ばかりでした」と彼は振り返る。「私は、何か失敗をしたかと心配になりました。すると一人の会員がやっと口を開き、ちょっと気まずそうに、このクラブが基金と提携している出資クラブの一つであることを教えてくれたのです。その彼らに、私が何を説明しようというのでしょうか。これを聞いて私は、それならばこのチャンスを生かそうと考え方を切り替えました。どうすればもっと効果的に基金に協力出来るか、その場で彼らの意見を仰ぐことにしたのです」。

クジアクはゾーン・チェアパーソン、リジョン・チェアパーソンの階段を次々に駆け上がり、一九八三・八四年度には22-A地区の地区ガバナーに就任した。「この年度には国際会長ジム・ファウラー博士が五つ星プログラムを導入し、私は一〇〇パーセント地区ガバナー賞を受賞したのみならず、会長直々に感謝の言葉を賜るという栄誉に浴しました」と彼は語る。

1958年、ジュニア・プロムに出かけるクジアク会長と恋人のジーン

地区の役職を歴任していたころ、新会長の心に深く刻まれたことがある。それは彼がゾーン・チェアパーソンを務めていた時のこと。彼とゾーンの同僚は、リジョン・チェアパーソンと定期的に会合を開き、地区全体の重要事項を検討することにしていた。地区の目標や受賞の基準について、すべてのクラブに情報を提供するためである。その有効性は彼に深い感銘を与え、翌年リジョン・チェアパーソンに就任した時にも、この実践的な方法を続行した。「この方法は素晴らしい成果を生みました。私たちの地区をあらゆる側面で真に強化することが出来たと、私は今でも信じています」と彼は振り返る。

会長は地区ガバナーに就任すると、地区のあらゆる重要事項、特に受賞基準をクラブに通知する手続きに変更を加えた。その結果、22-A地区ではクラブや個々の会員が、ますます熱心に賞の獲得に努めるようになった。友情と地域社会への献身

結婚式の後で教会を離れるクジアク会長とジーン夫人

を高めるための手段として、この方法を一層役立てることが出来たのである。

国際的な舞台で成功を分かち合う

「クラブや地区の運営に携わっていたころには、国際的な任務に就こうなどとは考えてもみませんでした。そうしたことを考えている会員は、実際それほど多くはないはずです」と彼は述べている。それでは、会長はどのような経緯で決意を固めることになったのだろうか。

地区ガバナー、続いて協議会会計の任期を終えたクジアクは、他の地区の役員から「来年度は22複合地区に国際理事候補者を出す機会が与えられる」との連絡を受けた。彼は当時、22複合地区の元地区ガバナーで構成される名誉委員会の委員長を務めており、役員は次回の会議でこの件を取り上げ、候補者を募ってほしいと依頼したのである。「私は実のところ、国際理事として何が必要なのか全く分かりませんでした」とクジアク会長は認めている。「そこで国際本部に連絡し、国際理事の任務について詳しく質問したのです。私はその内容をまとめ、十六人の元地区ガバナーが出席する名誉委員会で説明しました。七人の委員が、国際理事就任に関心を示しました。私は国際理事の任務を詳しく説明し、必要な情報のコピーを配布し、夫人や家族と相談してほしいと依頼しました。数週間後に開かれた次の会合では、立候補を喜んで引き受けると表明した委員は二人だけになっていました。もう一人の元地区ガバナーと、私自身です」。

複合地区大会では二人の候補者について投票が行われ、未来の国際会長が推薦を受けることになる。「私は国際理事就任の機会について何も知らなかったほどですから、自分がその職に就こうなどとは思ってもみませんでした。地区ガバナーへの出馬を決めた時と同様、私は家族に相談しました。国際理事としての二年間の任務について、だれもが完全に理解出来るよう説明したのです」と彼は述べている。

1988年コロラド州デンバー国際大会のパレード。クジアク会長は国際理事候補として、ジーン夫人を伴い複合地区代表団の先頭に立った

コロラド州デンバーで行われた一九八八年の国際大会で、会長は国際理事に選ばれた。彼が最も誇りを感じているのは、クラブレベルで三人の会員で構成される、指導力育成について検討するチームの組織編成を理事会が決定したことである。このチームの目的は、指導力育成委員会の目標がどこまで会員のニーズにかなっているかを判断することに置かれていた。「私たちはまた、国際協会の長期的な活動について、選択的未来研究所に調査を依頼しました」と彼は語る。「国際理事会ではその結果と勧告を受けて、国際協会は数十年にわたって成果を収めてきた活動を継続するべきである、と結論しました。つまり、主として視力保護の分野に献身する、ということです。この結論は数百万ドル規模の事業計画、すなわち予防かつ回復可能な失明の克服という野心的な、しかし確

実に達成可能な目的を掲げる視力ファースト・プログラムの策定と実現につながりました」。
　国際理事会の執行委員としての経験も、クジアク会長が国際協会の役員として成長するために役立った。「私は一九八九年に、ウィリアム・ウーラード国際会長の任命を受けました」と彼は語る。「執行委員を務めたことによって、私は国際協会と執行役員の関係を真に理解することが出来たのです。後に国際副会長を務めることになった時、その有効性が立証されることになりました」。
　会長は、二〇〇二年の大阪国際大会で国際第二副会長に立候補することを決意する。それは主として、過去十年間に打ち立てた自らの見解と計画を実行に移し、国際協会の更なる発展に役立てたいと考えたためである。「執行役員としての最も有意義な経験は」と彼は語る。「世界中のライオンズを訪問し、国際協会内部の素晴らしい営みを目の当たりにしたことです。ライオンズの取り組みに対する国際役員の支援は、世界の至るところで実を結んでいました。そのことを明確に認識したことこそ、私にとって何よりも意義深いことでした。ライオニズムの推進に貢献したいという私の意欲は、この貴重な経験によってますます高まることになったのです」。

我々が目指すべき方向

　会員として、また今や国際協会の最高責任者としての会長の哲学には、ライオンズクラブ国際協会が目指すべき方向についての信念が反映されている。会長は次のように主張する。「予防可能な失明に関するプログラムの推進は、決定的な重要性を持っています。ライオンズは過去八十年間にわたり、伝統的に視力保護に取り組んできました。この分野における私たちの実績は、ボランティア組織の中でも最大のものとして認められています。視力を奪う症状は加齢に伴い生じる場合が多く、このことを忘れてはなりません。つまり、人々の寿命が延びれば延びるほど、視力保護における私たちの役割がますます必要とされるということです。
　また私たちは、青少年に対して大きな責任を負うべきです。青少年が地域社会への奉仕により多くの時間とエネルギーを傾けることが出来るよう、今後も機会の拡大に努めなければなりません。ライオンズはその経験と実績によって、この分野でだれよりも優れた手本を示すことが出来るはずです」。

メリーランドで開かれたライオンズの会合で、ジョセフ・ロブレスキー元国際会長からピンを授与される未来の国際会長

　本年度、クジアク国際会長は何を達成したいと考えているのだろうか。それは、会員を再び地域レベルでの目標の達成に取り組ませることである。会員の参加は、クラブ会長と地区ガバナーを励まし、その意欲を高めることよって実現される。クラブ優秀賞や一〇〇パーセント地区ガバナー賞の獲得数も、それぞれ増加することになるだろう。更に会長は、会員増強の必要性を痛感し、次のように力説する。「ライオンズクラブ国際協会を世界的に強化するためには、会員の実質的な増加が不可欠です。会員が増えれば増えるほど、私たちは世界と地域社会の必要にこたえる自らの能力を、ますます多くの人々と分かち合うことが出来るでしょう」。
　クラブ、会員増強、LCIF、青少年活動、指導力、社会的なイメージを高める広報活動、世界の平和と友好の促進、あるいは地域社会奉仕など、その活動が何を対象とするものであっても変わりはない。「奉仕を通して成功を分かち合う」ことの必要性を認識した時、会員は人類のために奉仕するという自らの使命を、粘り強く実現させていくことになるだろう。「他者のために手を差し伸べるという揺るぎない決意は、私たちに与えられた素晴らしい贈り物です。この決意を、すべての人々と分かち合おうではありませんか」。国際プログラムの末尾に添えられたこの言葉は、クジアク会長の確信を物語るものである。

石橋幹雄新国際理事の横顔

ライオンズの歴史踏まえ「誇り」説く人の登場

◆名誉を守り自決せよ

人は、長い生涯でさまざまな体験を持つ。だが、その少年期に、日本人としての名誉を守るため、自決の覚悟をしなければならなかった、という体験はだれでもが持てるものではない。石橋幹雄は、その極めてまれな少年時代を過ごした。

時は終戦直後、一九四五年（昭和二十年）。幹雄少年の父石橋猛雄氏は、北海道小樽市長橋町で病院を開業していたが、地元の名士だったこともあって、戦時中、いくつかの団体の役職を兼ねていた。その関係で、アリューシャン列島の原住民を戦火から避難させる運動にもかかわり、現地から日本に引き揚げた者たちの保護に当たった。

戦いが終わり、残虐なことが行われなかったか、事の次第を調べるため、スイスから国際赤十字社の調査団がやって来た。父が進駐軍に召喚される事態となった。その日、父は小学校五年生の幹雄少年を居間に呼び出し、毒薬を手渡して告げた。

「私に何かあり、長男のお前が、家族に累が及ぶと判断したら、この薬でお母さんに死んでもらい、姉弟に死んでもらい、それを見届けてから自決しなさい」

戦いは終わったが、家の誇りを守り、日本人としての名誉に命を捧げる、古えの倫理が歴然と生きていた。

当然ながら、父の嫌疑は晴れ、やがて進駐軍もパーティーにやって来るようになったが、少年は、その時期まで父に預かった劇薬を隠し持っていて、ようやく「預かっていたやつ返すよ」と父に手渡した、という。少年の戦後はそこから始まった。

◆外交官か設計士か検事か

石橋幹雄は、父石橋猛雄、母静枝の長男として一九三四年十月、小樽市で生まれた。八人姉弟の三番目の子で、父は北海道帝国大学医学部精神科医局員を務めた後、二九年から地元で病院を開業していた。

この年代に生まれた少年たちは戦後の学制改革の波に翻弄された。幹雄少年も同じで、戦時中、地元の学習院と言われていた、堺国民学校（現・堺小学校）に入学、戦後、中学校へ進んだ時は新学制のため、教科書が間に合わず、高校入学の時は急に男女共学ということになって、それまでは高等女学校だった高校に割り振られ、トイレがなくて慌てた。

大学進学ということになった時も悩んだ。父の跡を継いで医師になろうというつもりはさらさらなかった。初めは外交官になりたかったが、叔父たちの説得で断念した。それならと、物作りが好きだったのでダムの設計士を目指そうとした。男の仕事だと思った。ところがそれも叔父たちが反対した。

「お前が一人前になるころは日本中の川にダムが出来てしまってるぞ」

よおし、それなら検事になってやると思った。折からいまだ社会不安が去らず、「悪いやつが世の中を騒がせていた」ころだった。ところが、これも弁護士の叔父の説得にあってしまった。

多分、父の願いを聞いた叔父たちの説得攻勢だったのだろう。結局、

1981年札幌市に開院した旭山病院にて。現在、北仁会石橋病院と旭山病院の理事長を務める

幹雄青年は、札幌医科大学に進学したが、どうも落ち着かない。途中で仏教大学に替わって、哲学をやろうと考えた。これも厳しく叱られた。

「哲学なんかは金持ちの三男がやるものだ。長男なんだから、少しは考えろ」

こうなれば、医学の道を究めるしかないと思った。国家試験を通ったら、大学病院の精神科が待ち構えていて、否やはなかった。それからは、とんとん拍子に進んで、厚生省の入省が内定し、東京・四谷のマンションも下見して入省寸前まででいった。

ところが人生は分からない。父が日本精神病院協会の会長になった。そんな状況で子が監督官庁にいたのではまずかろうと、結局はそのまま大学に残り、六六年に故郷小樽に戻って、父の経営する石橋病院の人となった。

父の跡は継ぐまいと思っていたのに、なぜかお釈迦様の掌の上の孫悟空みたいだった。その父は、その二年前に302・E3地区（現・331・C地区）のガバナーを務めたライオンズの大先輩でもあった。

◆料理の達人になった

結婚は早かった。学生結婚だった。その点は父と同じだった。妻悌子さんは、当時「サクラ・フィルム」のキャンペーン・ガールを依頼されていた。「サクラ・フィルム」の小西六写真工業（現・コニカミノルタ）は、そのころ、カラーフィルムのキャンペーンに全力を挙げていた。幹雄青年は、高校のころから父の愛機ライカを譲られて、カメラ雑誌のコンテストで入賞するほどの腕前だったから、夫妻は、出会うべくして出会った二人だった、と言っていいかもしれない。

夫妻は一男二女に恵まれた。その子どもたちが忘れられないのが、「おふくろの味」ならぬ「親父の味」。毎日の食事の支度は悌子夫人がするのだが、何かよそからの到来物で、例えば、上等な肉などが目の前に現れると、ライオン石橋は、断固といった感じで厨房に入る。

ダムの設計士を目指そうとしたくらいだから、学生時代から、素材を組み合わせて、料理という名の一つの創作品を作り上げることに興味があった。結婚後は、その思いが強まり、素材をどう料理するかが楽しみになった。家族がうまそうに食べるのを見るのも楽しかった。調理しているうちに、フランス料理と中華料理が得意分野になっていった。

後年のことになるが、とうとう自分用の厨房を造ってしまい、「火の料理」と言われる中華料理のために、火力の強い業務用レンジを備え付けた。腕も半端ではない。

九六年に、ライオン齋藤壽一（北海道・函館海峡ライオンズクラブ）が331・C地区ガバナーの任期を終えた時、一緒に働いたキャビネット役員三十人と共に、石橋家に招かれた。その人々を待っていたのは、ライオン石橋が調理した本格的な料理だった。

それだけではない。毎年正月になると、小樽グリーン・ライオンズクラブ例会の後、会員を石橋家に招いて、一流レストラン顔負けの料理を振舞う。会員にとっては、正月恒例の楽しみの一つとなってしまった。

◆ライオンズクラブへの道

石橋病院へ帰って来た石橋氏を待っていたのは、患者だけではなかった。父は早くからのライオンズのメンバーで、同期のガバナーには後に国際会長となるライオン村上薫（京都ライオンズクラブ）や、終戦時の鈴木内閣の内閣書記官長を務め、七〇〜七二年の国際理事になるライオン迫水久常（東京ライオンズクラブ）らがいて、度々父を訪ねて来ていた。ライオンズへの道

1988年小樽市民会館で開催された第34回331-C地区年次大会を地区ガバナーとして主宰した

は、すぐ傍にあったようなものだが、直接のきっかけになったのは、当時、ゾーン・チェアマン（現ゾーン・チェアパーソン）を務め、後に地区ガバナーとなるライオン岡本康夫（小樽ライオンズクラブ）の要請であった。新しく結成される小樽グリーン・ライオンズクラブに入って、幹事をやれ、ということであった。六七年、ライオン石橋三十三歳の年であった。

メンバーは全員が初めてのライオンズ。転籍組は一人もいない。ライオン石橋は「幹事と言っても、宴会の幹事くらいのものだろう」と見て引き受けたのだが、どっこい、そうは問屋が卸さない。

何しろ、父が元ガバナーだから、何でも分からないことは、ライオン石橋任せとなってしまった。父に聞いても「楽しくやれ」というだけであったから、勢い自ら「ライオニズム」を勉強するしか道はない。

おまけに、メンバーには生きのいい者が多く、毎日のように酒杯を交わしながら「ライオンズ談義」となり、真剣で、馬力があった。

馬力のあるメンバーにしばらくは任せ、どうせ務めるのなら、十年後くらいには会長を引き受けてもよいと思い、つい「十一代会長ならやるぞ」と言ってしまったのが裏目に出た。何と会長を飛び越して、七四年度のゾーン・チェアマンに指名されてしまった。先輩ライオンズのお膳立てだった。

各クラブの会長が集まるゾーン会議で、会長たちに喜んでもらうにはどうしたらよいか。ライオン石橋は考えた末、『会長必携』の資料集を作って配布した。これが、会議の大収穫とゾーン内クラブ会長の評判になった。この経験が後でも役立った。

「ライオン石橋から言われたことがあります。初めからその役職に精通している人なんていない。勉強してきっちり務め上げて、任期が終わったら、その経験を次のステップに生かしなさい、と。その通り実践して、勉強になりました」（ライオン本間義章／二〇〇四－〇五年度副地区ガバナー／小樽グリーン・ライオンズクラブ）

何しろクラブ自体に馬力があるから、アクティビティにも勢いがあった。七四年には、車いすで乗り込める福祉バスを市に寄贈する運動を起こし、二年後、市民を巻き込んで福祉バス「みどり号」を走らせた。このバスは坂の多い小樽には欠かせぬものとなり、今も何代目かの「みどり号」が小樽の街を走っている。

そのクラブを見込んで、ある日、市民から投書が舞い込む。

「北海道の経済文化の中心地であった小樽市ゆかりの文学者の諸資料が散逸の危機にある。これを阻止し、文学館を創設する運動のリーダーシップをとってほしい」

クラブが十周年記念事業の論議を重ねていた時期であった。この手紙が呼び水となって、第一副会長だったライオン石橋が、文学館設立期成会長になり、会長時代に構想をまとめ、結局、七八年に市の分庁舎に小樽文学館を立ち上げた。その後もライオン石橋が支援組織「小樽文学舎」の会長を務め、それが韓国・木浦大学への図書寄贈、交流へと広がっていった。

1993年の第39回年次大会では焼き鳥を焼いて参加者にサービス

◆小樽からの出発

八七・八八年度、331・C地区はライオン石橋をガバナーに迎えた。キャビネットは前年度に予算を使い尽くし、ほとんど活動資金がなかった。しかも、地区は会員数が減少し、奉仕活動も停滞気味であった。新ガバナーはまず、キャビネット構成員を半減させた。キャビネットは一人二役で奮い立った。小樽は北海道の鉄道史の起点、ここからかつて弁慶号や義経号が走り出したように、地区の建て直しが始まった。

石橋ガバナーは公式訪問で、各クラブの会長に最盛期の人数や、クラブの活動歴を尋ねた。知らない会長が多かった。どうやってクラブを建て直すか計画書を求めた。質問書と勘違いした回答が多かった。石橋ガバナーの叱声が飛んだ。ゾーン・チエアマンを立ち会わせて、目標達成までを見届けさせた。当時デピュティ・ガバナー（現リジョン・チェアパーソン）を務めていたライオン齋藤壽一はこう振り返る。

「後で謝ったけれど、それぐらいしないと建て直せなかったんですね」

こうして、一年頑張ったクラブ会長やゾーン・チェアマンは、建て直しに自信を持ち、翌年度のガバナーにもこの方針が受け継がれて、331・C地区の礎が確固としたものになっていき、後々の心遣いにも感謝の言葉が寄せられた。

「私が副地区ガバナーになって初めての年次大会で、元地区ガバナーが集まった控え室に案内されたことがありました。部屋の空気が重く、いずらかったんですが、石橋夫妻が隣の席に呼んでくださったんですね。今でも家内はその時のことをよく話します。温かな心遣いが忘れられません」（ライオン小野善男／元地区ガバナー／函館中央ライオンズクラブ）

この後、ライオン石橋は331複合地区会則委員長や複合地区会則委員長連絡会議世話人を務め、透徹した論理の下で独自性を打ち出していった。そのライオン石橋の日本ライオンズへの提言。

「ライオンズの世界では、往々にしてパワー・ハラスメントとでも言うべき一面を見ることがありますが、会員は皆同じ会費を納めている同じライオンズです。その基本を大切にしたい。会員はライオンズとしての誇りを取り戻してほしい」

親子二代、長いライオンズの道程の歩みからの発言だけに、共感者が多い。その人が国際舞台に登場するのだから、期待もまた大きい。

2002年の第39回OSEALフォーラム（韓国・釜山）参加の折、ご夫婦で

「331・C地区のガバナーは、言わば石橋学校の門下生の趣がある。大いに期待している。世界の舞台ではっきりものを言ってほしい」（ライオン齋藤壽一）

「ライオンズの誇りを取り戻すのに最適の人だと思います。こういう言い方は失礼かもしれませんが、友として持つべき条件である誠実、正直、へつらわない、これを兼ね備えた方で、お会いする度にその感を深くしてします。今後、個性を発揮されて国際舞台で活躍してほしい。日本ライオンズ活性化の源になる方だと、期待しています」（ライオン荒川隆志／国際理事支援委員会委員長／元地区ガバナー／室蘭東ライオンズクラブ）

衆望を担っての登場である。ライオン石橋の主張。

「世界の各国、各地域にはそれぞれ歴史と文化があります。その歴史と文化を無視したプログラムには無理が生ずる。日本の土壌の中で培われた人間愛、ヒューマニズムを掲げて、一身を捧げる覚悟でいます」

石橋幹雄新国際理事、六十九歳。颯爽、誇り高き日本人の登場である。

（ルポライター／篠崎淳之介）

ライオンズ ニュースカセット

NEWS CASSETTE

ITフォーラム神戸大会開催

六月二十日、兵庫県神戸市で、335・A地区IT委員会(橋本維久夫委員長)主催のITフォーラム神戸大会が開催された。フォーラムには松田毅同地区ガバナー、八複合地区IT委員長連絡会議の竹本實生世話人と岡田仁前副世話人を始め、北海道から九州まで十六地区、四十五人のIT関係者が出席。第一部では、国際協会ウェブマンスリーの新システム(WMMR)と同地区IT委員会開発のクラブ管理ソフトについて、それぞれ同委員会の団英男、辰巳博昭両副委員長が説明。その後、八複合地区IT専門部会の湯浅利弘委員をコーディネーター、同部会の三好守(世話人)、三谷良隆、坂口裕幸の各委員と、早川良貴元334・A地区IT担当副幹事、橋本委員長をパネリストに、パネル・ディスカッションを開催。IT化による通信費削減効果などの実例が報告されると共に、危機管理やアクティビティの情報交換に、ライオンズのネットワーク化の推進が望まれるなどの意見が出され、最後に「ライオニズムの高揚のため、私たちは全国各地のメンバーとインターネットを通じたネットワークを構築し、更なるIT化を展開することをここに宣言する」というITフォーラム神戸宣言を採択し閉幕した。

今年度人道主義大賞は世界バプテスト連盟のキム議長

二〇〇四年ライオンズ人道主義大賞の授賞式が、七月九日、ミシガン州デトロイトのジョー・ルイス・アリーナにおける第八十七回国際大会閉会式の中で行われた。今年の受賞者は、世界バプテスト連盟(BWA)議長のビリー・ジャン・ホワン・キム氏。同氏の人権擁護と信教の自由に捧げる献身的な活動の業績が称えられた。授賞式ではテーサップ・リー国際会長からキム氏に記念の盾が贈られると共に、LCIFから二十万ドルが贈呈された。

キム氏は世界に一億一千万人以上の会員を持つBWAの韓国人初の議長。韓国・水原市の中央バプテスト教会の牧師であると同時に極東放送社の社長を務め、八つのラジオ放送局ネットワークを統括している。

国際大会開会式で334・A地区が特別表彰

七月七日、ジョー・ルイス・アリーナで開催されたデトロイト／ウィンザー国際大会の開会式で、334・A地区（愛知県）がLCIFへの多大な貢献に対する特別表彰を受けた。世界一の献金を継続している同地区が五十周年を迎えたのを機に表彰されたもの。栢森新治〇三年度地区ガバナー（写真中央）は、〇三年度に地区が行った献金総額約百三十万ドルの証書をケイ・K・フクシマLCIF理事長に手渡した。フクシマ理事長からクリスタルの盾が贈呈されると、会場を埋めた世界のライオンズから盛大な拍手が起こった。

334・A地区は地区別のLCIF献金額で第一位の座を連取。特に一九九〇年以降は毎年百万ドルを超える献金を続けており、地区内の二十クラブが一〇〇パーセントMJFクラブとなっている。

MJF昼食会で表彰

第八十七回国際大会期間中の七月八日、大会サービス・センターが置かれたコボ・ホールで、恒例のメルビン・ジョーンズ・フェロー（MJF）昼食会が開催された。席上、LCIFに対して大きな貢献をされている個人と、会員全員がMJFとなった一〇〇パーセントMJFクラブの表彰が、フクシマ理事長によって行われた。個人表彰は、日本の三原晴正元337・A地区ガバナー（福岡県・苅田ライオンズクラブ）と、カジット・ハバナナンダ元国際会長（タイ）で、いずれもLCIFへの献金額が累計二十万ドルを超えた献金者に贈られるヒューマニタリアン・パートナーのシルバー・メダルを授与された。また、一〇〇パーセントMJFクラブは六クラブで、日本から北海道・札幌オーロラ・ライオンズクラブ、北海道・旭川平和ライオンズクラブ、愛知県・名古屋本丸ライオンズクラブ、京都王仁ライオンズクラブの四クラブが表彰され、記念の盾が贈られた。

二〇〇四年国際コンテスト結果

デトロイト／ウィンザー国際大会で各種国際コンテストの結果が発表され、日本からはPRアイデアの会員部門でライオン馬越甫（大阪天王寺ライオンズクラブ）が、またウェブサイトの地区部門で333・C地区が一位を獲得したほか、友好バナーのクラブ部門で大阪府・岸和田ライオンズクラブが佳作に選ばれた。各コンテスト第一位は左記の通り（全結果は国際協会公式ウェブサイトのオンライン国際大会参照）。

友好バナー＝クラブ：バメンダ（カメルーン）／地区：104・E地区（ノルウェー）

会報＝クラブ：ナグプール・アーユルヴェーダ（インド）／地区：LD・8地区（ブラジル）

PRアイデア＝馬越甫（大阪天王寺）／クラブ：ナイロビ・ラビントン（ケニア）

交換ピン＝クラブ：マリエッタ・イースト・コブ（アメリカ・ジョージア州）／地区：13・D地区（アメリカ・オハイオ州）／複合地区：16複合地区（アメリカ・ニュージャージー州）

ウェブサイト＝クラブ：ル・グランデ（アメリカ・カリフォルニア州）地区：333・C地区（日本・千葉県）／複合地区：18複合地区（アメリカ・ジョージア州）

NEWS CASSETTE

インターナショナル・パレード・コンテスト結果

七月六日、ミシガン州デトロイトで行われたインターナショナル・パレードには、世界百カ国から約九千人のライオンズ及び家族が参加した。このパレードはパレード・コンテスト委員会により審査され、翌七日の国際大会開会式で結果が発表された。日本はコンテスト第二部バンド部門で堂々第一位を獲得した。部門別の第一位は左記の通り（全結果は国際協会公式ウェブサイト参照）。

▼第一部：フロート＝27複合地区（アメリカ・ウィスコンシン州）／バンドⅠ＝5M複合地区（アメリカ・ミネソタ州）／バンドⅡ＝30複合地区（アメリカ・ミシシッピー州）／均整行進隊＝10～11複合地区（アメリカ・ミシガン州）／ユニフォーム＝404地区（ナイジェリア）▼第二部：バンド＝330～337複合地区（日本）／均整行進隊＝24複合地区（アメリカ・バージニア州）。

年度末前にエクステンションの動き

前年に引き続きエクステンションを推進した二〇〇三年度のインパクト・プログラムが、年度末を前にいくつかの成果を上げている。

VOLUNTEER NET

◉

http://www.joicfp.or.jp/jpn/

財団法人ジョイセフ

㈶ジョイセフ（家族計画国際協力財団）は、一九六八年に日本政府の認可法人として発足したNGO。アジア、アフリカ、中南米の発展途上国の人々が自立して健康で幸せな生活を送れるように、地域に密着した生活改善運動を地域住民と共に推進している。設立以来三十年以上にわたる発展途上国に対する国際協力活動の経験と実績は、国際的にも高い評価を受けており、二〇〇一年には国連人口賞の団体賞を受賞した。

寄生虫予防・栄養改善活動といった発展途上国の人々の健康を向上させる働きかけに始まり、思春期保健活動、プライマリー・ヘルスケアの推進、収入作り活動や基礎教育普及活動、更には予防医学活動など、そのプロジェクトは途上国で多くの進展を見せている。

中でも「収集ボランティア活動」は、だれもが身近にボランティアに参加出来る活動として知られている。収集ボランティアで集めるものは主に、書き損じはがきや使用済み切手、プリペイドカードなど。ジョイセフでは、ボランティアから寄せられた書き損じはがきや使用済み切手を換金して得た資金を、再生自転車（放置自転車を補修・修理し、再生させた自転車）の海外譲与活動に役立てている。

日本の自転車保有台数は約七千万台と言われ、中国、アメリカに次いで世界で三番目。しかし、例えば一九九八年度には、全国の駅前や路上で放置された自転車のうち、二百六十万台が自治体によって撤去され、そのうち八十万台がスクラップとして処分されている。

一方、発展途上国では、村に自転車が一台あれば、急病人を町のクリニックに運ぶことが出来、手遅れにならずに命が救われる可能性もある。そうした国では妊娠と出産に伴う疾病や事故で、毎年約五十万人の人々が命を落としている。移動手段さえあれば、助かったかもしれない命は、十や二十ではないはずだ。

日本とは対照的な発展途上国のこの現状を危惧し、ジョイセフは東京都や埼玉県など十四の地方自治体と協力して「再生自転車海外譲与自治体連絡会（略称：ムコーバ）」を組織した。ムコーバは、八八年から二〇〇三年十一月までに、八十二カ国に四万三千六百七十五台の再生自転車を寄贈した。

収集ボランティアによって得られた資金は、その海外輸送費の一部に活用されている。そのシステムは次のようなものだ。書き損じはがきはまず、郵便局で交換手数料を支払い、未使用はがきと交換される。そのはがきを、ジョイセフの国際協力活動に賛同する企業や団体が買い取ることで資金となる。また使用済み切手に関しては、一キロあたり約八百円で、取り扱い業者に引き取られ換金される。

日本においては通行を妨げ、邪魔にしかならない放置自転車が、再生自転車となって途上国に渡れば、「鉄の馬」、「二輪救急車」、「命の足」などと呼ばれ、地域の人々や家族の健康と命を守っているのである。

330・A地区では〇三年度、「新ライオンズクラブ・エクステンション推進要領」を作成。二十リジョンの中から十リジョンをエクステンション重点リジョンに選定して促進に努め、年度中に三クラブ結成を果たした。盲導犬育成をアクティビティ・テーマに掲げる東京スバル・ライオンズクラブ、少年野球指導を通しての青少年育成を図る東京サンシャイン・ライオンズクラブ、三十、四十代前半の若い会員中心の東京スピリット21ライオンズクラブというそれぞれに個性的なクラブである。五月十一日には東京スバル、東京サンシャインの二クラブが合同チャーター・ナイトを挙行した。

また332・C地区では、今年三月に結成一周年を迎えたばかりの仙台コア・ライオンズクラブが、仙台コア・ガイア、仙台コア・フロンティア、仙台コア・ウェーブの三クラブをエクステンション。六月二日、仙台コアと三つの新クラブが共同スポンサーとなって結成された仙台コア・ライオネスクラブも含む合同結成式を行った。これにより332・C地区第1リジョンには「コア」を名乗るクラブのみが所属する第3ゾーンが新しく設定された。例会もまた特徴的で、毎月第一例会は各クラブで、第二例会はゾーン合同例会を開催し、連携強化を図っている。

国際協力を促進するインタークラブ・プログラム

国際協会が設けている国際協調プログラムの一つに、インタークラブ・プログラムがある。主に発展途上国のライオンズクラブの要請に対して、先進国のクラブが支援を提供するというもの。クラブ間の国際的な協力事業を促進すると同時に、国際理解の増進を目的としている。LCIFには二国間のライオンズの協力事業に対する国際援助交付金があるが、インタークラブ・プログラムはより小規模な事業に対応するものと言える。支援を希望とするクラブは、支援要請の内容など必要事項を国際本部プログラム企画課へ提出し、その要請がホームページ上に掲載される（英語のみ）。現在、掲載されている要請には、医療器具や消防車、コンピューターなどの提供を求めるものが多い。また、同じページに支援提供を申し出る欄もある。興味のあるクラブは、国際協会ホームページ「その他のプログラム」→「国際協調」→「国際相互援助」のページを参考にされたい。

LCIFセミナー開催予定

ライオンズクラブ国際財団（LCIF）の活動報告も兼ねて、毎年開催されているLCIFセミナーが、今年度はテーサップ・リーLCIF理事長（前国際会長）を迎え、八月二十日から二十八日にかけて国内四カ所で開催される。予定されている日程と会場は左記の通り。

八月二十日（金）青森市・青森国際ホテル（331・332複合地区）

八月二十三日（月）岡山市・岡山ロイヤルホテル（335・336・334の関西近辺）

八月二十六日（木）東京都・パレスホテル（330・333・334の関東近辺）

八月二十八日（土）熊本市・日航ホテル熊本（337）

LCIF交付金申請に適した事業、適さない事業

LCIF交付金申請を行うには、まず第一に申請事業の内容が交付金の基準に合ったものであることが不可欠となる。一般援助交付金、国際援助交付金の基準に照らした場合、申請に適した事業と適さない事業にはそれぞれ左記のような例がある。

これから申請を検討されているクラブ、地区は参考にされたい（情報提供／田辺憲雄LCIF資金開発課課長）。

〈一般援助交付金としての申請に適した事業〉

- 医療施設の拡張、医療機器の寄贈
- 障害者援助
- 発展途上国における学校の建設
- 巡回検診車
- 身体障害者用輸送車両の寄贈

〈一般援助交付金申請の対象にならない事業〉

- 人道主義的奉仕と見なされない事業
- 事業の成果が永続的でないもの（一、二日で事業が終了する）
- 政府または他の組織が資金援助すべき事業
- 環境問題への取り組み
- 文化的事業
- 奨学金
- 地域社会の改善——図書館、公園、遊技場、運動場など
- スポーツ大会の開催
- 集会所、コミュニティー・センターの建設
- 職業訓練所の建設（身体障害者用は対象）
- 単一クラブの事業（最低二つ以上のクラブの関与が必要）
- 既存施設の運営経費及び給与
- ローンの返済のため、または積立基金
- 個人の科学的研究
- ライオンズまたはその家族が直接職業上の利益を受けるような事業

〈国際援助交付金としての申請に適した事業〉

- 給水事業（井戸を掘る）
- 保健サービス（眼鏡の配布、村の保健員の訓練、医療センターへの備品、高齢者のための医療サービス）
- 地方の開発（農業訓練、食料生産、作業所の設置、貧困地帯での職業訓練などの経済開発）
- 教育及び識字（途上国の学校に書籍やコンピューターの提供、教師の訓練、職業技術訓練）
- 障害者援助（リハビリ、自立支援）
- 環境保全（植林、衛生施設）
- ライオンズ医療使節団、眼鏡リサイクル

なお、一般援助交付金、国際援助交付金及び四大交付金の申請は、年三回開催されるLCIF執行委員会の二カ月前までに行わなくてはならない。今年度交付金の申請締め切りは、十月の執行委員会の審議分が八月五日、〇五年三月の執行委員会の審議分が〇五年一月二十八日、〇五年六月の執行委員会の審議分が〇五年四月二十一日となっている。

LCIF REPORT

報告書で見る日本ライオンズの交付金事業例

世界遺産の古都・アユタヤでの植林事業

●東京新都心ライオンズクラブ

国際援助交付金／交付額：10,000ドル
事業完了日：2004年3月27日

▼事業概要

森林破壊などで自然環境の悪化が進むタイにおいて緑化を推進すると共に、現地の子どもたちに植樹の体験を通じた環境教育を行うことを目的としている。二〇〇一年十二月、(財)オイスカの現地職員の指導の下、古都アユタヤにあるアユタヤ・ウィタヤライ校の中学生と記念植樹を行ったのを皮切りに、三年間にわたる植林及び樹木の保護育成を実施した。現地ホスト・クラブはバンコク・コスモポリタン・ライオンズクラブ。

当初はマングローブなどの雑木六千本の植林を予定していたが、アユタヤ市長たっての要請があり、古都に縁のある樹木の植樹に変更。本数は千二百本と大幅に減少した。東京新都心ライオンズクラブとしては別途、オイスカの協力を得て、タイ北部に雑木三千本を植林する「子どもの森計画」事業も実施している。

二〇〇四年五月に、現地を訪れて予定の植林がすべて完了したことを確認し、この事業を終了した。

▼LCIF交付金の使途

この植林事業に対する交付金は、すべて苗木の購入に充てられた。購入した樹木はジャカランダ、ショレアなど全部で六種類で、かつて都の象徴であった貴重な樹種や固有種ばかりである。この植林によって、十四世紀半ばからビルマの侵攻によって滅びるまで四百年余にわたって栄えた王朝の都、アユタヤの森が蘇ることとなった。

▼事業が及ぼした影響

東京新都心ライオンズクラブは、過去にインドネシアで五万本のマングローブを植林したのを始め、スリランカ、パプア・ニューギニアでも(財)オイスカと共に共同事業を行ってきた。途上国における植林事業の経験から分かったのは、ある程度、民意が高まっていないと、地域との共同作業を実施することは出来ないということ。まずは、住民の意識を高める教育から始めることが必要である。今回採用した、子どもたちに植林を体験させて成長を待つ方法は、時間は掛かるが確実で効果的である。本プロジェクトの影響は、近い将来確実に現れてくるはずである。

〇一年十二月六日にウィタヤライ校で行った序幕式では、LCIFマーク入りの記念碑を披露したが、これがタイ王室の目に留まることとなった。後に、図らずもタイ国第三皇女から表彰を受ける栄誉を手にする結果となった。

●国際大会開催予定

二〇〇五年　香港
二〇〇六年　アメリカ・ルイジアナ州ニューオーリンズ
二〇〇七年　アメリカ・イリノイ州シカゴ
二〇〇八年　タイ・バンコク
二〇〇九年　アメリカ・ミネソタ州ミネアポリス
二〇一〇年　オーストラリア・シドニー

●新結成／クラブ名称変更／解散

■新クラブ結成

京都薫風▼結成順位／三五五四▼五月十七日結成▼伊庭文子会長▼事務局／京都市中京区河原町通三条上ル　京都ロイヤルホテル内（〒604-8005）TEL〇七五-二五五-一〇七九▼スポンサー／京都ロイヤル

兵庫県・小野ひまわり▼結成順位／三五五五▼五月二十五日結成▼末瀬和子会長▼事務局／小野市王子町八〇〇-一（〒675-1378）TEL〇七九四-六三-三六〇六▼スポンサー／小野

■クラブ名称変更

Focus on Leos

■京都東レオクラブ

30周年を機に、新たなアクティビティに取り組む

二〇〇三年、めでたく三十周年という節目を迎えた京都東レオクラブは、新たなアクティビティとして「セラピードッグ」への理解を求める活動を展開した。セラピードッグとは、触れ合いや交流を通じて人の不安を減らし、気力を高め、心と体を癒す働きをする犬のことである。

人間の身勝手さから年間二十九万頭、一日およそ八百頭の犬が小さな命を絶たれているという。そんな理不尽に殺され続ける犬たちの中から、運良く助けることが出来たわずかな子犬たちを、セラピードッグへと転身させる訓練活動をNPO法人の日本レスキュー協会が行っている。一頭の子犬がセラピードッグになるまでには、約二年ものトレーニング期間が必要だと言われているが、そのための公的資金援助は国から一切ないのが現状である。そこで、育成・訓練資金を得るため、京都東レオクラブは日本レスキュー協会と共に街頭キャンペーンを行った。

キャンペーンでは午前九時から午後五時まで、レオ・メンバーが市内の繁華街、四条河原町で募金活動を行った。当日は日曜日とあって、たくさんの往来があり、応援に駆けつけてくれた日本レスキュー協会所属のレスキュー犬「クレア」も募金に一役買った。クレアの活躍もあって、この日はたくさんの募金を集めることが出来た。

収益金はスポンサー・ライオンズクラブである京都イースト・ライオンズクラブとの合同例会の席で日本レスキュー協会へ協力金として渡され、この資金援助をもって三十周年記念のメーン事業とした。

一昨年度のことになるが、京都東レオクラブの会長を務めたレオ西野祐二が、ライオンズクラブ国際協会から栄誉ある「レオ・オブ・ザ・イヤー」を受賞している。

二〇〇二年三月に、京都東レオクラブを中心にいくつかのレオクラブが集まって、耳の聞こえない人のために耳の働きをする「聴導犬」のPR活動を行った。十一月には335-Cレオ地区会長として、琵琶湖で水の大切さを伝えるための「ウォークラリー講演会」を主催。京都東レオクラブを始め、各レオクラブが行ったボランティア活動を積極的に推進した。こうしたリーダーシップが評価されての受賞であった。レオ西野は次のように話す。

「受賞に関しては、地区会長の任期中に行ったアクティビティと、会員増強が高く評価されたようですので感激もひとしおです。実際は、スポンサー・クラブや仲間のレオに支えて頂いたからこそ、一年間頑張ることが出来ました」

しかし、国際協会に評価された会員増強も、このところかげりを見せ始めている。七三年の結成当時は三十人で発足し、最大四十五人までの増強を見たが、その後減少。この傾向に歯止めを掛けるために、新会員入会の条件に「ライオンの子弟に限る」とあるのを、九八年七月一日から「ノン・ライオンの子弟も可」と改訂。新会員を勧誘した。しかし、現在メンバーは十六人と減少しており、今後の課題として、会員増強に努めていく考えである。

京都岡崎→京都岡崎白川
長野県・東部→東御

■解散クラブ

京都白川

訃報（元国際役員）

ライオン寺嶋周三（千葉県・柏ライオンズクラブ）
五月五日死去、81歳。六六年入会。八八年度333・C地区ガバナー。

ライオン木川佳則（福島県・郡山ライオンズクラブ）
五月二十七日死去、87歳。六一年入会。八八年度332・D地区ガバナー。

ライオン小泉昭（千葉県・船橋ライオンズクラブ）
六月六日死去、76歳。六三年入会。八八年度333・C地区ガバナー。

ライオン関根利夫（埼玉県・大宮北ライオンズクラブ）
六月九日死去、74歳。七〇年入会。八九年度330・C地区ガバナー。

ライオン小川四郎（三重県・伊賀上野ライオンズクラブ）
六月十二日死去、78歳。六四年入会。八五年度334・B地区ガバナー、334複合地区ガバナー協議会議長。

ライオン瀧川左近（兵庫県・神戸六甲ライオンズクラブ）
六月二十日死去、86歳。六二年入会。八四年度335・A地区ガバナー。

会議録　5月 6月　主な議題だけをまとめました

複合地区国際大会委員長連絡会議

国際大会委員長連絡会議（小委員会）は五月二十六日、東京・日本橋の日本ライオンズ連絡事務所で開催され、I第八十七回デトロイト／ウィンザー国際大会①最新日程、②インターナショナル・パレード、③日本ライオンズ国際大会代議員会・記念夕食会、④国際会則及び付則改正案、⑤その他について協議した。

②は⑴日本の集合時間と場所、⑵行進場の注意点。

ライオン誌日本語版委員会

第十一回ライオン誌日本語版委員会は五月二十六日、東京・築地のライオン誌日本語版事務所で開催され、①六月号（四月二十日発行／十三万二千部）出来、②七月号以降台割と主要記事予定、③国際協会『ライオン誌』購読料、④借室料の値下げ、⑤夏期賞与及び七月昇給について協議した。

②は各号「THEME」は七月号「ノーマライゼーション」、八月号「国際大会」、九月号「ライオンズクラブの明日を考える」とする。

③は国際本部PR部の要請により『ライオン誌』日本語版の経営状況を示す資料を送付したことを報告。

複合地区会則委員長連絡会議

第五回会則委員長連絡会議は五月二十七日、東京・日本橋の日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①デトロイト／ウィンザー国際大会における国際会則改正案、②ソウル春季国際理事会決議の確認、③『ライオンズ必携』第四十四版の改訂、④次年度への申し送り事項について協議した。

複合地区ガバナー協議会議長連絡会議

第七回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議は六月一日、東京・日本橋の日本ライオンズ連絡事務所で開催され、I①インパクト・プログラムについて、II①委員会、②複合地区委員長連絡会議報告、②デトロイト／ウィンザー国際大会での国際会則及び付則改正案、③次年度への申し送り事項、④その他について協議した。

I①は二〇〇三年度でインパクト・プログラムは終了。

現・次期協議会議長引き継ぎ会議

現・次期協議会議長引き継ぎ会議は六月一日、東京・日本橋の油脂工業会館九階会議室で開催され、①議長連絡会議世話人あいさつ、②次年度への申し送り事項について協議した。

次期協議会議長連絡会議

次期協議会議長連絡会議は六月一日、東京・日本橋の日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①世話人及び副世話人の互選、②次年度LCIFセミナー、③議長連絡会議開催予定、④国際理事の議長連絡会議への出席、⑤その他について協議した。

①は世話人に野中杏一郎334複合地区次期議長、副世話人に鬼木雅治333複合地区次期議長と山浦晟暉330複合地区次期議長を互選した。

②は八月下旬に、青森、東京、岡山、熊本で開催することとし、日程の調整を行った。

ライオン誌日本語版委員会

第十二回ライオン誌日本語版委員会は六月二十三日、東京・築地のライオン誌日本語版事務所で開催され、①七月号（六月二十日発行／十三万二千部）出来、②八月号以降台割と主要記事予定、③二〇〇三-〇四年度年次報告（案）、④二〇〇四-〇五年度予算（案）、⑤ベスト・エッセー賞及びアクティビティ写真賞の選考と発表、⑥ライオンズ・スクール初級編『ライオンズクラブ入門』刊行、⑦二〇〇四-〇五年度第一回委員会について協議した。

■国際理事
亀井　良次
（大阪府・岸和田中央）

心を一つにして 日本ライオンズの力を発揮しよう

アメリカ・ミシガン州デトロイトとカナダ・オンタリオ州ウィンザーで開催された第八十七回国際大会が終了し、私の国際理事としての任期も満了となりました。なんとかこの大役を務めることが出来たのも、ひとえに日本ライオンズの皆さんのお力添えがあってこそと、この場をお借りして心から感謝申し上げます。

国際理事会では私は初年度に会員増強委員とLCIF執行委員を、二年目に大会委員会副委員長を務めさせて頂きました。会員増強についてはケイ・フクシマ元国際会長がMERL委員会とインパクト・チームを組織し、エクステンションへの挑戦を開始しました。翌年度のテーサップ・リー国際会長はこれを引き継ぎ、更に女性と戦後生まれの若い世代に焦点を当てた会員増強を進めました。もちろん日本ライオンズもこれにこたえて努力を重ね、一昨年度は前年度の三倍にもなる六十七クラブが結成され、昨年度は四十七クラブ結成されました。

また、女性会員はこの二年間で約二千人、一・四倍にまで増加しました。今年度は330・C地区に日本初の女性ガバナー、櫻井慧子も誕生。国際大会の最終日、世界中のガバナーと共に、エレクトのリボンをはずして、晴れて二〇〇四年度地区ガバナーとなられました。日本における女性会員招請の強力な追い風となるはずです。男性会員も共にこの風に乗って、日本ライオンズを盛り立てて頂きたいと思います。

さて、国際大会直前に開かれた国際理事会の決議の中からいくつかここでご報告したいと思います。

●LCIF執行委員会で、日本の334・D、335・D、336・A各地区から出ていた交付金申請と、337・B地区に四月に承認を受けていた交付金の為替差額調整分を承認。

●公式『ライオン誌』の補助金を六ドルにする（購読料四・七五ドルは据え置き。一・二五ドルを本部予算から補填）。

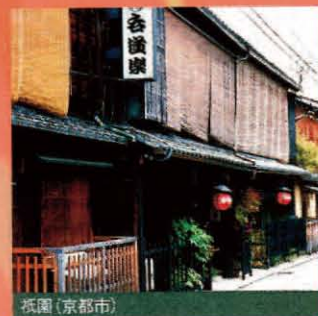
会員数十人未満のクラブの、合併、支部への移行、さもなくば解散という処遇については、地区及びクラブサービス委員会で話し合われ、結論は先送りとなりました。日本は五月末現在で二十八クラブがこれに該当しています。まず、会員増強に努めてください。

また、国際大会で行われた国際会則改正案の賛否投票により、年に一度は国際本部で開かれていた国際理事会会議が、会長が決めるあらゆる場所で開催出来るようになりました。世界における協会の知名度向上と、開催地のライオンズとの接触が重視されました。

私は国際理事として国際会議などに出席する中で、国際協会の一員として、またアジアのライオンズのリーダーとしての日本ライオンズへの期待がとても大きなものであることを実感致しました。この日本ライオンズを支える一つの要素は個々の会員のクオリティーの高さであり、そしてもう一つ重要なのがその組織力だと考えます。

日本には力ある会員が十三万人もいます。しかし、せっかくの力もバラバラの方向を向いていたのでは相殺されてしまいます。皆が心を一つにして力を合わせることで、二倍三倍の威力を発揮するのです。皆さん、日本ライオンズという一つの集合体となってください。そしてその力を存分に生かしきって頂ければと存じます。

最後に、私が国際理事会アポインティー及び国際理事を務めるに当たり、皆さんから頂きました多くのご支援、ご協力に対し、改めてお礼を述べさせて頂きます。二年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

万博記念公園（大阪府吹田市）

まるごと335複合地区

潮岬（和歌山県串本町）

ROAR ローア

長浜城（滋賀県長浜市）

祇園（京都市）

姫路城（兵庫県姫路市）

五十周年を迎えた京都ライオンズクラブから京都へ、伝統と新しい時代の息吹きを奏でるテーマ曲の贈り物。

京都ライオンズクラブ

■取材／編集部

京都ライオンズクラブ（藪内紹智〇三年度会長／101人）は、東京、横浜、神戸、大阪、松山に続き、日本で六番目のライオンズクラブとして一九五三年に結成され、二〇〇三年度で五十周年を迎えた。これを記念して「二十一世紀の京都のために」をテーマに、京都の現在、過去、未来の三つの視点で記念事業を企画。その一つが、現在の京都にふさわしいテーマ曲のプレゼントだ。

古都の桜が、もう間もなく満開を迎えようという三月三十日夜。平安神宮にほど近い京都会館第一ホールには、満員の観客千八百人の拍手がいつまでも鳴り響いていた。

この夜、雅楽師の東儀秀樹氏の篳篥（ひちりき）と京都市交響楽団の共演で初演された「京都の韻（ひびき）」は、チャーター・ナイト五十周年を迎えた京都ライオンズクラブが東儀氏に作曲を依頼し、京都市民にプレゼントした京都のテーマ曲。たおやかな雅楽の調べと現代的な音色の融合は、今日の京都の姿にそのまま重なり合う。

節目の年を迎え、クラブ会長を務めたのは茶道藪内流家元の藪内、そしてチャーター・ナイト五十周年実行委員長を務めたのは茶道表千家家元の千宗左。京都の文化、芸術分野を代表する顔ぶれが揃う京都ライオンズクラブだけに、記念事業も文化の薫り高いアクティビティとなった。

京都ライオンズクラブは日本で六番目のクラブとして一九五三年十月に結成された。その半世紀にわたる歴史の中では、東洋・東南アジア地域から初めて国際会長に選出された故村上薫を国際舞台へと送り出したという大きな功績がある。

記念すべき五十周年を前に実行委員会は、二年以上前から準備を進めてきた。「地区で最初に五十周年を迎えるクラブとして、他クラブの指針になるような事業にしたかった」と、記念事業部会長を務めた畑正高。「二十一世紀の京都のために」をテーマに、現在と過去、そして未来を見据えた三つの記念事業が企画された。その中で、現在の「国際観光都市・京都のために」をキーワードにしたのが、テーマ曲のプレゼントだ。

京都では来年、京都御苑内に迎賓館が完成して世界のVIPを迎えることになる。今の京都の姿を表現した楽曲で海外からの賓客をもてなし、京都のイメージを世界に発信したい。それと同時に、市民に親しまれ、誇りとされるような楽曲を作ろうという意図から企画された。

京都は伝統の残る町であると同時に、常に新しいものを生み出す町でもある。そんな京都のテーマ曲には、雅楽の伝統を受け継ぎながら幅広いジャンルで創作活動に取り組む東儀氏がふさわしいと、作曲を依頼した。

完成した「京都の韻」は、香、花、水、風、空を表現したパートからなる協奏曲風の楽曲。昨年末にCD二千枚が制作され、今年一月二十三日に開かれたチャーター・ナイト五十周年記念式典で、東儀氏が演奏を披露した。市民へのお披露目となった三月の記念コンサートでは、世界を舞

台に活躍する指揮者の小松長生氏が指揮を振るい、「長く残る曲」と高く評価している。このコンサートには楽曲を広く市民に知ってもらおうと、京都のさまざまな分野の著名人や音楽教師らを招待した。

また制作したCDは、京都府、京都市のほか、学校図書に入れてもらうように教育委員会に寄贈。広くブラスバンドや交響楽団で演奏されるように、楽譜も配布した。曲の制作に止まらず、市民の間に定着するように大切に育てていこうと考えている。

今回の五十周年記念事業の費用には、二十年前、三十周年を記念して設立された公益信託「京都ライオンズクラブ地域社会奉仕活動助成基金」の一部が充てられた。この公益信託は毎年、助成事業を公募して地域で専門的な活動を行うNPOを支援している。二千万円でスタートした基金は六千五百万円まで積み上げられており、三つの記念事業のために二千万円を取り崩した。

今年1月23日に開催された50周年記念式典

三事業のうち二つ目は、過去すなわち「歴史文化都市・京都のために」をキーワードにした祇園祭・長刀鉾を飾る見送幕の復元制作の支援。長刀鉾は祇園祭の山鉾巡行の先頭を行く鉾で、その見送り幕は祭の象徴的な存在。一八三七年に新調されたもので、長い年月を経て損傷が著しい。そのため、(財)長刀鉾保存会が復元新調を行うことになり、京都ライオンズクラブが支援を決めた。

そしてもう一つが、未来の「自然環境都市・京都のために」をキーワードにした、NPO「きょうとグリーンファンド」への支援。同NPOは自然エネルギーの普及を目指し、幼稚園などにソーラーパネルを設置して太陽光発電に取り組み、子どもたちのエネルギーや環境問題への関心を高める教育にも力を注いでいる。いずれの場合も、京都ライオンズクラブの支援が呼び水になり、国の援助が受けられることになったという。

徹底的に「京都のため」を考え抜いた事業で、京都ライオンズクラブは次の半世紀に向け新たな一歩を踏み出した。

■京都ライオンズクラブから読者プレゼントがあります（80ページ）。

「ウィ・サーブ」の精神をより多くの女性に、そして次世代の若者たちに伝えたい。

岡田みどり（二〇〇三年度335・Ｂ地区女性ＭＥＲＬ委員／大阪府・高槻やまぶきライオンズクラブ）
■取材／編集部

テーサップ・リー国際会長は〇三年度、女性と若者を特に有望な会員候補として挙げ、「未来の扉を開く」ためにはその会員増強が不可欠であると強調した。日本は女性会員の割合が世界平均を下回っているが、335・Ｂ地区では順調な伸びを見せている。女性ＭＥＲＬ委員を務め、昨年は平均年齢三十六・七歳という若手クラブの結成に尽力したライオン岡田に聞く。

――世界の会員数に占める女性会員の割合は約一五パーセントですが、今年一月末の本誌集計によると日本国内では五パーセントでした。その中で335－Ｂ地区だけが一〇パーセントを上回っています。確か以前は女性会員が少ない地区だったと記憶していますが。

「地区内に初めて女性クラブが結成されたのが五年前のことで、九九年に八クラブが相次いで結成されました。女性会員の入会は、この時が初めてだったと思います。私もこの年に結成された高槻やまぶきライオンズクラブのチャーター・メンバーで、初代会長を務めました」

――日本で最初に女性クラブが結成されたのが八八年のことですから、335－Ｂ地区はかなり後発だったことになりますね。

「その当時、ライオンズクラブでは既に八七年から女性の入会が認められていたと知って、驚いたのを覚えています。十年以上もたっているのに、まだそんなに女性が少ないのか、と」

――〇二年度には地区内で結成された十二クラブのうち九クラブが女性クラブで、今年度（〇三年度）も二つの女性クラブが結成されています。ここ二年ほどで急に増えた理由は。

「二年前、ケイ・Ｋ・フクシマ国際会長（当時）がエクステンションを推進されたのを受けて、地区内では重松良次地区ガバナー（当時）がゾーン単位で協力して新クラブ結成に取り組む方針を立てられました。経済、社会的な情勢からするとエクステンションにはたいへん困難な状況でしたが、だからこそ女性に目が向けられることになったのだと思います。女性の社会進出は目覚ましいものがありますし、何か人のためになることをしたいと考えている女性は大勢います。きっかけさえあれば、『私にも出来る』という声がまだまだ出てくるはずです」

――地区に女性ＭＥＲＬ委員会が設けられたのも、〇二年度でしたね。

「はい。今年度は宮岡一夫地区会員委員長が地区女性ＭＥＲＬ委員長を兼ね、その下で八人の委員が活動しています。昨年十一月には、女性ＭＥＲＬ委員会の主催で『女性会員未来への集い』を開催して、地区内から三百人を超える女性会員が集まりました。女性会員の増強を提唱されたテーサップ・リー国際会長も期待を込めたメッセージを寄せてくださいました」

――岡田さんの所属する高槻やまぶきライオンズクラブは昨年十一月、新クラブを結成させていますね。

「高槻オリーブ・ライオンズ

(クラブ)です。現在は下は二十三歳から上は五十七歳まで、男性十五人、女性十人の二十五人の会員で活動しています」

——初めからそうした会員構成を目指してクラブ作りを進められたのですか。

「時代のニーズに合ったクラブを作れたらと考えていた時に、ある若者から『子どもたちに美しい地球を残したい。でも、ボランティアの仕方が分からない』という思いを聞く機会がありました。若い人たちも、何か人の役に立てる人間になりたいという志を持っています。そうした若者たちが集まって、同じ志を持つ友人に声をかけ合った結果、今のクラブの形になりました。性別については特に区別して考えたことはなかったんです。彼らに聞いてみると、男性だから、女性だから、といった垣根は全くないですね。

実は高槻やまぶきライオンズ(クラブ)も、女性クラブとしてスタートしましたが、結成二年目には男性会員を迎えているんです。私は介護老人保健施設の施設長として高齢者福祉に携り、多くの死に向き合ってきましたが、死ぬ時はだれも皆、同じ人間です。女性だ、男性だと言う前に、まず人間としてのつながりがある。これが自然な姿だと考えています。実を言うと、委員会名に『女性』が付くことに違和感を感じるところもあるんです。いつまでも特別扱いしているのはおかしいのではないか、と」

わかくさ障害者作業所のバザーにボランティアとして協力する高槻オリーブ・ライオンズ(クラブ)のメンバーたち

昨年11月8日開催された女性会員未来への集い

——テーサップ・リー国際会長は、若い世代の会員増強も力説されましたが、高槻オリーブ・ライオンズ(クラブ)はこの方針に沿ったエクステンションになりましたね。

「私たちはライオンズの『ウィ・サーブ』の精神を、新しい発想、ビジョンを持つ次の世代に託していかなくてはならない。日本のライオンズではこれまで、それがうまく出来ていなかったように思います」

——確かに日本のライオンズクラブでは高齢化が進み、若い会員の増強に苦慮しているクラブは多いですね。

「仕事や子育てに忙しく、経済的にあまり余裕がない若い世代でも、奉仕する心は持っています。高槻オリーブ・ライオンズ(クラブ)の場合は、例会は夜八時からスタートして食事はなし。運営費も極力抑えています。若い人たちが、いかに参加しやすいクラブにするか、考えることが必要です。既存のクラブには若者たちや女性たちによる新しいクラブに手を差し伸べ、温かく見守り育てていくことが求められていると思います。そして大切なことは、人の心に訴えかけるようなアクティビティをすることで、若い人たちに魅力を感じてもらうことだと信じています」

未来へつなぐクリーンアップ大作戦

335-B地区

暦の上では春と言えども、真冬の寒さがぶり返した二〇〇四年三月七日。勝部慶次335・B地区ガバナーを先頭に、地区内百九十三クラブ挙げての環境保全活動、「きれいな水辺で未来につなぐクリーンアップ大作戦」が決行された。大阪府、和歌山県内のメンバー約三千人、一般市民約一万人がそれぞれの地域で一斉に海、川、湖沼などの水辺の清掃奉仕を繰り広げた。

大阪経済圏の大都会を流れる河川はコンクリートで護岸整備が成され、一般市民はなかなか近寄る機会はない。一方、和歌山県の河川は日本一の雨量を誇る紀伊山地を水源に、水量豊かで水辺もきれいな所が多い。同一地区内でも地域ごとにずいぶん環境が異なるが、流れているのは上流から下流に向けて移動する同じ水である。各場所でバラバラに清掃するよりも、同時に出来るだけ多くの場所で水辺をきれいにした方が、水質浄化には効率的だ。

また、協力することの重要性や、地理的には離れていても互いの生活環境について無関係ではないということを実感することにもつながるだろう。

皆でクリーンアップした水辺を通り、川は未来へ注ぐ。この有意義な活動を有力三紙が写真入りで大きく採り上げた。

情報／谷崎博志（地区環境保全委員長）

ミュージカルを楽しんで盲導犬育成支援

兵庫県・三木東

二〇〇三年十月五日、三木東ライオンズクラブは盲導犬育成チャリティー・ミュージカル「シンデレラ」を市文化会館で開催した。午前と午後二回の公演で計千百人が来場、ミュージカルを楽しんだ。

入場は無料だが、盲導犬育成資金の募金箱を設けたところ三十七万余円の募金があった。この善意の浄財とクラブからの拠出を合わせ、約百十万円を兵庫県盲導犬協会及び市内の盲導犬第一号「ジェームス」の支援などに寄付した。

子どもから大人まで楽しめ

Close up クローズアップ

近江牛の歴史を受け継ぐ名店の味

森嶋治雄（滋賀県・竜王）

近江牛の名店として知られるレストラン毛利志満（もりしま）。そのおいしさの理由をたずねると、社長のライオン森嶋治雄の答えは「牛にストレスがないこと」。

伸びやかな近江の自然の中で、牛たちがのんびりと草をはむ。竜王町の森嶋牧場では、百頭あまりが大切に育てられている。穏やかな気候や風土、水など環境のよさはもちろん、何よりも愛情を込めて、じっくりと手塩にかけて育てることに尽きると話す。

近江牛の歴史は百年あまり前に始まる。明治中期、東京・浅草に牛鍋専門店を開いて人気を集めたのが森嶋家ゆかりの人物で、当時は近江から東京まで牛を追い運んだそうだ。以来、より上質の肉を追求して改良が重ねられ、近江牛の名声は高まっていった。

ライオン森嶋は獣医師の資格を得た後、大手食肉会社で牛肉卸しを担当。この時に自家で育てた牛肉の品質の高さを再認識したという。その後故郷に戻ると、近江八幡市に自家牧場の牛肉だけを扱うレストランを開店させた。おいしい肉を家族連れで気軽に食べてもらえるように。「髪の毛ほどの利益にも志を満たす」という意味の店名「毛利志満」には、ライオン森嶋のそんな思いが込められている。

取材／編集部

るステージを繰り広げた劇団「夢」サーカスは、ニューヨークのデイタンバレエ団のプリマだった浮島智子さんの主催で、阪神・淡路大震災で傷ついた神戸の街に心の復興を、という想いの下に一九九八年に誕生。月謝無料のダンス・レッスンや、兵庫県下の小中学校や老人ホームでのボランティア公演など、独自の活動を展開している。

三木東ライオンズクラブによる盲導犬支援公演は、二〇〇二年の「ラテン&ジャズの夕べ」に次いで二回目。いずれも市民に音楽や舞台を楽しんでもらって、「ちょっとイイ気分になったら、チョッピリ支援金を」という肩肘張らない呼び込み。そうして息長く支援を続けていくつもりだ。

ミュージカル会場には盲導犬のジェームスもパートナーの浦野龍也さんと共に応援に駆け付け、舞台上であいさつ。需要に対しまだまだ頭数の足りない盲導犬。この日、ジェームスは盲導犬支援PRというお仕事をきっちりこなした。

情報／武川正英（会長）

Close up
クローズアップ

カレッジ・フォークの雄！ダボーズ

岩崎隆一郎（兵庫県・姫路鷺城）

カレッジ・フォークがブームとなっていた一九六八年三月、関西学院大学の学生五人によりダボーズが結成された。その二カ月後には、関西の超人気深夜放送「ヤングタウン（ヤンタン）」から火がつきダボーズ人気が沸騰。更にその年十一月、第二回全日本ヤマハ・ライト・ミュージック・コンテストで優勝、名実共に日本一のフォーク・グループの折り紙を頂戴した。

ダボーズは六九年、キング・レコードからデビュー、シングル三枚、LP一枚をリリースした。中には桂三枝と共演したマカロニウエスタン調フォーク「荒野のアンジェロ」といった変わり種もある。

そのダボーズのリーダーで、リード・ボーカルを務めるのが、姫路駅前にあるホテルサンガーデン姫路の販売促進支配人岩崎。ダボーズは七〇年、卒業と同時に活動を休止したが、十年後にサンケイホールでリサイタルを開き、活動再開。以後は月一回ペースで練習をし、時々、ライブやコンサートも開いている。

また、最近は谷村新司、堀内孝雄ら、かつてのカレッジ・フォークの仲間たち「神戸ポート・ジュビリー」と共に、震災復興チャリティー・コンサートを開催している。

取材／編集部

環境を考えるリサイクルバザー大盛況

京都山階

「地域の環境保全と限りある資源を大切にしよう」を合言葉に始められた「環境を考えるリサイクルバザー」。二〇〇三年九月二十八日に開かれた記念すべき第十回のバザーは、たった一日で入場者八千人を超える大盛況だった。

会場は、冬場はスケート場になるドーム。ライオンズ・メンバーから集められた品々のバザーや、百六十店舗のフリー・マーケットには格安商品を探し求める人が行き交い、会員家族らの手製の品やうどん、カレー、焼きそばなどの模擬店も長蛇の列。第十回を記念しての餅つき大会も会場を盛り上げた。

ドームの外も大にぎわい。空き缶の買い取り回収には地域の学校や自治会、女性会などからアルミ缶三十四万個、スチール缶三万個が持ち込まれ、山のように積まれた空き缶は京都清掃協同組合成年部の協力で手際よく処理場へ。また献血委員会による献血の呼び掛けも行われ、献血車はいつも満員。

「この事業は地域の方々に育てて頂いた。既にライオンズだけのものではない」と久世一壽会長は語る。市民皆で環境保全という奉仕を楽しむ。それこそまさにライオンズの目指す地域奉仕ではないか。

「水と緑に恵まれたこの地球を次の世代へ伝えたい」この大きな目標に向けて、会員十

八人のクラブが八千人の市民と手を携えた。

情報／久世一壽（会長）

不景気を吹っ飛ばせ！ 長田いきいき企業フェア

兵庫県・神戸長田

神戸長田ライオンズクラブは二〇〇三年九月七日、結成二十五周年記念事業として「二〇〇三長田いきいき企業フェア」を開催。「長田の元気は企業にあり」を合言葉に、地元企業二十六社の参加を得て、地域活性化に向けての意気込みを再確認した。

一九九五年の阪神大震災で大きな被害を被った神戸市長田区。近年の経済不況のあおりも受けて、地元企業の勢いは沈下気味だった。が、長田にはユニークな企業、日本屈指の技術を誇る企業がたくさんある。町全体に活気を取り戻すためにも、各企業をPRし業績を伸ばしてもらおう！

フェアでは、そばめしに続く長田名物を狙う「ぼっかけ（牛スジの煮込み）」を使った

SERVICE ACTIVITIES

兵庫県・明石（335-A）
3月28日のバザー・物品販売「明石ライオンズ感謝デー」にて。本マグロの解体ショーと即売会は長蛇の列が出来るほどの大人気。

大阪梅田（335-B）
1月30日〜2月4日、「第19回肢体不自由児者の作品展」を開催、入場者は500人を超えた。絵画、書、陶芸など、185点の生き生きとした力強い作品に多くの感想が寄せられた。

兵庫県・三木（335-D）
3月20日、「三木市手をつなぐ育成会中卒者激励会」に協力金を贈り、アトラクションとしてラジコン・ショーを開催した。

ぽっかけカレー、ぽっかけコロッケを始め、簡易垂直リフトや介護関係の靴及び用品、長田のベンチャー・クラブの取り組みなど盛りだくさんの内容の出展、発表があり、入場者は二千人を超えた。

この企業フェアは商工会議所、新長田活性化研究会の共催を得て、来年以降も継続開催される。企業へのアンケートでは、「来年から有料になったとしても参加したい」という回答もあった。

今後ライオンズと市、区役所、商工会議所との協力、また長田区企業間のネットワークを一層強化し、活動を継続することで結果につなげて行きたいと、神戸長田ライオンズクラブは兜の緒を締め直した。

情報／天竹功一（会長）

大阪府・忠岡（335-B）
2月24日、結成40周年を記念して桜の木100本を植樹した。

兵庫県・伊丹伊名野（335-A）
2月2日、伊丹市立17幼稚園へパンジーの花3,000鉢をプレゼント。花のように明るく素直に育ってほしいと願いを込めて、園児一人ひとりに手渡した。

兵庫県・伊丹（335-A）
4月21日、FMいたみのラジオ番組で市民に向けて骨髄バンクのPR。24日に行う献血運動と骨髄バンク・ドナー登録への参加を呼び掛けた。

ふるさと探訪
兵庫県 氷上
■取材／編集部
降る雨を瀬戸内と日本海に分ける
丹波・水(み)分かれの町

水分かれの町

デカンショ節のせいか、丹波と言うと山奥のイメージがある。が、初めて行った氷上町には、そんな感じは全くなかった。三方が山に囲まれてはいるが、みな背の低い山ばかり。いわゆる盆地で、川の流れもゆっくりだ。

古代の丹波は但馬、丹後も含む、広大な地域を表していた。それが奈良時代に分割され、丹波は桑田・船井・何鹿（いかるが）・天田・氷上・多紀の六郡になった。その後、明治時代の廃藩置県で、氷上と多紀は兵庫県に、残り四郡は京都府に編入された。

氷上郡の中心である氷上町は、日本一低い中央分水界の町として知られる。中央分水界は日本列島の太平洋側と日本海側の境界で、北から南まで、まるで背骨のように走っている。その分水界が、氷上町では海抜百㍍前後で形成されている。しかも氷上町には真北と真南を結ぶ「子午線」が通っており、雨が降った時、ここに建つ家では、北側の屋根の雨水は日本海へ、南側の屋根の雨水は瀬戸内海へ注ぐことになる。何だか楽しくなってくるではないか。

味わい深い稲畑土人形

日本は昔から全国各地で土人形が作られ栄えた。それらの源流と言われるのが、京都の伏見人形である。江戸後期に全盛を極め、文化・文政のころ（一八〇四年〜一八二九年）には、伏見稲荷の参詣路である伏見街道沿いに、五十戸もの窯元があった。

この伏見人形の影響を受け誕生した人形の一つに、江戸末期、沼貫村（現氷上町）稲畑の赤井若太郎忠常がつくり始めた稲畑人形がある。若太郎は稲畑の庄屋である赤井家の長男として生まれ、元服の祝いで京都見物へ出掛けた折、伏見人形と出合った。

稲畑で土人形をつくり、地場産業に出来ないかと考えた若太郎は、父の許しを得て、伏見から人形勝という職人を呼び寄せた。そして自らも寝食を忘れて型づくりに励み、今日、稲畑人形の代表作と言われる「天神」を始めとした型を完成させた。そして近隣の農家を指導しながら、人形制作を始めたのである。

当初は七軒が人形づくりにかかわり、農家の副業として定着するかに見えた。が、日清・日露戦争により、赤井家を除く家はみな一代限りで人形制作をやめてしまった。そんな中にあって、赤井家では初代が九十二歳まで人形の目を描き、三世代が一緒に人形を制作していた時期もあった。その後、一九五八年に三

❶弘法大師開基の岩瀧寺（兵庫県観光百選）。奥には大師が滝壺に独鈷を投げ込み大蛇を退治したという伝説が残る独鈷の滝（ひょうご風景百選）がある
❷❸稲畑人形の伝統を継ぐ赤井君江さん（TEL〇七九五・八二・一六七八七）とその作品。舞姫やまんじゅうくいは君江さんのオリジナル。着物や帯の色、柄など一つひとつ違うのも手作りならではだ

❶氷上町つたの会（TEL〇七九五‐八二‐四八三九）は、平均年齢六十五歳の元気印おばあちゃん集団（ご本人たちの言葉です。念のため）。地元の農産物を材料に人工調味料や保存料、着色料などを一切使わず、安心で安全な食品づくりに励んでいる

❷❸つたの会の加工品の中で、特に人気なのが草餅だ。霧深い丹波産のヨモギは色・香りとも良く、あんは地元特産の丹波大納言小豆を炊き込んでいる

❹つたの会オリジナルの漬物各種

❺おかき、ジャム、梅干しなどに加え、今年からは手作り味噌が商品に加わる

代目の他界と共に一時途絶えたが、四年後に三代目の妻みさ代さんが復活させ、今はその娘君江さんが継いでいる。

君江さんの代になってからは「天神」のほか、土人形の源流伏見人形を代表する「まんじゅうくい」や、「舞姫」など、オリジナルの型づくりにも意欲的に取り組んでいる。しかも君江さんは、着物の柄や色など、一つひとつ異なった彩色をしている。

取材を終え、機材をしまっていると、君江さんが、「まんじゅうくいを一つ選んでください。気に入った顔の子を差し上げますから」と言う。よく見ると、表情が微妙に違う。長く小学校で教鞭をとっていた君江さんは、かつての教え子の顔を思い浮かべながら、人形一体一体に愛情を込めて描いているようだ。

元気印おばあちゃん集団

氷上を始めとする丹波地方には、うまいものが多い。丹波栗に丹波黒豆、丹波大納言小豆、丹波山芋……。すべて「丹波」ブランドが付く。

そんな、うまいものだらけの丹波の食材を使い、安全で安心な食品づくりに努めているグループがある。「平均年齢六十五歳の元気印おばあちゃん集団『つたの会』」である。

一九九三年に三つの生活改善グループが一緒になって誕生した。九六年には氷上町立地方卸売市場の一角を町から借り受け、独自の加工所を設けた。この時、自分たちに責任を持たせないといけない、と仲良しグループからの脱却を目指し、会員から出資金を募った。結果的には会員二十

❶氷上町・成松地区は鎌倉時代から加古川の河港として栄え、丹波地方の物資集散の中心地であった。江戸時代には月に六日の市がたって大いに賑わい、今もその面影を伝える町並みが残っている。その一画にあるのが、栗を使った甲賀山もなかで知られる谷甲賀堂（TEL〇七九五-八二-一一六八）。写真は先代の谷利浩（氷上ライオンズクラブ）と、長男で現店主の和浩さん
❷❸丹波特産の栗を細かく刻んであんと共に炊き込み、更に食感を良くするため、最後にもう一度栗を入れる。一口サイズの上品な最中で、第十八回全国菓子大博覧会で有功金賞を受賞している。最近では和浩さんが始めた丹波栗や、丹波の黒豆を使ったマドレーヌが人気を呼んでいる

人で八十万円が集まり、本格的に事業をスタート。

佃煮、漬物づくりを手始めに、徐々に品数を増やしてきた。また町内でイベントがあれば必ず出店、販路の開拓にも努めた。こうした努力の甲斐あって、初年度は約六百七十万円だった売り上げが、今では二倍にまで伸びている。

更には野菜をつくるグループ「とれとれ市」ともタイアップし、ネットワークも広がった。今年十月には、氷上さくら公園の中に、つたの会と、とれとれ市の直売所が出来る。さくら公園は、瀬戸内海から日本海へ、兵庫県を南北に桜でつなぐ「ふるさと桜づつみ回廊」のモデル地区になっており、今後の展開が大いに期待されるところだ。

丹波のライオンズクラブ

六月十六日、氷上ライオンズクラブの二〇〇三-〇四年度最終例会が開かれた。テーブルには、つたの会自慢の「氷の川弁当」が並べられていた。

森口嘉克会長が、せっかく地元にこういうグループがあるのだから、ライオンズでも応援していこう、と例会の食事を注文したのだ。旬の食材や手づくりにこだわった弁当で、会員たちは一様に舌鼓を打っていたという。

氷上ライオンズクラブは一九六五年三月に、柏原ライオンズクラブのスポンサーで結成され、来年、丸四十年を迎える。結成翌年の六六年には山南ライオンズクラブ、更に六七年には青垣ライオンズクラブをエクステンションするなど、非常に活動的なクラブである。

氷上ライオンズクラブが所属する335-A地区第8リジョン第1ゾーンは柏原、氷上、市島、山南、青垣、春日の六クラブで構成されている。ちょうど氷上郡内六町と同じで、この十一月一日からはこの六町が合併し、新たに丹波市となることが決まっている。合併により、六クラブの絆が更に深まることだろう。（鈴）

■氷上ライオンズクラブから読者プレゼントがあります（80ページ）。

イラストマップ／小川和政

「だんじり祭り」大阪府岸和田市

三百年の歴史ある祭りにけんか祭りの異名
勇壮絢爛・優雅典麗の二つの顔に特色

■文：篠崎淳之介／切画：風祭竜二

九月近くなると、和泉地方の中心部岸和田周辺では、だんじり祭りへの期待が高まって、男たちがそわそわし出す、という。

「地車」と書いて「だんじり」と読ませる。祭りに担がれ、曳かれる屋台のことで、「山車」と書いて「だし」と読むのと同じで、京都・八坂神社の祇園山鉾が起源とされる。更に古くは、古代の大嘗祭に由来する移動式の神座であった、という。

神の座は、祭礼の場では、やがて神輿に移り、祭礼で曳かれる屋台が、独特の発達をしていき、祇園山鉾につながる全国の「地車」「山車」がさまざまな形に育ち、岸和田でも特色ある「地車」となった。

岸和田は、『日本書紀』にも登場する歴史の古い土地柄で、「岸和田」の地名は、中世南北朝時代に始まる。楠木正成の一族である和田氏が、今の堺市和田を本拠地としていたのに対し、「岸」を根拠地とした和田氏の一族を「岸の和田」と呼んだのが地名になったという。

この岸和田の中心地が、岸城町。町の中央部に岸和田城跡があり、官庁、ビジネス、文教の中心地になっている。その旧城址の一角に鎮座するのが、岸城神社で、言い伝えでは、南北朝時代に京都・八坂神社からスサノオノミコトを祭神として迎えた神社だという。

だんじり祭りは、この岸城神社の秋の祭礼で、起源ははっきりしていない。一説では江戸時代の元禄十六年（一七〇三年）に、時の岸和田城主が、五穀豊穣を祈願して、城内に京都伏見稲荷を勧請した際に、城下の者が開放された城内に「地車」を引き込んで祝ったのが始まりという。赤穂浪士の討ち入り事件の次の年に当たる。

もっとも、「地車」の歴史が明らかに記録されているのはやや後のことで、延享二年（一七四五年）、徳川家重が九代将軍になった年とも言われる。

祭は九月十四日と十五日に行われ、勇壮華麗な一面と優雅典麗な面の二面を見せる。

「地車」は、各町内ごとに十四台。最も古い「地車」は、あの日光東照宮の陽明門を思わせる華麗なもので、数々の木彫装飾に彩られている。これを、揃いのはんてん、ねじり鉢巻きの若衆たちが曳く。

宵宮の十四日、重さ四トンと言われる「地車」は、朝早くから各町内を引き回される。「地車」の上では、大工方と呼ばれる男が囃し踊る。途中、他の町内の「地車」と激しく競ってもみ合い、昔はぶっつけ合ってけんかになり、けが人が出たこともあった、という。けんか祭りの異名はそこから生まれた。

夜、昼の勇壮さとはうって変わり、「地車」はおよそ二百個の提灯を飾り「灯入れ曳行」に入る。母に手をひかれた小さな子も、綱を握って祭に加わり、優美さが際立つ。動から静への転換が見事だ。

静から再び動へ。十五日、だんじり祭り最大の見せ場がやって来る。

全速力で曳かれて来た「地車」が勢いよく九十度方向転換する「遣りまわし」が繰り返されるのだ。城下町の町並みを勢いよく駆け抜けるのだから、勢い余って転倒しかねない。舵取りが、よほどしっかりしていないと危ない。めりはりの際立ったところに、祭に込めた人々の深い思いがうかがわれる。

動から再び静へ、祭が終わると、岸和田、伝統の町に秋が間近だ。

●祭りメモ

宵宮は九月十四日午前六時から午後十時、本宮は十五日午前九時から午後十時まで。問い合わせ先：岸和田市商工観光課（TEL〇七二四‐二三‐二一二一）

●アクセス

関西国際空港から車で十五分の距離にあり、大阪都心部からはＪＲ阪和線、南海電鉄本線、阪和自動車道が通じている。

●周辺クラブ

岸和田市には一九六〇年結成の岸和田ライオンズクラブを始め、今年結成四十周年を迎えた岸和田中央（六四年結成）、同じく三十周年の岸和田千亀里（七四年結成）、シニア・ライオンズクラブの岸和田シニア（九八年結成）、女性会員だけで構成される岸和田コスモス（二〇〇三年結成）の五クラブがある。二〇〇二年の大阪国際大会でホスト委員会委員長を務めた亀井良次前国際理事と、今年度の寺田茂治335‐B地区ガバナーは、いずれも岸和田中央ライオンズクラブの出身。

みなさんの温かい心が生んだクッキーです。

神戸母子寮は1995年1月17日の阪神大震災により全壊し、母子、職員5人の命が奪われました。

再建のめどが立たず途方に暮れている時、全国のライオンズクラブの皆さまが、支援の手を差し伸べてくださり、

97年4月「ライオンズファミリーホーム」として生まれ変わることが出来ました。

また、母親たちが安心して働ける場として、ライオンズ福祉作業所「クッキー工房マミー」も、96年9月に完成し、

現在、障害者の方たちも交え、皆さまの温かいお気持ちにこたえるべく、おいしいクッキーづくりに励んでいます。

ライオンズクラブの各種行事の記念品、献血アクティビティの粗品等に、ぜひ私たちのクッキーをご利用ください。

ライオンズ福祉作業所
〒652-0041　神戸市兵庫区湊川町10-24-15
TEL.078-576-6625　FAX.078-576-6614

題字／白幡　清（千葉県・大栄）

（応募要領→72ページ）

●獅子吼（ししく）①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力にたとえていう語。②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）

播磨の黒田武士　如水とライオンズ

新福　杉夫（兵庫県・姫路鷺城）

昨年三月二十日の早朝、思い立って一人、車で京都・大徳寺へ向かいました。その日は、黒田官兵衛（如水）公が亡くなられて四百年目の命日でした。四百年前のその日、京都・伏見の黒田邸で虎の刻（朝八時）、西方浄土に向かい座って往生されたそうです。大徳寺龍光院に廟所があると聞き、何らかの法要が行われていないかと、現地へ向かいました。

ちょうど朝八時に龍光院に到着。ご住職らしき人が庭にいらしたので、行事予定を聞きましたが、特に何も予定していないという。ちなみに三百年の法要の記録はあるそうです。普段は廟所に入れないそうですが、事情を話すと廟所に入れてくれるというので、お参りさせて頂きました。

福岡で十月に如水公の大法要が計画されていると聞き、生誕地姫路でもぜひ官兵衛を偲びたいと、姫路鷺城ライオンズクラブ主催で「播磨の黒田武士フォーラム」を計画しました。九月十五日、姫路市民会館で開催したフォーラムには八百人もの人々が集まり、オリジナル紙芝居「黒田官兵衛物語」の披露、テーマソング「播磨の黒田武士」の歌と踊りの発表、本山一城先生の基調講演「黒田官兵衛と武蔵」、黒田美江子先生の司会で寺林峻、本山一城、藤金之助（福岡黒田ライオンズクラブ）、野中信二各先生によるパネル・ディスカッションが行われました。また、黒田武士ゆかりの地の写真展も市民会館展示室で同時開催しました。

その後、十月二十五、二十六日の両日に福岡からご案内を頂き、全国黒田都市サミットと、その翌日の崇福寺での四百年法要と直会に参加しました。「播磨の黒田武士」の歌と舞もご披露し、十五代黒田長久様、十六代長高様にもご覧頂きました。福岡には黒田家の縁で福岡黒田ライオンズクラブがあり、ちょうど姉妹クラブの岡山県・邑久ライオンズクラブとの合同例会が開催されていたため、私もゲストとして招かれました。

今年三月二十日には、黒田家の菩提寺である姫路市北平野台の心光寺で「没四百年黒田

官兵衛を偲ぶ会」を有志で執り行いました。官兵衛は四十二歳まで播磨を中心に活躍しました。心光寺には黒田三代重隆夫妻、職隆夫妻、官兵衛の位牌のある廟所があります。心光院とは官兵衛の母親の院号です。出席者も二十五人で、官兵衛配下の「黒田二十五騎」のご縁と思いました。

播磨の黒田武士フォーラムは、姫路鷺城ライオンズクラブが四十五周年記念事業として取り組んだものです。改めて歴史を振り返ってみると、ライオンズの活動理念と黒田家のそれには共通するものが多く見られます。

一つに、ライオンズの主要な奉仕活動である「視力保護」、つまり目の不自由な人々を助けることは、黒田家家伝の目薬の話と結びつきます。また、黒田家は姫路城三の丸ぼたん園のあたりに百軒長屋を作って養老救済という福祉事業を行い、その子弟たちを家臣として育てたと言われています。そして戦国の世に平和主義を貫いたこと、クリスチャンでもあり人道主義者であったことなど、彼こそライオンと呼ばれるにふさわしい人だと思います。

「播磨の黒田武士」と題したのは、福岡民謡として歌われている黒田節の主役である母里太兵衛を始め、官兵衛に付いて九州へ渡り活躍した二十五人の若者たちのほとんどが姫路周辺の生まれであること、つまり黒田武士とは播磨の武士であるということを皆さんに知って頂きたかったからです。そして、司馬遼太郎作『播磨灘物語』をNHK大河ドラマとして放映して頂くことを強く願っています。

話は変わりますが、我がクラブの鷺城(ろじょう)とは、姫路城の別名です。全国でもその地区で二番目に作られたクラブには城の別名を付けたクラブが多くあります。一昨年、大阪国際大会の時に全国の二十五の友好城クラブにご案内して「ライオンズの城クラブ」サミットを開催し、十二クラブで交流会を持ちました。歴史の交流も楽しいものです。

(ビデオ撮影業・52歳)

手紙

遠山　冨士夫(北海道・室蘭)

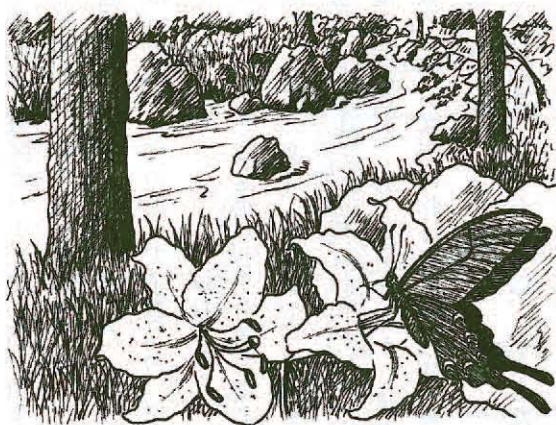
ライオン誌日本語版事務所のOさんから、久しぶりにお手紙をもらった。普段は電話で用を済ませているので、白い封筒は懐かしく、重かった。

「この人に聞く」シリーズの取材のため、北海道・平取(びらとり)の二風谷(にぶたに)へ同行したことがある。アイヌの女性奉仕者アシリ・レラさんを訪ねるためである。

レラさんはアイヌの子ども、和人の子どもの別なく、親から見放された子、不登校やいじめにあった子らを、自分のアイヌ語学校に集めて養育し、監護している。アイヌ語を教え、アイヌの伝統的な生活文化を教え、農耕に従事させている。既に五十人からの子どもを社会に送り出している。シャーマン(祭祀を主宰する人)としても、近隣の人々から尊敬され、国際的にも著名である。

対談は、アイヌ語学校で行われた。三時間にも及ぶ長丁場であったが、途中、一服休みに、少女が摘んでくれた「タラの芽」のてんぷらをご馳走になった。山菜の味覚の極みというべき味だった。Oさんと二人、顔を見合わせうなずきあった。

対談を終えて、いよいよアイヌ語学校を辞することになったが、前庭には袋が二つ置いてある。お土産にと摘んでくれた行者ニンニク(北海道南部では「アイヌネギ」と呼ぶ)だった。卵とじやおひたしにするとうまい。少年が一枚一枚土をほろって、ビニール袋に詰め替えてくれた。Oさんはそれとは別に、根のついたものを二、三本もらったらしい。その行者ニンニクを大事に抱えて、千歳空港

から羽田へ、そして自宅へと運び、早速、プランターに植え込んだのだろう。
翌春、芽を出し、大きな葉になった。ところが、翌年は芽が出ず落胆。その次の年もだめだった。「環境が違うのだから致し方ない」と諦めていたら、この春、あの行者ニンニクが芽を出したという。大きな葉を付けた。彼の喜びはたいへんなものだったろう。植物の生命力の強靱さに驚き、その喜びを伝えたいと、手紙を書くことになったようだ。

あれから四年の歳月が流れているのに、鮮やかに老編集長を蘇生させてくれた。レラさんの熱っぽい親子論、その基盤となっている宗教観、「祈り」の大切さ、アイヌ文化の滋味あふれる語り口が走馬燈のように浮かんでくる。

一通の手紙がこんなにも多くの余塵をもたらし、ご利益をくださるとは。

（元ライオン誌編集長・司法書士・72歳）

イラスト／小川和政

集い、輝け、未来を担う子どもたち

小林 勝（長野県・坂城）

信州・長野の東部に位置する「ものづくりのまち」坂城町は人口一万七千人、二十一世紀の知識と技術が集積した田園工業都市です。戦国時代には、上杉謙信と武田信玄が相まみえた「川中島の合戦」の発端となった葛尾城（信濃の武将、村上義清の居城）が坂城町の葛尾山頂にありました。山頂からは美しい千曲川の清流と坂城町が眼下に一望出来ます。江戸時代には北国街道の宿場町坂木宿として栄え、今も千本格子の家並みが昔の面影を残しています。

坂城ライオンズクラブは、現在会員四十人。心一つにして奉仕活動に専念しています。アクティビティの一つに「子どもフェスティバル・イン・びんぐし」があります。坂城ライオンズクラブと㈱坂城町振興公社が主催し、今年で第二回目を迎えました。子どもたちの健康と幸福を祈念して始めたイベントです。

五月二十三日、第二回子どもフェスティバル・イン・びんぐしは、びんぐし山麓のびんぐしの里公園で幕を開けました。開会式には松本東334・E地区ガバナーにご出席頂き、坂城ライオンズクラブがアカシアの木で作った「里山麓標柱」の除幕式を行いました。碑の標語には、坂城中学校の坂井宏子さんの「里山は心で思い 手で守る」が選ばれました。

ステージ上では地元の小、中学生による鼓笛隊や吹奏楽の演奏、創作劇やリズムダンスが披露されました。会場には町内有志による模擬店が出店し、親子連れで賑わいました。坂城ライオンズクラブは豚汁を無料で振る舞いました。

この日のメーンイベントは、子どもたちの体験教室です。たくさんの子どもたちに参加してもらおうと、知恵を絞って準備を進めました。その内容は、火起こし体験とまがたま造り、ネイチャーゲームのびんぐし山探検、びんぐし山にユキヤナギとヤマブキを植栽する緑の教室、木工芸教室、しいたけのコマ打ち、それに牛乳パックをリサイクルしたはがき、竹馬やわら草履作りも行いました。教室には大勢の小学生や保護者たちが集まり、真剣に取り組んでいました。主催者側としていちばん苦心した部分だったので、会員一同ほっとしました。

また、会場内では献血や献眼登録活動が行われたほか、薬物乱用防止キャラバンカーも来場し、啓発運動を実施しました。

イベントが終了した後は、参加者全員で清掃作業を行い、閉会式では「世界に一つだけの花」を合唱。閉会のあいさつは、子ども実行副委員長を務めた坂城中学校の竹内さんが行いました。

「集い、輝け、未来を担う子どもたち」をテーマに開催したフェスティバルは、こうして無事終了しました。四十人の会員が心を一つにして取り組んだ甲斐あって、親子連れなど約千八百人もの参加があり、大いに賑わいました。

子どもたちのもの作りにいそしむ真剣なまなざし、指先を私たちは忘れることが出来ません。また来年もお会いしましょう。

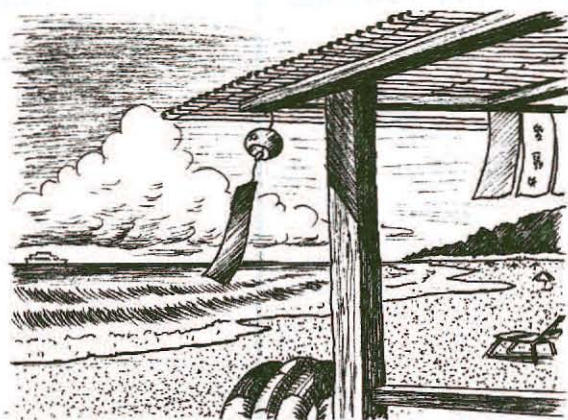
（PR情報委員長・広告制作・68歳）

おどろき

星川 葭夫（東京サンシャイン）

二〇〇四年二月二十三日に誕生したばかりの東京サンシャイン・ライオンズクラブのチャーターメンバーとして、スポンサーの東京豊島ライオンズクラブのご指導を頂きながら勉強の毎日です。ライオンズの活動を知るにつけ、私のこれまでの歩みとの関連を発見し驚いています。

昭和三十五年ごろ、私はNHKが日本最初のカラーテレビ実験放送として放映したホームドラマ「ママと私たち」に出演しました。テレビの収録にはたいへんな数のライトを使うため、熱のせいでスタジオはいつも蒸し風呂のようでした。

この収録の立ち回りの時に負ったけががもとで、私は失明の危機に瀕しました。この経験から、盲人をテーマとした脚本を書くことになりました。舞台化を目指してスポンサー探しをしていた折に、新宿中村屋の相馬雄二氏と出会いました。氏は盲導犬協会の会長でもありました。当時、日本には盲導犬はまだ六頭しかいませんでした。二頭は既に町で活

躍していましたが、四頭はまだ訓練中で、そのうちの一頭を借りて舞台に出演してもらいました。

盲導犬の活躍を知ってもらおうと、朝日新聞を訪ねて記事を掲載してもらったこともあります。街で盲導犬の写真を撮影しましたが、盲導犬がよく映るようにというカメラマンの要請で、普通は人の左側に立つように指導されている盲導犬が、この時は右側に寄り添って立つ写真が掲載されました。

劇場のあった新宿の伊勢丹デパートにお願いして、盲導犬と共に売り場を歩かせてもらったこともあります。この時は社員総出で警戒する物々しい雰囲気でした。だれもが緊張して見守る中、一階正面入り口から奥の階段を上り、劇場まで歩きました。また別の日には新宿の厚生年金会館の客席に盲導犬を入れさせて頂いたこともあります。この時は盲導犬訓練士の塩屋賢一氏にも一緒に掛け合って頂きました。

その後、出演したTBSテレビ「チャコちゃんはーい」という番組では、監督に頼んで盲導犬を初めてテレビ番組に出演させました。また、ミュージカル仕立ての「ヘレンケラー物語」を創作したこともあります。

盲導犬、ヘレン・ケラー……、目の不自由な人々を支援するライオンズクラブの活動を知るにつけ、私の過去の体験と実に多くの点で接点があったことに驚きます。献眼運動においても、私は十八歳の時にアイバンクに登録を行っていたのでした。

もっと早くライオンズの活動を知っていたら、と思う次第です。これからも青少年活動を中心に、少しでもお役に立てればと考えています。

（NPO法人理事長・58歳）

クラブ・リポート

●この欄ではライオンズクラブ、レオクラブ、ライオネスクラブの活動報告を扱います。詳しい投稿要領は72ページをご覧ください。

埼玉県・岩槻ライオンズクラブ

大船渡そば打ち食事会

一九九七年、岩槻ライオンズクラブは一人暮らしのお年寄りを招いて「ふれあい食事会」を開催、クラブの手打ちそば同好会「悠遊会」が手打ちそばを振る舞いました。その後も毎年十月に、市内の特別養護老人ホーム「松鶴園」でお年寄りに手打ちそばを味わって頂いています。

今回は国際交流を兼ねた手打ちそばを味わう昼食会のために、岩手県大船渡市にあるライオンズ、ロータリー、ソロプチミスト、青年会議所の招請を受け、五月八～九日に悠遊会メンバー五人で出かけました。

当日は朝八時から準備に入り、約百人前のそばを打ち、皆さんに本物の手打ちそばを賞味して頂きました。そば打ちのデモンストレーションを行ったほか、市内在住の中国人女性二人にそば打ちを体験して頂きました。ライオンズの枠を超えた交流と、東北の人々の温かさに触れることが出来、とても有意義な出前そば打ちとなりました。

(手打ちそば同好会会長／金沢和俊)

(編)「そば」による国際交流とはよいアイデアですね。そば打ちのアクションを見て、外国の方たちも喜んだのではないでしょうか

連絡先→TEL〇四八－七五七－一三〇〇

愛知県・名古屋サウス・ライオンズクラブ

ライオンズ・ホイッスル贈呈

現在小学校では地震や火災の防災訓練のほか、不審者侵入や児童を対象にした犯罪から身を守る防犯訓練が年間計画の中で行われています。

万が一の時、子どもたちが自分の身を守るために、ライオンズとして何か出来ることはないか。名古屋サウス・ライオンズクラブ(48人)は特別委員会を立ち上げ、ライオンズ・ホイッスル一万個を作製、名古屋市中区内の小学校全児童三千人と近隣の小学校児童に贈呈しました。軽量なホイッスルは首にかけたりランドセルに付けるなど、常時身に付けている児童が多いとのこと。このホイッスルの音が聞こえたら「何かあったのでは?」と周囲が関心を持つことで地域ぐるみで防犯意識を高めていけたらと思います。

また、東海地震などの災害発生時には倒壊家屋の下から救助を求めるのにも活用出来ます。電池切れの心配もなく、壊れにくいのも長所です。

(会長／平松昌高)

(編) 交通安全の黄色い帽子のように、このホイッスルも全国的に広がり、防犯・防災の一役を担えれば、と考えているそうです。

連絡先→TEL〇五二－九六二－三七八六

■名古屋サウス・ライオンズクラブから読者プレゼント(80ページ)があります。

三重県・津西ライオンズクラブ

青少年ボランティアに希望を見た！

イラスト／篠田和夫

青少年ボランティア団体の堂々たるあいさつに未来の希望を見た。

これは津西ライオンズクラブ（小島忠孝会長／50人）が四月十一日、津都ホテルで開いた結成十周年記念式典の話。近藤康雄市長、田中彌市教育長ら来賓や堀田和之334・B地区ガバナーを始めライオンズ関係者ら約二百人が出席。席上、一月に行った津西ライオンズカップサッカー大会の表彰式や青少年ボランティア団体支援事業（七団体、総額二百十万円助成）の目録贈呈式なども行われたが、参加者たちに大きな感銘を与えたのは青少年ボランティア団体代表たちのあいさつだった。

三重大病院小児科に入院している子どもたちを元気付ける活動をしているＬＩＦＥの畑中枝里子さん（高田高校三年）は「本当に助成金に感謝します。この助成金を使って、もっと子どもたちに笑顔を伝えられる活動をしたい。私は命の危機を体験し、本当にたくさんの人に支えられてここまできた」。

ウォーカソンなど幅広いボランティア活動を行っているセントヨゼフ女子学園奉仕部の西山ちひろさんは「国際援助は大都市だけで行われているように思われていますが、三重県の高校生も活動しています。今回の車（購入助成）で活動範囲が広がります」と、満場の参加者に助成に対する感謝と、今後の活動への意思を素直に、そして堂々と語った。

この後、近藤市長がチャリティーゴルフ益金受領あいさつの中で「ずいぶん立派なあいさつ」と称えるなど、助成した側の大人たちが、逆にボランティア活動に情熱を燃やす若者たちから未来への希望と勇気をもらったような感動のひとコマだった。

（『三重ふるさと新聞』4月22日）

（編）青少年育成支援はライオンズの奉仕活動の主幹。まさに未来につながるアクティビティであることを実感させられる一件です。

連絡先→℡〇五九－二二六－二六二四

熊本県・八代球磨川ライオンズクラブ

駅に電光掲示板を寄贈

八代球磨川ライオンズクラブ（鶴山繁次郎会長／36人）は九州新幹線新八代駅開業に伴い、結成三十五周年記念事業として同駅に電光掲示板を設置。二月二十日に完成し、三月一日に贈呈式を行った。メンバーの一人が聴覚障害者から手話を習ったことをきっかけに、十年前から映画の上映や日本ろう者劇団の上演など聴覚障害者との交流を続けている同クラブ。今回の電光掲示板の設置もその一環である。

鶴山会長は「聴覚障害者の方は音声での案内は耳に入りませんが、電光掲示板の設置で列車の遅れや事故など駅からのお知らせ、天気予報などを文字情報で知ることが出来ます。聴覚障害者の皆さんに少しでもお役に立てればと思ってこの事業を計画しました。今後も聴覚障害者の皆さんと更に交流を深めていきます」と語った。

電光掲示板の設置で、外出先でも文字で情報を手に入れることが可能になり、聴覚障害者の方にとっての利便性は高くなる。

（『西日本新聞』3月1日）

（編）電光掲示板は、毎日、多くの人の目に触れるもの。聴覚障害者の方だけではなく、すべての人にとって利用価値のあるものだと思います。

連絡先→℡〇九六五－三四－二三六四

茨城県・勝田ライオンズクラブ

コロンビアから消防車寄贈のお礼

「消防自動車のお礼に市民にコーヒーを」と、コロンビアからひたちなか市にコーヒー豆約一トンが届けられた。これまで続けてきた消防車両などの寄贈に対し、コロンビア国立コーヒー生産者連合会（FNC）から勝田ライオンズクラブ（清原勉会長／46人）を通じて贈られたもので、同市ではさまざまな場を通して市民にコロンビア産のコーヒーを味わってもらおうと、計画を立てている。

同クラブは、同市消防本部で使用していた消防車や救急車などの車両をコロンビアで活用してもらおうと、二〇〇二年度から使用を終えた消防車両の寄贈に取り組んできた。これまでに小型消防車三台、救急車一台を贈り、本年度も小型消防車二台を贈る予定だ。コロンビアは山岳地帯が多いため、小回りが利く上、性能が良い日本の消防車は大好評だ。

三月二十六日にFNC極東代表のルイス・ゴメスさんが同市などを表敬訪問し、「消防車のお礼に、市民にコーヒーを贈りたい」とプレゼントを約束。先月、同クラブ会員でFNC会員でもあるライオン鈴木譽志男の元に生のコーヒー豆が届いた。

コーヒー豆約一トンは、人数にして約十三万人分。同市の人口は約十五万五千人で、乳幼児などを除くと一人一杯分の量に当たる。

同市と同クラブでは、多くの市民にこのコーヒーを味わってもらいたいと、コーヒーを提供する場を検討し、コーヒーの日を設定する計画などが持ち上がっている。

ライオン鈴木は「コロンビアでは、日本へのアプローチの場としてひたちなか市を考えている。今後もコーヒーを通じ、交流が深まっていくだろう」と話していた。

（『茨城新聞』5月13日）

（編）十三万人分とはものすごい！　コーヒーの味わいのように深く濃い交流を今後も続けてください。

連絡先→TEL〇二九－二七三－一七六六

長野県・丸子レオクラブ

老人ホーム慰問で、お年寄りと合唱

丸子レオクラブは毎年四月の恒例事業として「老人ホーム慰問」を行っています。今年は二十四日、レオ九人、スポンサー・クラブである我がクラブの会員四人と所属リジョンのレオ・ライオネス青少年指導委員にもご出席頂き実施しました。

季節に合わせた花鉢を華やかにラッピングして持参していますが、お花を手にする時、お年寄りがとても明るい表情をするのが印象的です。レオのメンバーは小学四年から高校生まで。小学生はとまどう様子も見せますが、お年寄りからは「可愛いね」「ありがとう」「こっちへおいで」と声を掛けられる人気者です。

各部屋を訪問する中で、寝たきりの方にはこちらの声が届いているのかなと思いながら手を握ったり、中には言葉より涙される方もあり、接するレオのメンバーの心には何かが残ったことと思います。

今回はハンドベルによる「ふるさと」の演奏や、「赤とんぼ」などの歌を披露。練習の時より上手く出来、アンコールの拍手も頂きました。お礼にと「浦島太郎」を合唱して頂き、心のこもった有意義な交流が出来ました。

（レオ委員長／竜野信雄）

（編）お礼の合唱は予定外の出来事だったそう。レオの皆さんにも嬉しい贈り物となったでしょう。

連絡先→TEL〇二六八－四三－二五一五

北海道・函館市内クラブ合同

ドナー登録30万人達成を目指して

函館の史跡・五稜郭において五月二十九日、「二〇〇四全国骨髄バンクボランティアの集いin函館」を函館骨髄バンク推進協議会主管、市内十のライオンズクラブの後援で開催しました。また、これまで北海道で骨髄移植が出来る都市は札幌と旭川だけでしたが、今年一月七日に函館市にも骨髄移植の許可が下り、関係者一同喜びに耐えません。

感謝状贈呈では一個人、八団体が受賞。個人受賞のチェリスト土田英順氏は、全国各地で開催される骨髄バンク運動で応援演奏。当地函館でも演奏を買って出られ、会場を埋め尽くす七百人の来場者から絶大な拍手を浴びました。また、函館市立北高等学校吹奏楽部の生徒の皆さんは、部員の先輩が骨髄移植により治癒したこともあり、心のこもった素晴らしい演奏をしてくださいました。そのほか逸見晴恵氏の司会で、市内の病院医師、移植経験者、ボランティアの方々が知識と経験に基づいたトークを次々と披露されました。その中でも特に印象的だった元患者さんの話を紹介します。

「壮絶な病魔との戦いの中で、運良くドナーに巡り会えました。頂いた命に感謝し毎日を大切に生きることが、最大の恩返しと思っています。かなわぬ夢であった結婚も出来ました。健康になった自分を見て頂きたく、また自分の出来る応援として、骨髄バンク応援隊の鉢巻を頭に、バンクの旗を帆走させ、市民ハーフマラソンに参加しています。今後も走り続けますので、ドナー登録数増加を、皆さん応援してください」

命の尊さ、奉仕とボランティアの大切さを学ばせて頂いた合同アクティビティとなりました。全国のライオンズの皆さん、ドナー登録三十万人にご協力お願いします。

（函館市内ライオンズクラブ）

（編）三十万人の登録があれば、骨髄移植を希望する患者の約九割の白血球の型をカバー出来るとされています。当日のドナー登録会場には四十人の登録がありました。

連絡先→TEL〇一三八・二六・五五五八

福岡桜ライオンズクラブ

心のケアと、九州初の国立博物館への植樹

二〇〇三年十二月十五日、福岡桜ライオンズクラブ（50人）は十五周年記念事業として「福祉・介護に携わっている方々への支援（心のケア）／加藤登紀子ほろ酔いコンサート」へ三百人をご招待しました。

心のケアを中心に考えたこの記念事業への反響は大きく、「歌声を聞いて明日からの仕事の活力になりました」「心の洗濯を楽しみました」「素晴らしい歌声と共に人間的な魅力、音楽の心地よさを体で感じ、英気を養うことが出来ました」など何十通ものお礼の手紙を頂きました。

また、九州初の国立博物館への桜の植樹と車いすの寄贈は、桜の木にこだわり、京都の桜守・十六代佐野藤右衛門氏にお願いし、枝垂れ桜を記念植樹することになりました。藤右衛門氏は京都・円山公園の枝垂れ桜を始め日本はもとより世界各地で桜保存、再生に努める桜守。桜の権威として世界的に有名であります。

太宰府に出来ます国立博物館に私たち福岡桜ライオンズクラブが植樹した枝垂れ桜が、大きく成長し、みんなの目を楽しませることを思うと、日本の美しさを守り育てていかなければと、心新たにしております。

「桜の木は子孫のために植え、今、私たちが楽しんで観ている桜は先祖が植えてくれたものです」という言葉が心に残っています。

（会長／米永誠子）

（編）素晴らしい周年行事だったようですね。太宰府に植えられた桜は、きっと時代を超えて多くの人の目を楽しませてくれることでしょう。

連絡先→TEL〇九二-七七一-五七八三

鹿児島県・日置中央ライオンズクラブ

施設通所者ら招き皆で地引き網

日置町の施設「ひむかいの郷」で機能回復訓練などに取り組む高齢者や身体障害者らが、五月二十三日、東市来町の吹上浜に出かけ、地引き網を楽しんだ。日置中央ライオンズクラブは、毎年この時期に近隣の施設利用者を招待している。

この日は通所者やスタッフなど約五十人が参加。東シナ海に張られた網を二方向から引き寄せた。網元でもある同クラブの西田良一会長によると、この日は潮の流れが速く、あいにくのコンディションだったが、引き揚げられた網には大型のチヌやミズイカ、小魚などが掛かった。小型のエイ三匹の「おまけ」も混じり、参加者は珍しそうに見入っていた。

魚はライオンズ西田宅に持ち込み、手早く料理されて昼食に。参加者は新鮮な海の幸を堪能した。

川内市から参加した六十六歳の女性は「地引き網は見るのも初めて。足が不自由だけど網も触らせてもらい、とても楽しかった」と笑顔だった。

（『南日本新聞』5月26日）

（編）取ったばかりの新鮮な魚をその場で食べることが出来たなんて、うらやましい限り。参加者も一生の思い出となるのではないでしょうか。

連絡先→TEL〇九九-二七二-二三七九

京都堀川ライオンズクラブ

チャーター・ナイト30周年記念式典

チャーター・ナイト三十周年を迎え、三月十日に式典と祝宴が行われた。振り返ってみると経済環境が特に悪いにもかかわらず、今年はさまざまなアクティビティを行った。

昨年十月三日の百八十人の参加を得てのチャリティー・ゴルフコンペ「愛の衣料プレゼント」では、チャリティー資金五十万円を集めた。

十一月五日には、京都南座で「在宅介護者支援観劇会」を行った。この日の題目は、山川豊の「名奉行とおとこ纏」。特別出演の橋幸夫や田川寿美らによる芝居と歌のショーで、総勢九百五十人の参加者は皆「良かった」と満足。

三つ目の「堀川と堀川通りを美しくする会」は活動二十周年を迎えた。記念式典祝宴には松本頼兼京都市長と大島康男335・C地区ガバナーがお見えになって、地域住民と一体になっての今後の活躍を大いに期待し、堀川に水を流そうと強く呼び掛けてくださった。

また一月二十八日、我がクラブのスポンサーで335・C地区初めての女性クラブ、京都チェリー・ライオンズクラブが結成された。今回の三十周年記念式典は同クラブのチャーター・ナイトも兼ね、大島地区ガバナーから京都チェリー・ライオンズクラブの磯辺寿子初代会長に認証状が渡され、激励の言葉が贈られた。

式典から祝宴に移り、レディースブラス五人の女性がいろいろな楽器で場を盛り上げてくれた。

赤澤寛治実行委員長の開宴の言葉で始まり和やかに進行した宴も、予定通り無事終了することが出来た。

（PR委員長／人見修七郎）

（編）親クラブやブラザー・クラブのほか、五百人近いライオンたちが相まみえた盛大な記念式典だったようです。

連絡先→TEL〇七五－五六一－一二〇三

愛知県・名古屋緑ライオンズクラブ

国際教育講演会・演奏会開催

名古屋緑ライオンズクラブ（滝山昭会長／41人）の今期メーン行事である「国際教育講演会・演奏会」が、このほど名古屋市緑区の緑文化小劇場で開催された。

同クラブでは一九八〇年の結成以来、青少年の健全育成事業に力を注ぎ、地域との交流を図りながら多くの支援活動を続けている。二十四年目の今期も「多くのことに関心を寄せ、思いやりのある人になろう」の呼び掛けで多くの子どもたちが参加、国際人になるための講演や地元小中学生の演奏に耳を傾けた。

国際教育講演会では名古屋国際中学・高校校長のジョージ・プルイト氏が「生徒たちは思いやりある国際人にならなければいけない。そしてもっと世の中のことに関心を持って、それらと向き合うことが大切」と、五つのポイントを挙げて分かりやすく語り掛けた。

休憩をはさんで、大清水小学校の金管合奏、千鳥中学校の和太鼓演奏、鳴海中学校の吹奏楽演奏、招待音楽家（ピアノ・天野雅子、バイオリン・平田文、声楽ソロ・久米真紀子、石黒裕子、長谷川恭子）による演奏が披露された。

（『中部経済新聞』3月26日）

（編）この事業は青少年育成事業の一環で、姉妹提携している横浜みどりライオンズクラブ、稲沢緑ライオンズクラブとの合同アクティビティとして開催されました。

連絡先→TEL〇五二－八九九－一七一七

ライオンズ・スクール

クラブ運営の基礎知識

第2章　理事会・委員会

■高橋義太郎（元地区ガバナー）

例会と理事会

クラブがうまく運営されていくには決まりとリーダー、そして話し合いの場が必要となる。その話し合いの場が例会である。それも自由に討論出来る場であり、ライオンズクラブの目的である奉仕活動をするための最終決定機関でもあり、理事会で決めたことを承認する最も大事な会合でもある。それだけに会員の過半数の出席を必要とし、毎月二回開催されるべきで、会員はそれに出席する義務を持っている。

しかし、「一から十まですべてについて全員の承認がなければ事が進まない」ということではなく、既に合意されていることは変更がない限り承認を受ける必要がないし、一般的に例会と例会の間が二週間以上あるので、突発的な事項については民主主義の原則に基づき「だれしもが、正当と考える決断と処理」をすれば、事後報告となっても会員は承諾してくれるものと確信する。そのためには、会長始め各役員は普段から十分勉強し、事に処しての適用会則や慣例を熟知していなければならないし、それぞれの立場で普段から会員と一心同体となる緊密なコミュニケーションをとっておくことも重要である。また、毎年起こり得る事柄については三役が専決出来るような内規を定めておくことも必要である。

定例の理事会は理事会の決定する日時及び場所で毎月開かれる。標準版クラブ付則第3条7項にはかっこ書きで「理事会は少なくとも月一回は会議を開くよう推奨されている」とある。これは毎月必ず開かなくてもよいとも受け取られるが、例会の審議を短時間でスムーズに行うためにも毎月開催すべきである。

また会員の少ないクラブでは、会員全員が役員になり、直接例会で決定した方が都合のよい場合がある。が、この場合でも、例会の前に理事会を開いて審議し、例会では拍手で承認するだけにすればよい。理事会は構成員の過半数をもって定足数とし、その過半数をもって理事会の決議とする。しかし、会員資格の喪失などに関しては理事会構成員の三分の二の賛成が必要であり、条件が厳しくなっている。

臨時理事会は会長または三人以上の理事会構成員の要求があった時、定例理事会とは異なり会長が決定する日時及び場所で開かれる。

理事会の任務及び権限

a．理事会はクラブの執行機関であり、クラブにより承認された施策を各役員を通じて実施する責任を持つ。すべてのクラブの新企画及び新施策はまず理事会で検討、立案の上、クラブの定例または特別会合に提案され、承認を得なければならない。

●立法は例会において全員の合意によってなされ、行政は理事会が執行してゆく。例えば例会が国会で、理事会は内閣と考えればよい

b．すべての支出は理事会の承認を必要とする。理事会はクラブの現在の収入を超過する債務を負ってはならない。また、クラブの承認した企画及び施策に反する目的のためにクラブの資金を支出することを承認してはならない。

●もちろん、収支決算書がマイナスであってはならない。残金についてはその処分を検討して、繰り越すか、積み立てるか、またその他を決めるわけであるが、毎年の役員の平等性を考えれば、私は繰り

越すことはすべきでないと思う

c. 理事会はクラブのいかなる役員の職務遂行上の行為をも修正または取り消す権限を持つ。

●クラブ役員の解任は会員の融和を重要な目的としているため出来る限りすべきではないが、正当な理由があれば、全会員の三分の二以上の賛成投票によって出来る。また、欠員の補充についても前会長を除き、会長、副会長の場合は副会長が順位によって昇格し、それ以外は理事会でその役職の残任期間の後任者を任命する。ただし、この場合は過半数の賛成でよい

d. 理事会は、年一回または理事会の判断により必要と認めた時は随時、クラブの会計及びその執行について監査を受けなければならない。また、クラブ役員、委員会または会員の扱っているクラブ資金について会計報告を求め、または監査を受けさせることが出来る。グット・スタンディングの会員は妥当な日時及び場所において、上記監査または会計報告について調査することが出来る。

●以前は財政報告書を国際本部や地区ガバナーに送っていたが、現在は十二月と六月の月例報告書の最下欄の空白個所に「財政状況良好」と報告すればよいことになっている。会長は定例の理事会において幹事及び会計に対して「財政状況の報告」「収支報告」を、会計に対して「前回報告の繰越残高」「前回報告以後の全収入・全支出」「当月末収支残高」を行うよう要求する。幹事と会計は、理事会に対しては毎月一回、クラブに対しては四半期ごとに、それぞれ財務及び会計報告を行わなければならない

e. 理事会は財務委員会の推薦を受けて、クラブの資金を預金する銀行を指定する。

岩手県・千厩ライオンズクラブの理事会風景

f. 理事会はクラブ役員の任務遂行を保証するための担保設定に関する決定を行う。

●日本では馴染みがなく、ほとんど実施された例がないと思うが、クラブがその年度中に受領出来るはずの見込み収入金相当額のクラブ資金に連帯責任を負う、という全構成員の保証を取っておくということである。もし万が一決算が赤字になった時は構成員全員でそれを補わなければならないとも解釈出来る

g. 理事会は事業を行って社会から集めた資金をクラブの運営のために支出することを許可または承認してはならない。

h. 理事会はすべての新企画及び施策を、それぞれ該当する常設または特別委員会に付託し、委員会の検討及び理事会に対する答申を求める。

i. 理事会は会員の承認を得て、地区大会、複合地区大会及び国際大会に派遣するクラブの代議員及び補欠を指名し、任命する。

j. 理事会は一般的に認められた会計原則に基づいて、少なくとも二つの資金を別々に管理しなければならない。その一つは会費、テール・ツイスターの集めたファイン及びクラブ内部で集めた資金などの運営資金とする。もう一つは社会に支持を求めて集めたアクティビティまたは社会福祉のための事業資金とする。

●ドネーションは善意に基づく自発的な寄付金として解釈し、事業資金として扱い、運営資金として使用してはならない

例会・理事会と役員のかかわり

一年目の理事を一年理事、二年目の理事を二年理事と呼称する。半数ずつ改選され、人数はクラブの規模に応じて、内規で定めておくことが必要である。少ない方がすべての構成員の意見を聞くことが出来るし、多い方がさまざまなアイデアが出る可能性と、小委員会を設定して徹底的に検討してもらえる利便性がある。二年理事と前会長は必ず連続して理事会のメンバーとなるのだから、前年度の反省点や引き継ぎ事項の説明などを会長から求められた時は的確に述べなければならない。

第一章でも書いたが、クラブの役員とは、会長、前会長、副会長（複数）、幹事、会計、ライオン・テー

マー（設置は任意）、テール・ツイスター（設置は任意）、会員理事、及びすべての選出された理事を言い、理事会の構成員となる。「クラブ三役」とは会長、幹事、会計を言い、「五役」は「三役」にライオン・テーマー、テール・ツイスターを加えた五人を指す。クラブによって考え方に違いはあるが、よく耳にする「執行部」とは、一般的には理事会構成員のうち理事を除いた役員を指して呼ぶことが多い。

単一クラブの役員は前会長以外、指名会及び選挙会で選出される。準地区では前地区ガバナー、副地区ガバナー以外のキャビネット構成員は地区ガバナーが任命する。これは地区ガバナーが一年間国際協会の方針、自分のテーマや重点目標の達成のために「この人なら自分の目的達成のために活躍してくれる」人物を選んで任命し、また解任出来る権利を持たせることにより、円滑な地区運営をさせるためである。

クラブでも準地区同様、クラブ会長が他の役員を任命出来ればより一層能率的に、そしてより円滑にクラブ運営が出来るのではないかと考える方もいるだろう。では、創設者メルビン・ジョーンズはなぜ、このような方式にしたのだろうか。

創設者メルビン・ジョーンズ。国際本部の執務室にて

一九二四年、アメリカ以外から初めて国際会長に就任したカナダのハリー・A・ニューマン元国際会長は、「我々は同じ理想を抱き、人種、宗教、肌の色を超え、他の国の人々と共にその理想を分かち合いたいと願う。ライオンズクラブの組織は、同じ人間に続けて指導されるのではなく、さまざまな身分の新しい人間が代わる代わる統率する。指導者は奉仕するという同じ願いの多くの仲間から出された意見を行動に移し、そこからまた新しい思想を生み出すのだ。これこそ成長の源である」という言葉を残された。これはクラブの会員はだれでも、どの役職でもこなせる人々の集まりであり、同じ理想を持つ仲間であるということである。

求められる活発な委員会活動

会長の意思によって設置されるのが委員会である。標準版クラブ付則第7条1項に定める常設出来る委員会の中からすべてまたは必要と認めたものを設置出来る。すべてを選択した場合、会員数を考慮してこの中から何種かを一緒に組み合わせて一人の委員長の管轄下に置いて、適当な略名称を用いても差し支えない。

会員数の少ない地区においても経費等の節約のために、この方法を用いている。その場合の地区の委員会には委員が存在せず、地区委員長一人ということも少なくない。そのような地区の委員会が活動しようとする場合、各クラブのそれに準ずる委員会にお願いすることが多い。地区ガバナーはそれに対応出来る委員会構成を各クラブに望んでいる。また、周年行事などのために、常設委員会で処理するのが適当でないと判断した時は、特別委員会を設置することが出来る。

会長は各委員会の委員長、場合によっては副委員長を指名し、必要と思われる若干名の委員を配置出来る。ただし、会員委員会の委員長及び委員長は選挙で選ばれる。同一の会員を異なるいくつかの委員または委員長に指名することも可能であるが、すべての会員を何らかの委員会に配置すべきである。

会長が指名した委員は、各委員会で会長の方針や目標達成のために十分な活躍をしてくれるものと確信する。そのためには各委員会が活発な活動が出来るように会長は配慮しなければならない。会長はすべての委員会に職権委員として出席し、意見を言う資格はあるが、内容によっては委員の自由な発言を促すために控えるべき時もある。委員長との事前の打ち合わせは必要である。もちろん、出席した場合、決議に参加することは出来ない。

委員長及び委員は、常に「このままでよいのか」という思いを抱いていなければならない。前年度の継続だけでは進歩はないし、金銭的にも苦しくなり、新しい事業が出来なくなる。継続的な事業や活動は無期限ではなく、三年とか五年とか期限を限定して計画すべきである。

会員維持・増強

会員維持・増強は長年、国際協会のあらゆるレベルにおいて大きな課題となっている。ここ十年間の会員数の推移を調べて驚いた。一九九四年から二〇〇四年の間に、世界で約五万五千人、日本で約四万二百人も減少しており、日本の減少が著しいことが分かる。十二の政令都市が所属する十一の準地区でその半数の二万余人を占めており、都市部での減少も著しい。毎年各クラブ共、会員増強を行っているのだから、退会者の数はすごい数字になる。

会員を維持するための特効薬を考えてもなかなか思いつかない。ただ言えることは会員がクラブの活動に満足感、充実感を持っているだろうかということである。楽しい、面白い、やりがいがあると感じていれば容易に退会しないであろう。ではどのような対策があるだろうか。

千葉県・小見川ライオンズクラブの新会員入会式（写真／ライオン菅谷寛）

- ●入会前にクラブの目的や内容、会員の義務をよく説明する
- ●厳粛かつ感銘深い入会式を行う
- ●スポンサーは常に新会員に気を配り、クラブに関心を持ち続けるよういろいろな資料を用意し、アドバイスをする
- ●新会員を早い時期に委員や役員に任命して仕事を与え、立派な業績には惜しみなく称賛を与える
- ●新会員にライオンズクラブ国際協会が世界最大の奉仕団体であることを十分に認識させる
- ●クラブ自体の活発な活動。新会員がクラブの活動の立案、計画などに絶えず参加すれば、友愛と奉仕の意味を知り、クラブの重要性と誇りとを感じるようになる
- ●新会員の活動が古い会員にも刺激になり、新たな熱意を燃やさせる

会員増強は各クラブが毎年一生懸命取り組んでいるにもかかわらず、前記のような数字である。限られた地域で新会員を探すのは容易なことではない。そこで必要なのが会員候補者リストである。

会員全員に候補者を挙げ提出してもらう。リストは親戚、専門職に就いている人、職場、隣人、友人など項目別に記入する。会員委員会ではリストを集計・整理して、会員全員に候補者の集計表を配布する。会員は集計表を基に自分が勧誘に行く候補者を申し出、会員委員会は担当者を調整する。一人五人ぐらいに制限するのがよい。担当者は候補者に連絡を取り、勧誘した結果を会員委員会に報告する。会員委員会は、今入会することに関心のある人、後で入会することに関心のある人、会員になることに関心のない人、というように分類し表を作る。関心を持っている人を例会に招待したり、オリエンテーションを開催したりして、自分たちのクラブとその目標について理解を深めてもらう。後で入会することに関心のある人への追跡勧誘も忘れてはならない。

会員委員会の役割

会員委員会は三年任期の三人の委員によって構成される。三年任期となっているのは、ライオンズクラブの運営で極めて重要なこの分野において、一層強力なチームを設けるためである。基本的に、この委員会の目標は、会員を選び、勧誘し、活動に関与させ、維持することである。

ローテーションに基づいて、一年目委員（リーダーシップ担当）は委員会の委員、二年目委員（エクステンション担当）は副委員長、三年目委員（会員担当）は委員長兼クラブ理事会の会員理事となる。この職に就く者は、ライオンズクラブについて包括的に理解しており、他の人と協力して仕事をする意欲と能力を持っていなければならない。したがって、会長を終えた者が順次この職に就任するのが望ましい。また、クラブの会員委員会は、地区や複合地区のMERLチーム（会員、エクステンション、会員維持、リーダーシップの各委員長）と直結している。

高橋義太郎（岩手県・藤沢岩手）

一九五二年生まれ。七五年藤沢岩手ライオンズクラブ入会。八六年度クラブ会長。九四年度ゾーン・チェアパーソン。九六年度リジョン・チェアパーソン。二〇〇〇年度332複合地区長期計画・リサーチ副委員長。〇二年度332-B地区ガバナー。〇三年度ライオン誌日本語版委員。MJF。52歳。

ライオンズのための分かりやすいＩＴ講座

第八回　ライオン誌用マンスリー　■文／砂山幹博

前回、国際協会公式ウェブサイト（www.lionsclubs.org/JA/）上で、電子版の『ライオン誌』が読めたり、書籍の注文が出来るなど、さまざまなメリットがあることをお伝えした。今回も引き続き『ライオン誌』に関する話。インターネットの特性の一つ「双方向性」を生かした、より実務的な使い方を紹介する。

電子版レポートの活用

「ライオン誌用マンスリー・レポート」は、クラブ幹事もしくは事務局員の方からライオン誌日本語版事務所に毎月ご報告頂いている。会員の異動、住所や氏名、クラブで行ったアクティビティ、その他連絡事項など、会員並びにクラブの活動状況が逐一記されており、主に以下の情報を得るために活用されている。

- クラブ別、地区別、複合地区別会員数の集計
- 特別負担金、送料実費の請求と精算
- 『ライオン誌』発行部数の決定
- 発送リスト作成のための入会者・退会者住所氏名
- アクティビティの項目別集計
- 取材用のための資料
- 本誌掲載の「サービス・アクティビティ」写真説明の抜粋

レポートの送付方法には、郵送とファクスのほかに、電子メールがある。どの方法で送ってもよいが、覚えてしまえばいちばん早くて簡単なのが、メールによる送信である。

パソコンでレポート作成

マンスリー・レポートをメールで送信するためには、ホームページ下方にある「THE LION Magazine」のリンクバナーをクリックし、右側の「More Information」の項目中から「ライオン誌用マンスリー・レポート／ダウンロード」を選択。この画面から、定型フォームをダウンロードする。「メール送信用」と「郵送またはファクス用」の二種類あるが、今回は「メール送信用」をクリック。

すぐに「ファイルのダウンロード」というボックスが開くので、「保存(S)」ボタンを選択して、任意の場所にファイルを保存する。ダウンロードしたファイルは、「MA_Report」という名のエクセル・ファイルになっているので、このファイルを開き、必要事項を入力する。注意する点は、必ず保存したファイルに入力すること。「ライオン誌用マンスリー・レポート」は、ダウンロードされていない状態でもパソコン上で見られる上、文字を入力することも出来る。

が、この状態では入力データは保存されないので、必ずダウンロードしたファイルに入力作業を行う。

「MA_Report」を開き、画面上で薄青色のセル（ボックス）に文字や数字を入力したら、このファイルに新たに名前を付けて保存し直す。名前には五桁のクラブコードと報告月と拡張子(.xls)を付ける。例えばクラブコードが「01001」で報告月が八月だったら「01001-08.xls」である（すべて半角で入力）。クラブコード入りで名前を書き換える理由は、どこのクラブから送られてきたファイルであるかを識別するため。実際は「ライオン誌用マンスリー」などと名前を付けて送ってくるクラブが多く、それではどこのクラブから送られてきたかが分からない。また、最悪の場合、同じ名前のファイルだと新し

いファイルが古いファイルと置き換わる事故もあり得る。必ずクラブコード入りの名前に保存し直そう。なお、このクラブコードは、国際協会のコードとは異なり、ライオン誌日本語版事務所独自のものである。分からない場合はサイト上で確認することが出来る。

いよいよメールで送信

最後はいよいよ、ファイルを添付してライオン誌日本語版事務所あて(office@thelion.jp)電子メールを送信する。メールの件名は「マンスリー○月分」とし、○の部分に報告月を入れる。ただ、月末月初はファイル提出が集中し、「送信エラー」が出てマンスリーが返送されてしまうこともある。そんな時は日にちをずらして再送するか、ファクスで送信頂きたい。なお、サイトからは郵送・ファクス用の定型フォームもダウンロード出来る。こちらはPDFファイルなので、ダウンロード後、プリントアウトして必要事項を記入し、日本語版事務所まで送付する。

マンスリーの記入及び送信方法について不明な点がある場合は、サイト中央の「ライオン誌送信説明」のボタンをクリックしたい。このページは、335-A地区IT委員会のご好意でリンクさせてもらっている同地区ホームページである。

現在、千六百弱のクラブが電子メールで、ライオン誌用マンスリー・レポートを提出している。また、マンスリー以外に「ライオン誌発送先住所変更」などもサイト上で行うことが出来る。郵送やファクスに掛かる通信費は確実に抑えられるし、何より早くて便利である。百聞は一見に如かず。電子化はまだ、というクラブはぜひとも試して頂きたい。

IT虎の穴

明日のためにその八

イラスト：藤英毅

こんにちは、瞳です。(*^_^*)

今回はパソコンを使ってこんなことも出来るというお話をさせて頂きます。今、私の勤めるクラブにYE生を受け入れています。アメリカのカリフォルニアに住むトムという男の子です。今回は会長の木村さんがホスト・ファミリーになっていますが、来日までの準備にインターネットがすごく役に立ちました。

トムが来る前に木村会長の家族との間の情報交換は、すべてメールが利用されました。ただ、会長の子どもさんは既に社会人となり毎日仕事があるので、メールはもっぱら木村会長が送らなければなりません。会長も多少の語学力はあるようですが、自信がないようです。そこで、役に立ったのがインターネットで使える翻訳サイトでした。

例えばエキサイトというサイトにある翻訳のページを開くと（http://www.excite.co.jp/world/）、テキスト翻訳という文字があります。画面の指示に従って進めていくと、日本語を英語に、また英語を日本語に翻訳してくれます。かなり英語が達者な方に見てもらうと、多少意味が通じない翻訳になっていることもあるようですが、おおまかな意味は通じるようです。

このサービス（もちろん無料ですよ）を利用して、木村会長はYE生のトム君とは来日までに何度も文通が出来て、来日した時は既に家族の一員のような親近感を持つことが出来たということです。ほかにもホームページで検索すれば、いろんなサイトで翻訳をしてくれるようです。英語だけではなくドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語など、まだまだ数多くの翻訳があるので、皆さんも一度試してみては？

文章の翻訳だけではなく、ホームページを日本語に翻訳してくれる機能もあるようで、木村会長がトム君の住む街のホームページを見て勉強していたことが、トム君にはビックリだったと言っていました。

では、また次号でお目にかかりましょう。(^.^)/

■ここに登場する人物または団体はすべて架空のものです。ヽ(￣ε￣)ノ

ライオンズ文庫

Official Publication of Lions Clubs International

We Serve

●ライオンズクラブ入門 新刊

ライオンズ・スクールの初級編として、入会したての新会員を対象に、これだけは知っておきたいライオンズクラブの基礎知識をまとめた。併せて「ライオンズ用語集」も収録。

A4判 64ページ 1部400円・送料実費

●リーダーシップを養う

国際協会が開発した総合的リーダシップ育成プログラムの指導書を基に、ライオン誌日本語版委員会が編集。地区役員研修会などの副読本に、またクラブ会長や地区役員の指導力育成に最適の書。

A4判 64ページ 1部400円・送料実費

●ウィ・サーブ

1952年3月に日本に初めてのライオンズクラブが誕生してから既に50年。今や世界有数のライオンズ国となった日本ライオンズ半世紀の軌跡をたどる。日本ライオンズ年表付き。

B6判 332ページ 1部800円・送料実費

●ライオニズムよ永遠に

ライオンズクラブの創設者メルビン・ジョンズの生涯を時代と共に活写した労作。「メルビン・ジョンズ書簡集」「メルビン・ジョンズ寸言録」のほか、ジョンズの写真多数を掲載。

B6判 224ページ 1部800円・送料実費

●用語の達人

具体的でやさしいライオンズ用語の入門書。『ライオン誌』に連載され好評を博した「超やさしいライオンズ入門」の「用語の達人」と「質問箱」が一冊にまとまりました。

B6判 88ページ 1部400円・送料実費

●『ライオン誌』創刊号復刻版

日本にライオンズクラブが誕生して6年目の1958年8月10日、『ライオン誌』日本語版創刊。発行部数はわずか4,500部だったが、誌面からは草創期の活気がひしひしと伝わってくる。

B5判 68ページ 1部300円・送料実費

※『ウィ・サーブ』『ライオニズムよ永遠に』『ライオン誌専用ファイル』は20部以上、『ライオンズクラブ入門』『リーダーシップを養う』『用語の達人』『ライオン誌創刊号復刻版』は50部以上ご注文の場合、送料無料(ただし、急ぎの場合は別途請求)。

●ライオンズ文庫・ライオン誌創刊号復刻版　割引率＝50～299部10%／300～499部15%／500～999部20%（1,000部以上は別途割引率設定あり）

●ライオン誌専用ファイル　割引率＝100～499部5%／500～999部10%（1,000部以上は別途割引率設定あり）

※お申し込みは文書で、郵送またはファクスでお願いします。地区名・クラブ名・お名前・ご住所・お電話番号をお忘れなく。

※請求書・振込用紙は、品物に同封します。（大口注文の場合は別便で送付）

〒104-0045東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階 ライオン誌日本語版事務所 TEL：03-3542-9571 FAX：03-3546-2630 E-Mail：office@thelion.jp

-------------------- キリトリ線 --------------------

ライオンズ文庫・『ライオン誌』創刊号復刻版・『ライオン誌』専用ファイル 注文書

●ライオンズクラブ入門	部	●リーダーシップを養う	部
●ウィ・サーブ	部	●ライオニズムよ永遠に	部
●用語の達人	部	●『ライオン誌』創刊号復刻版	部
●『ライオン誌』専用ファイル	冊		

地区名	クラブ名	お名前
33 - 地区		
ご住所 （ — ）		お電話番号

俳壇

■選者　森　澄雄

【特選】

哲学の道きて落花しきりなる　（兵庫県・神戸シニア）中村　麦芽子

（評）哲学の道は哲学者西田幾多郎が思索しながら散歩したことでついた。京都市左京区の若王子（じゃくおうじ）神社前の若王子橋から銀閣寺に至る約二キロの疎水沿いの道。その道を歩いてきて桜の花がしきりに散っている。

落し文小町少将比翼塚　（京都洛陽）澤村　越石

（評）京都市左京区静市（しずいち）市原町の補陀落寺（小町寺・天台宗・本尊阿弥陀如来）は小町伝説で知られる尼寺。謡曲「通小町」の舞台本堂には小町老衰像を安置。境内に小野小町塔と深草少将塔の比翼塚がある。落し文は栗・楢・櫟（くぬぎ）などの葉が筒状に巻かれたまま地に落ちて、中に象虫科の甲虫が卵をうみつけている。巻文のようなので落し文という。

（応募要領→72ページ）

【入選】▼

新緑や谷の狭間の露天風呂　（青森県・五戸）吉田　晶二

螢見に来ぬかと誘ふ山の宿　（新潟サウス）大塚　達彌

湯煙や八十路集へる余花の雨　（群馬県・桐生）有阪　昌治

草の餅手皿に受けし村歌舞伎　（千葉県・大栄）野平婦基子

枕木のかげに身を寄せ鼓草　（愛知県・名古屋樟）高橋　忠男

卯の花や飛騨街道の渓深し　（愛知県・西尾）牧　孝

アルプスの清流急ぐ山葵畑　（岐阜県・大垣東）大橋庄一郎

叱るよりほめるが大事若緑　（三重県・松阪はなしょうぶ）大西　さよ

木洩れ日の去来の墓に黒揚羽　（福井県・敦賀）山本　麓潮

宮島の山懐に鯉幟　（大阪夕陽丘）角野桂治郎

富士を背に立てる幟の武田菱　（大阪夕陽丘）北川　匡子

練供養ほどほどにして牡丹見に　（大阪夕陽丘）増川　良昭

暮色いま揺らす風あり藤の花　（和歌山県・伊都高野山）慈幸　三沙

真っ向に土用波立つ龍馬像　（福岡県・北九州洞海）松本　隆吉

土用波浅瀬を超えて飛沫揚げ　（長崎北）平山　兼則

歌壇

■選者 春日真木子

【入選】▼

ひひらぎの葉裏に蝶は羽化をせずいのち終へたり雨に打たれて
（青森まほろば）加藤　捷三

冬眠より醒めし銀蠅うなり上げ弾丸のごと障子へ向かふ
（青森県・弘前チェリー）高橋　修一

赤銅の塑像とも見ゆ思ひ出の亡父は胸板厚き漁夫なり
（千葉県・房総勝浦）君塚　一雄

夕されば緑の闇の深うして水音ばかり縫ふが如くに
（千葉県・流山）皆川　春安

春の雨くほみにできし水たまり傘傾けつつすれ違ふ路地
（千葉県・館山中央）荻野　貴子

二階より見下ろす青き額紫陽花雨上がりの陽にミラーボールとなる
（愛知県・西尾東）坂部喜三江

山陰のみどりの風はすずふれる河鹿の声をはこび来たりぬ
（兵庫県・加美）藤田紀久子

バス停に待ちいる人ら皆同じく東を向きて身を傾げおり
（和歌山県・岩出）明治むつみ

エアコンもガスも消したと声に出し一人ぐらしの慣となれる
（福岡県・大牟田中央）松井　翠嵐

アーケード街の一隅に陰おとす吉相印の看板古りぬ
（大分県・中津沖代）松本　達雄

【特選】

見霽かす田の面は青き湖に似て口いっぱいに幟の泳ぐ
（高知県・土佐香南）野村土佐夫

（評）田圃は、早苗が伸びて青々とつらなっているのであろう。見わたすかぎりの青田を、「青い湖」と見立てたのである。その青い田の面と、鯉幟の取り合わせのすがすがしい一首である。下句の「口いっぱいに」の表現が面白く、確かに鯉幟は口をまるく大きくあけて風を呑んでいる。青田の緑に映えて、風にはためいている鯉幟の力づよさが強調されている。田の面に幟が映り、恰も青い湖に鯉が泳ぐような、そんな錯覚を思わせるところもある。
今号は、加藤、高橋、松本氏の作品にも注目した。

（応募要領↓72ページ）

柳壇

■選者　大木俊秀

【入選】▼

辞書を選るまだ輝きが欲しいから　（青森県・八戸中央）大久保健峰

空き缶を蹴った夕日は戻らない　（青森県・弘前中央）高橋　岳水

今年こそ秋のみのりを夢に見る　（岩手県・水沢）高橋　隆

三千歩越えたことなし万歩計　（岩手県・水沢中央）千葉　行平

陽だまりに風がうたたねしてる里　（岩手県・水沢中央）平澤　真樹

日の丸で包んでわたす支援米　（岩手県・水沢中央）佐藤　恒夫

ケチャップでお絵書きされたオムライス　（新潟県・五泉）長澤　信一

歩きたくなる新緑の風優し　（千葉県・東庄）藤﨑　久男

責任を転嫁するのも処世術　（神奈川県・小田原白梅）神山つとむ

点滴と語り合ってる千切れ雲　（埼玉県・浦和シニア）君塚　六郎

相傘に揺れる心を雨が知る　（静岡県・大仁）山本　順平

戦争遺児もう七十を過ぎました　（島根県・松江湖城）長谷川　孝

胸中に水位のありて恋をする　（福岡県・北九州洞海）松本　隆吉

近道に仕掛けてあった落し穴　（宮崎橘）井上　忠一

次の児もつられて泣いてくる注射　（長崎県・諫早）大崎　博正

【特選】

玄関をつばめに貸して木戸出入り　（鳥取県・倉吉打吹）田原隆之助

（評）玄関あり、軒先あり、場合によっては部屋の中ありで、どうぞどこでもご自由にと、つばめの営巣場所については、人間、まことに寛大である。それによって生じる多少の不便さにも文句は言わない。猫や蛇にやられないようにと気を遣う。ほほえましい一景。

人生迷路神様だけが知る出口　（長崎県・佐世保西）神谷　治雄

（評）あらためて「神」を辞書でひいてみる。「人間を超えた在り方・霊感をもち、人間に対し禍福や賞罰を与え、信仰・崇拝の対象となるもの」（大辞林）とある。迷路に踏み込んだ人間の、そして国家の出口をご存知なのは、ただ神のみ。あの大統領の、あの国の出口はどこにあるのか

（応募要領↓72ページ）

伝言板

■ライオン誌メール送信用マンスリー、ファイル名変更のお願い

六月十五日付けで各クラブあてに発送した「会員並びにクラブ活動状況報告書」に関する手紙で、メール送信用マンスリーのファイル名を、五桁のクラブコード（例：01001）＋報告月＋拡張子の「01001.06.xls」と記入頂くようお願いしましたが、ファイル名にドット（.）が複数入るとトラブルを招く可能性があることが分かりました。「01001_06.xls」または「01001-06.xls」に変更ください。

訂正とお詫び

本誌六月号「THEME」（10ページ）で「ラン・フォー・ビジョン」の協力クラブとして浦安ライオンズクラブとあるのは千葉県・行徳ライオンズクラブ。七月号「地区ガバナー紹介」（14ページ）の林護333・C地区ガバナーの年齢は64歳、「ローア」（31ページ）の写真（中央）キャプションは修禅寺（静岡県修善寺）の、「獅子吼」（50ページ）でレオ海老澤和子の所属は茨城県・協和レオクラブ、「編集室」（73ページ）文中で「二〇〇五年度が始動」とあるのは二〇〇四年度の誤りでした。お詫びして訂正致します。

クラブ会員刊行物

●現代への遺言

B6判 本文293ページ
1,600円

著者／宮田邦生（愛知県・一宮ライオンズクラブ）発行／㈱K&Kプレス（TEL〇三-五二一一-〇〇九六）

＊過去は未来の母胎である。戦前に生まれ、戦中に教育を受け、戦後に働いてきた「三時代体験世代」である著者が、戦後世代への贈り物として歴史を語る。

➡ライオン誌事務所来訪者芳名録

月日	クラブ	氏名
6/4	東京葛飾	舘　親光
6/4	東京四谷	稲垣　嘉保
6/4	東京虎ノ門	黒田　幹雄
6/8	東京三軒茶屋	藤村　貞夫
6/10	東京桜田門	吉野　博文
6/11	大阪府池田	竹本　實生
6/23	千葉県四街道	楠岡　巖
6/23	東京柳橋	中島　洋吉

ライオン誌投稿要領

カラー

■「MY BEST SHOT」76〜77ページ

●応募資格　ライオン、ライオネス、レオ及びその家族で、アマチュアの方。

●応募作品（題材は自由）サービス判以上四ツ切までのプリント及び35ミリ以上のスライド。一人5点まで。

●プリントは写真の裏に紙を貼り、スライドには必ずマウントをつけ、氏名、クラブ名、年齢、題名、撮影場所、撮影年月日、住所、電話番号を明記。返却希望の場合は、住所、氏名を記入した返信用封筒に切手を貼り、同封してください。締切は毎月15日。

■「ライオンズ・ギャラリー」78ページ

●応募資格　ライオン、ライオネス、レオ及びその家族。プロ、アマ不問。

●応募作品（絵画、版画／題材は自由）作品のスライド・フィルムか、カラー・プリント（キャビネ判）をお送りください。氏名、クラブ名、年齢、職種、絵のサイズ（号数）、画題を明記し、小文（絵に関するエッセー、自評など400字程度）、顔写真を添付してください。

本文

■「クラブ・リポート」56〜61ページ

●アクティビティ、例会など、クラブの活動を800字程度で具体的にお書きください。新聞記事は、新聞名、掲載日を付記。ライオネス、レオクラブの投稿も歓迎。関連写真があれば添付し、写真返却希望の場合は、その旨を明記してください。

■「獅子吼」51〜55ページ

●ライオン、ライオネス、レオ及びその家族によるエッセー、提言など。1600字程度にまとめ、職種、年齢を明記してください。

●題字はハガキ程度の大きさで。

■「俳壇」「歌壇」「柳壇」69〜71ページ

●応募資格　ライオン、ライオネス、レオ及びその家族。

●一人ハガキ1枚に3句／首まで。締切は毎月15日。

■「リーダース・プラザ」72〜73ページ

●クラブ会員刊行物：クラブ並びに会員が刊行された出版物を1部お送りください。

●伝言板：読者間の情報交換にご利用ください。

●読者から：本誌に対するご意見、ご感想をお寄せください。

▼投稿締切の記入のないコラムは、随時受付。誌面の都合で編集したり、掲載出来ない場合もあります。原則として原稿は返却致しません。

▼いずれの場合も住所、氏名、クラブ名を明記。文字原稿の投稿はEメールでも可。写真、絵画などはプリントか、フィルムを郵便でお送りください。

送り先

〒104-0045　東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階　ライオン誌日本語版事務所　各コラムあて

TEL03-3542-9571　FAX03-3546-2630

Eメール：edit@thelion.jp

読者から

▼本誌へのご意見・ご感想をお寄せください。 編集部

決意を新たに

●年度が明け、新役員たちはそれぞれに新しい目標で事業計画を掲げていることだろう。希望を掲げるということは奉仕の目的を再確認すること。それを明確にすることは奉仕の原動力となる。地域社会を良くしたい、ひいては日本、世界に貢献したいという思いがあるならば、慣習に捕らわれず、アッと驚く事業を計画し会員全員で成し遂げよう。初心を忘れずウイ・サーブの精神を掲げ、ロマンチックな夢を見つつダイナミックに行動しようではないか。

鹿児島県・牛深●塩田祥二郎

ライオンズの未来を見つめて

●六月号は「国際会長メッセージ／改革は奉仕と成長への扉」と大久保彦国際理事の「国際理事会だより／時代に沿った変化を遂げて更なる躍進を」を重ねて読み、感動を覚え、また参考になる点が多く有益と感じた。「THEME」のアイバンク運動は、我がクラブでは視力ファーストに続きアクティビティの主要な柱として続けており、更に勉強になった。

東京紀尾井町●渡辺豊隆

アイバンク運動

●六月号「THEME／アイバンク運動」の「あの人が眼の中に生きている」という記事を読みました。以前からアイバンク運動のことは知っていましたが、改めてその大切さを感じました。ありがとうございました。

大阪府・岸和田コスモス●八田章子

●二〇〇三年度は330・C地区献眼・献血・骨髄バンク委員としてお世話になりました。そしてアイバンク登録者はいても、実際の献眼とはなかなか結びつかないことを実感致しました。静岡県・沼津、小山の両ライオンズクラブのご活躍には頭が下がります。今後ますますの隆盛を祈念申し上げると共に、我々もがんばらねばと思います。

埼玉県・妻沼●細谷博

女性ライオン新たに一歩前進

●六月号「ニュース・カセット／330・C地区で日本初の女性地区ガバナー・エレクト誕生」の記事を読み、年次大会でのライオン櫻井慧子の純白のスーツ姿が鮮やかに蘇ってきました。ライオネス時代から現在に至るまで目覚ましい活躍と共に、優れたリーダーシップの持ち主です。後に続く女性リーダーの素晴らしい指針と成られることを確信し、応援させて頂きます。

埼玉県・浦和すみれ●中江芳子

若手ライオン現在進行形

●毎号、役に立つ情報、記事を読み勉強させて頂いています。私は年齢的にも在籍年数も若年ライオンですが、仕事面、ライオンズの活動面の双方で参考になります。特にライオンズについては「ライオンズクラブ入門」が勉強になります。

奈良県・田原本●桐山茂樹

「心のチキンスープ」に会いたい

●毎月の『ライオン誌』を楽しみにしています。特に「心のチキンスープ」は最初に開き何回も呼んでいました。切なくて悲しくて、それでいて温かく立派なライオンの心を灯し続ける先輩ライオン、それを支える周囲のライオン。読むたび涙してしまう。そんな記事がなくなってとても寂しく感じています。これを読んで、私たちの弱者（特に体を弱めたメンバー）への対応はどうだろうと考えていた矢先、小生もたいへんな肉体的故障を起こしてしまいました。また、今はだれがいつ経済的弱者となってしまっても不思議ではありません。いつも雄々しいライオンでありたいと願い、また本当の強さとは何かを考えています。ライオンのプライドの灯りを灯して生きていきたいと思います。

群馬県・太田中央●山田勇

（編）皆さんからたいへんご好評を頂いた「心のチキンスープ」。現在再開に向けて感動的なエピソードを募集中です（原稿募集79ページ）。また、これまでに掲載した全二十四本をウェブサイトでもご覧頂けますのでご利用ください。
URL：www.lionsclubs.org/JA/content/news_mag_ja_chickensoup.html

クロスワードパズル

点線に入る文字をヒントを基に並べかえてください。正解者の中から十人の方に記念品を差し上げます。ハガキに答えと氏名、クラブ名、住所、電話番号、本誌の感想を書いてご応募ください（あて先は65ジ）。締切は七月二十日。

解答 □□□□□□　ヒント：全世界から33人が選ばれる。

↓タテのカギ

①「オムニ」「ハード」「クレー」「芝」と言えば。
②ノルウェー、スウェーデン、フィンランド。
③今年、ここの「山地の霊場と参詣道」がユネスコの世界遺産に登録された。
④旧約聖書「創世記」に出てくる禁断の木の実。
⑦体長約二ミリの甲殻類。沼や溜池などでほぼ一年じゅう見られる。
⑨七夕でおなじみの「彦星」の生業。
⑫これを目的としないライオンズの活動。
⑭「□刈り」「□笛」「□野球」。「□」に入る漢字の読みは。

←ヨコのカギ

①初心者に初歩を教えること。
⑤「腹」「胸」「脚」の部首名は「○○づき」。
⑥現在アメリカにはネイティブよりも彼らの子孫の方が多い。
⑧山口県の東部の旧国名。
⑩「報告」「処理」「承諾」。
⑪高校球児のメッカ。毎年熱戦が繰り広げられる。
⑬黒船に乗ってやってきたペリー提督が日本に求めたもの。
⑮不意に参加すること。

■前回の答え

ム	ダ	ア	シ	■	チ
ロ	ー	■	ユ	ス	リ
■	ジ	エ	ツ	ト	■
オ	リ	ジ	ピ	ツ	ク
リ	ン	グ	■	パ	ス
ゴ	■	ミ	ズ	ー	リ

答えは「ジュンチク」

心の伝わる話し方

◆第2回
イラスト／吉田悦子

「張りのある声ではっきりと」

■松村尚子（大阪府・堺エンゼル・ライオンズクラブ）

「はじめまして」。あいさつを交わした時からコミュニケーションは始まります。今回は、声を出す時の基本を磨いて頂きたいと思います。

講演やスピーチで、話し手の声が小さかったり聞き取りにくかったりして、途中で眠くなってしまったなんて経験はありませんか？　口ごもったりつまづいて何度も言い直したりすると、それまで興味深く耳を傾けていた聞き手でさえ、間延びした気持ちになってしまうものです。せっかく内容のいい話でも、これでは台無しですね。

自分の意思をはっきりと相手に伝えるためには、張りのある声が必要です。そこで、まずは発声の練習から。聞き取りやすい声量ではっきりと話すには、腹式呼吸でお腹の底から声を出します。特に女性には胸式呼吸の方が多いようですが、腹式呼吸は心身の調子を整える健康法でもあります。ヨガや気功ではおなじみの呼吸法ですね。下腹部に手を当てて、息を吸う時にお腹が膨らみ、吐く時にはへこむように意識しながら練習をしてみましょう。仰向けになると自然に腹式呼吸になるので、この姿勢で感覚を覚えるといいでしょう。深い呼吸にはリラックス効果がありますから、人前で話す時に緊張を解きほぐすことにもなります。

次は発音。正確な口の開け方をすることで、言葉を正しく伝達することが出来ます。口の中の空間を大きく作り、上アゴと下アゴをよく動かしましょう。まずは、五十音をア行から練習してみます。母音のア・イ・ウ・エ・オ、子音ではサ・シ・ス・セ・ソやタ・チ・ツ・テ・トには特に注意して、歯切れ良く発音してください。音の高さを変えて発音してみるのもいいでしょう。最初は鏡で口の開き方を見ながら練習してみてくださいね。そして、耳をきたえてください。

はっきりとした発音、そして、その場に応じた声量で話すことで自分自身の思っていることを正確に伝えられるのではないでしょうか？　そこから、感情やより強調して伝えたいことを大きく膨らませて、自分の心を相手に一〇〇パーセント伝えることが出来ればと願っています。

次号までに腹式呼吸と発声の練習をしてみてくださいね。

ご意見・ご感想は→miyabi@iris.eonet.ne.jp

MY BEST SHOT

❶岩佐清　岐阜県高山・79歳［散策］

講評　■選：河相正名
日本写真家協会会員

今月の格言：機材は足し算・作画は引き算

❶左から差し込む斜光によって出来た影が、ここには映っていない風景を想像させる。左下から右上にかけての対角線を、うまく画面に取り入れ、気持ちのいい構成を作り出している。右上の標識はカットしたかった。

❷タイトル通り、雨上がりの澄んだ空気感が伝わってくる。さわやかな作品。

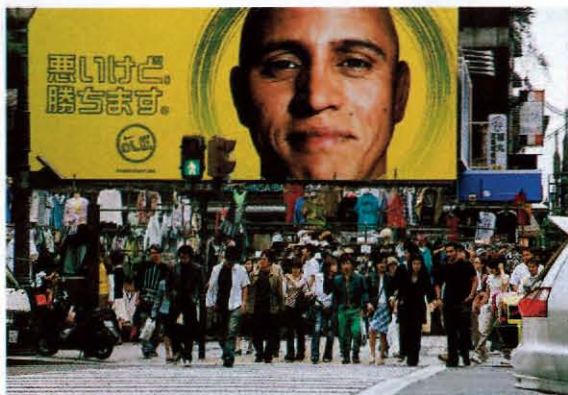
❸看板に押しつぶされるような雑踏の人物群。信号機の青も都会の雰囲気を高めている。上下を二分した構成で成功している。

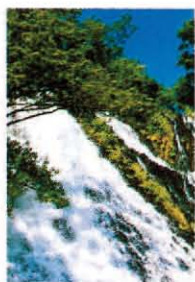
❹代掻きに向かうタイヤの跡が力強く伸び、田植えシーズンの到来を告げている。水面に映ったオレンジ色の空と山並みが効いている。

❺虚無僧の一団を手前に大きく取り入れ、厳かな印象と共に、重量感を出している。後方の赤い傘がいいポイントとなっている。上下と左を少し切りたい。

❸鳥羽孝哉 長野県松本アルプス・74歳［朝の代跡］

❷本橋正康 北海道帯広平原・69歳［雨あがり］

❺上野春夫 広島県三原・74歳［虚無僧さんの儀式］

❹梅田尊 愛知県豊田・65歳［都会の顔］

重藤一美 広島県甲山・51歳［夜露］

木村文丸
青森県弘前
69歳［清流］

畔柳東一
愛知県岡崎竜城・51歳
［チェーンソーアート大会］

高尾城治 山口県柳井中央・75歳［河童］

横内孟 山梨県南アルプス・59歳
［朝日を受けて］

相馬幸次郎 北海道帯広平原・62歳
［朝陽］

安藤正一 愛知県豊田・70歳
［白川郷民宿］

菊野善之助 愛媛県松山・83歳
［ネムの花］

LIONS GALLERY

「グランド　キャニオン」油彩　10号

谷口和男
岐阜伊奈波
会社役員

息子一家に誘われてアメリカ西海岸へ。せっかくだからと物見高い年寄り二人、グランド・キャニオンへ足を伸ばしました。

目の前に広がった断崖に呆然。写真では何度も見ておりましたが、実際の風景のスケールの大きさに息をのみました。目に焼き付けた映像をそのままキャンバスに乗せるのは、小生の腕では残念ながら無理。なんとか数枚仕上げた中の一枚です。

広大な西部劇の世界に住むアメリカ人、箱庭に満足の日本人。気質の差を痛感した旅でした。

（たにぐち　かずお・76歳）

あの感動を再び……

こころのチキンスープ

ライオンズ編

原稿・エピソード募集

「心が洗われた」「涙があふれた」「勇気がわいた」……。

二〇〇二年一月号から二年間にわたり、ライオンズクラブにまつわる二十四の物語を連載した「こころのチキンスープ　ライオンズ編」には、読者の皆さんからたくさんの反響が寄せられました。「あの感動を再び」という声にこたえ、二〇〇五年一月号から連載を再開する予定です。

タイトルにある「チキンスープ」は、ヨーロッパやアメリカで、風邪をひいたり身体の具合が悪い時にお母さんが作ってくれるスープ。日本風に言えば、おかゆや卵酒といったところでしょうか。スープが身体を癒すように、読む人の心を温め、癒してくれるストーリーを集めたのが、「こころのチキンスープ」です。

皆さんの周りにも、心温まるエピソードはありませんか？　奉仕活動で経験した感動、忘れられない出会いや触れ合い、ライオンズの友情物語などなど、ライオンズクラブにまつわる体験談をお寄せください。

応募資格　ライオンズ、ライオネス、レオ会員やご家族、クラブ事務局員など、ライオンズクラブにまつわる物語をお持ちの方ならだれでもご応募頂けます。

応募要領　左記いずれかの要領で、郵送かFAX、Eメールでお送りください。

その一：体験談、エピソードを原稿にまとめてください。文字数の規定はありませんが、千二百から二千字程度を目安に、出来るだけ具体的にお願いします。

その二：体験談、エピソードの概略をお送りください。採用された場合には、編集部から詳しい内容を問い合わせます。

いずれの場合も、ご応募頂いた原稿や情報を基にして、本誌ライターがストーリーを書き下ろします。

締切　二〇〇四年十一月末日

送付先　東京都中央区築地二-一一-一　築地細田ビル七階（〒一〇四-〇〇四五）ライオン誌日本語版事務所「こころのチキンスープ」係

FAX：〇三-三五四六-一一六三〇

Eメール：edit@thelion.jp

読者プレゼント

■松茸昆布の佃煮と丹波黒豆茶のセットを十人の読者に

「ふるさと探訪」（44ページ）に登場した兵庫県・氷上ライオンズクラブから、松茸昆布の佃煮と丹波黒豆茶のセットが十人の読者にプレゼントされます。丹波地方では昔から丹波松茸と呼ばれる、特に香りの素晴らしい松茸が採れました。この松茸に良質の昆布を使用して、味わい深い佃煮に。また、黒豆の皮に含まれる色素アントシアニンが健康に良いと人気の黒豆茶に丹波黒豆を使用。この特産品を使った二点をセットで。

EDITOR'S ROOM

■「ライオンズ・ホイッスル」を十二人の読者に

「クラブ・リポート」（56ページ）に登場した愛知県・名古屋サウス・ライオンズクラブから、ライオンズ・ホイッスルが十二人の読者にプレゼントされます。「子どもからのSOS」に地域ぐるみで取り組み、事件や事故発生時の早期救出、犯罪抑止／撲滅を目的としています。

■「ピカソ展」チケットを十人の読者に

photo:ImageArt Antibes (France) © 2004-Succession Pablo Picasso-SPDA (JAPAN) 個人蔵

九月四日から十月二十四日まで、東京・新宿の損保ジャパン東郷青児美術館で開催される「ピカソ展　幻のジャクリーヌ・コレクション」のチケットが十人の読者にプレゼントされます。パブロ・ピカソの二番目の妻として晩年までの二十年間を献身的に支えたジャクリーヌは、ピカソが愛着を持って最期まで手元にとどめていた貴重な作品群を相続しました。これまで非公開だったその作品群のうち、キュビズム時代から晩年までの、人物像を中心とする油彩、彫工、素描などの約百二十点を紹介します。

■「京都の韻」CDを十人の読者に

「ヘッドライン」（36ページ）に登場した京都ライオンズクラブから、「京都市民に贈るテーマ曲「京都の韻―香、花、水、風、空」が十人の読者にプレゼントされます。京都ライオンズクラブがチャーター・ナイト五十周年記念事業の一つとして、雅楽の世界で国際的に注目されている東儀秀樹氏に「京都」をテーマとした楽曲制作を依頼し、京都市民に贈呈したもの。伝統を守りつつも進歩的な京都をイメージし、新しさをとり入れた古典雅楽になりました。作曲：東儀秀樹／編曲：大島ミチル／篳篥：東儀秀樹／笙：東儀九十九／龍笛：東儀雅美。

プレゼント応募要項

はがきに住所、氏名、電話番号、クラブ名と「佃煮と黒豆茶セット」「ホイッスル」「CD」「ピカソ」とご希望の品を明記し、下記のあて先へ。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は8月末日。応募多数の場合は抽選となります。当選のお知らせはプレゼントの発送をもって代えさせて頂きます。

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045
東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
ウェブサイトからの応募
URL: www.lionsclubs.org/JA/content/thelion_present_form.html

次号予告

THEME ライオンズの明日を考える

334複合地区は第五十回年次大会で代議員分科会を取り止め、大久保彦国際理事、竹内淳一元国際理事、山田實紘国際理事候補をパネリストに「ライオンズクラブの明日を考える」と題したパネル・ディスカッションを開催した。当日の模様を紹介すると共に、今回の企画意図を大会議長、委員長に聞く。

ROAR・ローア
―まるごと336複合地区

九月号は336複合地区特集。「ヘッドライン」は市内を流れる芦田川の源流部で植樹運動を展開する広島県・福山平成ライオンズクラブ。「インタビュー」は岡山県・倉敷鶴形ライオンズクラブのラクガキ消し隊を紹介する。「ふるさと探訪」は島根県隠岐郡海士町を訪ねる。島根半島の沖合いに浮かぶ隠岐群島の一つ、中ノ島が海士町。古くは承久の乱で敗れた後鳥羽上皇が流された流刑地として有名だ。これまで目立った産業もなく人口の流出に悩んできた島だが、近ごろは豊かな自然を生かした特産品づくりに挑み、元気はつらつ。中でも岩ガキは東京・築地市場でも高い評価を得ている。「祭りのある風景」は山口県・防府天満宮の御神幸祭。裸坊祭とも言われ、西日本きっての荒祭りとして知られている。

Official publication of Lions Clubs International.

Published by authority of the Board of Directors in 22 languages - English, Spanish, Japanese, French, Swedish, Italian, German, Finnish, Flemish-French, Korean, Portuguese, Dutch, Danish, Chinese, Norwegian, Icelandic, Turkish, Greek, Hindi, Polish, Indnesian and Thai.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571(代) FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp

編集室

『ライオン誌』愛読のお願い

ライオン誌
日本語版委員
◉
三上純一郎

ライオン誌日本語版委員としての二年の任期を終えようとしています。ご存じのように、この委員会は全国八複合地区から一人ずつ選出された委員八人が、毎月一回東京・築地の日本語版事務所に参集し、知恵を絞り少しでも立派な『ライオン誌』を作成して、会員諸兄姉に愛読して頂こうと努めるものです。

しかし一生懸命作っても、会員諸兄姉に読んで頂かなくては努力も水の泡です。先日、私が所属する336複合地区年次大会のPR分科会でもそのことを皆さんへお願いしました。

「国際理事会だより」「ライオンズ・ニュース・カセット」には重要な情報が掲載されていますし、今年一月号から始まった「ライオンズ・スクール」はライオンズを根本から理解するためにも会員必読のページであり、複合地区を特集する「ROAR」は各地区の編集委員からもいろいろなネタが提供されて、身近な話題が豊富です。

さてここで、読書率向上に関連して、『ライオン誌』の発送方法についても考えなくてはなりません。

発送には二つの方法があります。一つは個人あて、もう一つはクラブの会員分を一括して送る方法です。これについては案外ご存じない方も多いのではないかと思われます。

個人あての利点は、直接自宅または勤務先に届くので早く手にすることが出来、家族で読んだり会社の応接に置いて話題に出来ること。ただし、送料はクラブ発送に比べて割高です。

クラブ一括の場合は、例会でテール・ツイスターのネタの一つとして『ライオン誌』の内容を取り上げて会が盛り上げられれば最高です。しかし欠席者へは再発送の手間とお金が掛かり、例会場や帰途に置き忘れてしまう可能性もあります。

それぞれに利点があるので、どちらが良いかは各クラブでご判断ください。ちなみに七月号は、個人あてが二、三七五クラブ（九〇、八七〇人）で送料六十五円、クラブ一括が一、〇四二クラブ（三九、一五八人）で送料は平均四百円（冊数、場所によって異なる場合があります）でした。

賢明なる諸兄姉のご判断を頂き、少しでも『ライオン誌』愛読の機会が増えますことを熱望しています。二年間ありがとうございました。

日本ライオンズクラブ 分布図

（二〇〇四年四月三十日 国際協会集計）

世界のライオンズ

	■クラブ数 前期末	現在	■会員数 前期末	現在	増減
ライオンズ国または領域 前期末191 現在193	45,766	46,795	1,357,489	1,370,040	12,551

日本のライオンズ

	■クラブ数 前期末	現在	■会員数 前期末	現在	増減
331-A北海道（道央地区）78	75	78	3,029	3,077	48
331-B北海道（道北・道東地区）101	100	101	3,536	3,529	△7
331-C北海道（道南地区）62	62	62	2,426	2,438	12
小計	237	241	8,991	9,044	53
332-A青森67	67	67	2,428	2,404	△24
332-B岩手57	56	57	2,046	2,088	42
332-C宮城81	81	81	2,014	1,994	△20
332-D福島84	82	84	2,509	2,528	19
332-E山形57	57	57	2,251	2,235	△16
332-F秋田57	57	57	1,809	1,801	△8
小計	400	403	13,057	13,050	△7
333-A新潟84/群馬58	140	142	5,618	5,602	△16
333-B茨城81/栃木60	140	141	4,695	4,693	△2
333-C千葉126	126	126	3,647	3,694	47
小計	406	409	13,960	13,989	29
330-A東京199	197	199	5,823	5,806	△17
330-B神奈川164/山梨35/東京1	199	200	6,289	6,311	22
330-C埼玉112	111	112	3,261	3,238	△23
小計	507	511	15,373	15,355	△18
334-A愛知119	114	119	6,413	6,489	76
334-B岐阜56/三重36	92	92	4,534	4,541	7
334-C静岡84	84	84	3,866	3,826	△40
334-D富山39/石川33/福井27	98	99	4,679	4,707	28
334-E長野55	55	55	2,625	2,672	47
小計	443	449	22,117	22,235	118
335-A兵庫（東）116	116	116	3,714	3,586	△128
335-B大阪171/和歌山26	190	197	7,790	7,929	139
335-C滋賀24/京都81/奈良18	122	123	4,985	5,014	29
335-D兵庫（西）68	67	68	2,752	2,754	2
小計	495	504	19,241	19,283	42
336-A徳島36/高知33/香川32/愛媛53	151	154	6,931	7,007	76
336-B鳥取23/岡山82	104	105	4,443	4,377	△66
336-C広島107	107	107	4,427	4,394	△33
336-D島根49/山口61	109	110	4,313	4,354	41
小計	471	476	20,114	20,132	18
337-A福岡116/長崎3	119	119	5,466	5,440	△26
337-B大分47/宮崎47	94	94	3,441	3,433	△8
337-C佐賀31/長崎54	82	85	3,295	3,404	109
337-D熊本58/鹿児島57/沖縄27	142	142	4,815	4,787	△28
小計	437	440	17,017	17,064	47
合計	3,396	3,433	129,870	130,152	282
世界のライオンズの		7.3%		9.5%	

ライオン誌八月号　昭和三十三年十二月十九日付第三種郵便物認可　二〇〇四年（平成十六年）七月二十日発行　毎月一回二十日発行　定価百八十円　送料実費七十六円　第四十七巻第二号　発行所　ライオンズクラブ国際協会ライオン誌日本語版事務所　〒一〇四－〇〇四五　東京都中央区築地二－二－一　築地細田ビル七階　Tel（〇三）三五四二－九五七一　印刷所　凸版印刷株式会社